

221
乙
397

再版 行政判決摘要

二十五年七月十九日發行

市町村雜誌社

036537-000-6

CZ-2311-016

行政判決例(摘要)

市町村雜誌社

M35

BBR-0299



市町村雜誌社編纂

再行行政判決例

全壹冊

●定價金四拾五錢
(但シ郵稅共)

●市町村雜誌購讀者ニ限リ特別割引金四拾錢 (郵稅共)

行政ハ國家ノ働キヲ意味シ、地方行政ハ自治體ノ働キヲ意味スルハ、何人モ能ク知ル所也而シテ其働キニハ一定ノ法則アリ、之ヲ研究スルハ行政學ノ任也、按スルニ行政裁判所ニ於ケル判決ハ、此法則ヲ説明シ、之ヲ蒐集スレハ一部ノ行政學トナル、本書記スル所ハ明治二十三年行政裁判所設置ノ初ヨリ現今ニ至ル迄、十二ク年間ニ於ケル市制町村制ニ關スル行政裁判所ノ判決摘要ヲ編纂シタルモノ也、編纂ノ順序ハ市制町村制ノ各正條ヲ追ヒ、且ツ各判決摘要ノ下ニハ、一々行政裁判所ニ於ケル判決ノ年月日ヲ記入シアルカ故ニ、其便益今更テ喋々ヲ要セサル也、本社彙ニ本書ヲ出版セシモ既ニ品切トナリタルヲ以テ今復本書ヲ再版シテ自治當局者ノ希望ヲ満足セシメントス、而シテ今ヤ製本既ニ出來シタルハ自治當局者ハ競フテ購讀ノ榮ヲ賜ハラントコトヲ

發行所

東京市京橋區
弓町三番地

市町村雜誌社

特 14
861

C2
2311
0/6

凡例

- 一 本書ハ市町村ノ行政機關並ニ議決機關ノ局ニ當ル者及制
明セント欲スル者ノ爲メニ法律解釋ノ最高府タル行政裁判所ニ於ケル
判決例ヲ蒐集編纂シタルモノニシテ即チ彙ニ發兌セシ市町村制例規
相俟テ共ニ制度研究者ノ座右ヲ離ル可ラサルモノトス
- 一 本書所掲ノ事項ハ行政裁判所開設以來即チ明治二十三年ヨリ同三十四
年十一月ニ至ル迄前後十二年間ノ判決例ニシテ而シテ其後ナル判決ニ
抵觸矛盾スル判決ハ皆之ヲ削除シ又後ノ判決ノ爲メニ最初ノ判決カ效
力ヲ回復スルニ至リタルモノ(總令ハ確定名簿)ハ共ニ之ヲ掲載セリ
- 一 本書ハ元來市町村雜誌社編輯局ノ考查用ニ編纂セシモノヲ出版セシモ
ノナルヲ以テ其摘要ハ意義確實ニシテ頗フル緻密且其配置ハ各關係條
項ノ許ニ盡ク交互網羅シ在リ
- 一 本書ハ題シテ市制町村制ニ關スル行政判決例ト云フト雖モ訴訟法及行

凡例



政裁判法(第百三年法律)ニ關スル判例ヲモ悉揭シ及對查上ノ必要ノ爲メ府縣制並ニ郡制ニ關スル判例ヲモ之ヲ掲載セリ

一本書ハ冗長ヲ厭ヒ其判決ヲ摘載スト雖モ事實復雜ナル爲メ摘要ノミニテハ其要領ヲ知得シ難シト認メラルノ事項ハ判決全文若クハ特ニ其事實ヲ併記シ以テ讀者ニ便ナラシメタリ

一本書ハ編纂上ノ都合ニ依リ市制ノ正條ヲ省キタルモ市制ニ關セシ判例ハ細大洩サス之ヲ町村制ノ當該條文ノ下ニ集録シ置ケリ

一本書初版ハ既ニ品切レトナリタルヲ以テ今回再版ニ附シ廣ク希望ノ人士ニ頒ツ

明治三十五年七月

編者識

町村制目次

第一章 總則……………一

第一款 町村及其區域……………一

第二款 町村住民及其權利義務……………五

第三款 町村條例……………一七

第二章 町村會……………一八

第一款 組織及選舉……………一八

第二款 職務權限及處務規程……………五六

第三章 町村行政……………七九

第一款 町村吏員ノ組織選任……………七九

第二款 町村吏員ノ職務權限……………八三

第三款 給料及給與……………九五

第四章 町村有財產ノ管理……………九八

第一款 町村有財產及町村稅……………九八

第二款 町村ノ歳入出豫算及決算……………二

第五章 町村内各部ノ行政……………一一七

第六章 町村組合……………一二〇

第七章 町村行政ノ監督……………一二三

第八章 附則……………一四五

附録行政訴答書々式……………一五〇

摘要行政判決例

市制町村制之部

町村制

第一章 總則

第一款 町村及其區域

第二條 此法律ハ市制ヲ施行スル地ヲ除キ總テ町村ニ施行スルモノトス

▲明治二十三年法律第十一號ニ依リ存續セル水利土功會又ハ水利土功ニ關スル町村聯合會ニハ總テ明治十七年布告區町村會法ヲ適用スヘキモノニシテ町村聯合會ニ町村制ヲ援引スルハ失當ナリ(二五、四、二)

第二條 町村ハ法律上一個人ト均ク權利ヲ有シ義務ヲ負擔シ凡町村公共ノ事務ハ官ノ監督ヲ受ケテ自ラ之ヲ處理スルモノトス

▲市町村ノ教育ニ關スル事務ハ二十三年法律第八十九號同年勅令第二百十五號ニ依リ其行政事項ニ屬ス(二六、六、二七)

▲漁業ハ其性質純然タル一種ノ營業ニシテ公共事業タル性質ヲ有スルモノニアラサレハ公

第一章 總則 第一款 町村及其區域 (第一、二條)

市町村雜誌社編纂

ノ法人タル町村ノ爲シ得ヘキ事業ニアラス(二八、五、二九)
▲漁業ノ如キ單ニ營利ヲ目的トスルモノハ之ヲ法人タル町村ノ公共事業ト謂フヲ得ス(二八、二八)

▲公共事務ニアラサル漁業權回復ノ行政訴訟ハ町村長ノ資格ヲ以テ出訴スルヲ得ス(同上)

▲町村組合ノ事務モ町村ト等シク必ス公共ノ事務ナラサルヘカラス(二八、六、二八)

▲鮭留漁業權ハ營利ヲ目的トスルモノナレハ公共事務ト云フヘカラス(同上)

▲市町村カ府縣道改修ノ爲メニスル寄附金ハ市町村制第二條ニ所謂公共ノ事務ニ該當スル必要ノ支出ナリ(二九、五、二六、二件)

▲兵營ノ建設ハ國家ノ防備ニ屬シ自治團體ノ利益ト直接ノ關係ヲ有スルモノニ在ラス故ニ之カ爲メニ寄附ヲ爲スカ如キハ本條ノ範圍ヲ超越ス本條ノ範圍ヲ超越シタル行爲ノ費用ハ市町村ノ必要ナル支出ニ在ラス(三一、一〇、七、五件)

▲全村間ニ締結セラレタルト否トヲ問ハス個人間ノ契約ハ村法人ヲ羈束スルノ效力ナシ(三三、一二、二八)

第三條 凡町村ハ從來ノ區域ヲ存シテ之ヲ變更セス但將來其變更ヲ要スルコトアルトキハ此法律ニ準據ス可シ
第四條 町村ノ廢置分合ヲ要スルトキハ關係アル市町村會及郡參事會ノ意見ヲ聞キ府縣參事會之ヲ議決シ內務大臣ノ許可ヲ受ク可シ

町村境界ノ變更ヲ要スルトキハ關係アル町村會及地主ノ意見ヲ聞キ郡參事會之ヲ議決ス其數郡ニ涉リ若クハ市ノ境界ニ涉ルモノハ府縣參事會之ヲ議決ス

▲町村ノ資力法律上ノ義務ヲ負擔スルニ堪ヘス又ハ公益上ノ必要アルトキハ關係者ノ異議ニ拘ハラズ町村ヲ合併シ又ハ其境界ヲ變更スルコトアル可シ
本條ノ處分ニ付其町村ノ財產處分ヲ要スルトキハ併セテ之ヲ議決ス可シ

▲町村制第四條ニ依リ府縣參事會ニ於テ甲村ニ屬スル土地ヲ乙村ヘ編入スルノ議決ヲ爲シタル處分ニ對シテ不服アルモ同制中訴訟ヲ爲シ得ルノ規定ナキヲ以テ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス(二四、二、九)

▲町村制實施ニ先チ縣令ヲ以テ町村飛地組替ヲ定メタルトキハ同制實施後ニ至ルマテ組替ノ手續ヲ了セサルモ縣令ニ依リ當然組替ノ效アルヲ以テ其組替ノ手續ハ町村制第四條ヲ適用セス(二四、一、一〇)

▲郡參事會カ地主ノ意見ヲ聞カス且關係町村會ノ否決ヲ顧ミス甲村大字ノ一部ヲ割キ乙村ヘ編入セシテ不當ト爲シ之カ取消ヲ求ムルモ此等ノ處分ニ付町村制又ハ其他ノ法令中行政訴訟ヲ許スノ條項ナシ(二八、三、二三)

▲分村ノ場合ニ於テ當年度經費剩餘金ハ本條ニ依リ縣參事會ノ議決ニ基キ處分スヘキモノトス(二九、七、一〇)

▲分村後事務引繼結了迄從前ノ豫算ニ依リ其儘混同支出スルモ不當ニアラス(同上)

▲町村境界變更ノ處分ヲ爲シタルコトヲ地主ニ報道セサルハ違法ナリト主張シ其處分ノ取消ヲ求ムル事件ニ關シ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(三〇、一〇、七)

▲郡參事會ハ何時ニテモ町村ノ境界ヲ變更スルノ議決ヲ爲スコトヲ得(三〇、一二、一)
▲郡參事會ノ町村境界ヲ變更スルノ議決ヲ爲スニ方リ關係町村會ノ意見ヲ聞カサルモ其議決ハ無効ニ在ラス(同上)

▲町村カ境界ヲ變更スル郡參事會ノ議決ニ對シテハ訴願及訴訟ヲ許スノ法令ナシ(同上)
▲第五條 町村ノ境界ニ關スル爭論ハ郡參事會之ヲ裁決ス其數郡ニ涉リ若クハ市ノ境界ニ涉ルモノハ府縣參事會之ヲ裁決ス其郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

▲町村制ニ基ク行政訴訟ハ同制第二百十條第三項出訴期限ヲ適用ス(二四、一〇、九)
▲甲村所屬ノ飛地ヲ乙村ニ編入シタル處分ヲ不當トスル事件ハ法律敕令ニ行政訴訟ヲ許シタル規定ナシ(二六、一〇、二三)

▲明治八年以來地租ヲ納メ來リタルノ事實ニ依リ古來其納租者ノ屬スル地所カ徵稅村ノ地籍ニ屬シタル事實ヲ證スルニ足ラス(二七、七、三)

▲本條ハ町村互ニ境界ヲ爭フ場合ヲ規定シタルモノニシテ飛地編入ニ關スル郡長ノ訓令ヲ不當トシ村長ヨリ郡長ヲ相手取ルカ如キ場合ニ適用スヘキモノニアラス(二七、一〇、一)
▲本條ニ所謂町村ノ境界ニ關スル爭論云々トハ單ニ町村境界ノ何レニ在ルヤヲ爭フ場合ヲ指示シタルモノニシテ彼我ノ間ニ爭ヒナキ境界ノ變更ヲ請求スル場合ヲ包含スルモノニアラス(二八、一一、一八)

▲地籍組替ノ請求ハ本條ニ依リ行政訴訟ヲ提起スルヲ得ス(同上)

▲原被立會ノ上調製シタル圖面ニ依リ境界明確ナル以上ハ假令爾後納稅シタル事實アルモ論地ヲ自己ノ地域内ナリト主張スルノ證據ト爲スニ足ラス(二九、五、九)

▲一町村内ノ一字ニ在ル土地ヲ他ノ字ニ編入シタル町村會ノ處分ヲ不當トスル事件ニ關シ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(三四、五、一〇)

第二款 町村住民及其權利義務

第六條 凡町村内ニ住居ヲ占ムル者ハ總テ其町村住民トス

凡町村住民タル者ハ此法律ニ從ヒ公共ノ營造物並町村有財產ヲ共用スルノ權利ヲ有シ及町村ノ負擔ヲ分任スルノ義務ヲ有スルモノトス但特ニ民法上ノ權利及義務ヲ有スル者アルトキハ此限ニ在ラス

▲町村内ノ一部ニ限り專ラ利害關係アル堤防(營造物)ノ修築費ハ其一部ノミニ賦課スヘキモノトス(三五、一二、二)

▲町村内ノ一部ニ專屬スル用水路(營造物)ニ關スル費用ハ其一部ニ於テ負擔スヘキモノトス(三五、六、四)

▲町村有ノ財産ニアラスシテ住民各自ノ所有權ヲ主張スル事件ニ關シ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(三五、一一、一〇)

▲町村制第六條及第八十二條町村有財產ヲ共用云々トアルハ即チ町村住民共同ノ使用權ヲ規定シタルモノニシテ使用權ノ文字ヲ明記シタルナシト雖モ均シク使用權ナルニ依リ之

ニ關スル事件ハ制第五百五條訴願訴訟ヲ許シタル規定以外ニ屬スルモノト謂スヘカラス
(二六、一、一七)

▲現ニ甲村ノ負擔ヲ分任シ尙且同村消防組消防夫勤續ノ事實アル以上ハ單ニ一里道ヲ隔ツ
ル隣村ニ家屋アルノ一事ヲ以テ甲村ニ住居權ナシト云フヲ得ス(二六、三、二九)

▲單ニ村内某家ニ起臥シ在ル證ノミニテハ其村住民ナリト認ムルヲ得ス(二八、一〇、一)

▲町村住民ノ住所ハ一人一個ニ限ルノ規定ナキヲ以テ實際一人ニシテ數箇ノ住居ヲ有スル
場合アリ(同上)

▲町村住民タル資格ハ事實上住居ノ有無ニ依リ之ヲ決スヘク本籍若クハ寄留届ハ其資格得
喪ニ關スル必要條件ニ在ラス(二九、五、一九及三四、三、一五)

▲税金ヲ納付スルハ必スシモ自身之ヲ爲スヲ必要トセサルヲ以テ納税代人届及納税證書ノ
ミヲ以テ其町村ニ住居セシ證ト爲スニ足ラス(二九、一一、二四)

▲町村ノ住民ニシテ他ニ寄留スルモ尙ホ其原籍地ニ於テ依然住居ヲ構ユル者ハ其町村ノ住
民タルヲ失ハス(三一、五、七)

▲本條ニ所謂町村住民トハ本籍ノ存スルト否トヲ問ハス現ニ其町村ニ住居スル者ヲ指ス
(三三、三、一三)

▲本籍以外ニ轉籍セシコトナキヲ以テ必スシモ本籍地ノ住民ナリト謂フヲ得ス(同上)

▲現ニ甲町村ニ住居スルノ事實アル以上ハ假令他町村ニ寄留届出ヲ爲スト雖モ其届出ノ爲

メニ甲町村ノ住民ニ在ラスト云フコトヲ得ス(三四、五、二八)

▲本籍地ニ一戸ヲ構ヒ家族ヲ有シ其村ノ負擔ヲ分任シ居ル以上ハ只商業ノ爲メニ他地方ニ
寄留スルモ其村ニ住所ヲ有セサルモノト斷定スルヲ得ス(三四、一〇、二)

第七條 凡帝國臣民ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子二年以來(一)町村ノ住民トナリ(二)其町村ノ負擔ヲ分任シ及
(三)其町村内ニ於テ地租ヲ納メ若クハ直接國稅年額二圓以上ヲ納ムル者ハ其町村公民トス其公費ヲ以テ救助ヲ受
ケタル後二年ヲ經サル者ハ此限ニ在ラス但場合ニ依リ町村會ノ議決ヲ以テ本條ニ定ムル二箇年ノ制限ヲ特免スル
コトヲ得

此ノ法律ニ於テ獨立ト稱スルハ滿二十五歲以上ニシテ一戸ヲ構ヘ且治産ノ禁ヲ受ケサル者ヲ云フ

▲一戸ヲ構ヘトアルハ戸主ト非戸主トヲ問ハス一戸ヲ構ヘ獨立ノ生計ヲ營ム事實アルモノ
ヲ云フ(二三、一一、二二)

▲所得稅法ハ徵稅上單ニ戸主ヲ以テ納稅者ト視ルニ過キサルヲ以テ實際納稅者タル非戸主
ニ於テ納稅者タルノ資格ヲ有ス(同上)

▲町村公民ノ資格ヲ得ルニ必要ナル年限ハ町村制第七條ノ規定ニ依リ之ヲ特免スルヲ得
(二三、二二、二六)

▲公私ノ職務ニ從事シタルト戸主ニシテ地租十圓以上ヲ納メ來レルノ事實アルモ幼時他家
ノ養育ヲ受ケタル以來依然同居同炊シ獨立ノ事實ヲ表明スルモノナキモノハ本條ニ所謂
一戸ヲ構ヘタルモノト認ムルヲ得ス(二四、六、四)

▲町村ノ收入役ト爲リ公民權ヲ得タル者ハ當然選舉權ヲ有ス(二四、九、二五)

▲家屋土地ヲ有スルモ一戸ヲ構ヘタル實テ具ヘサルモノハ未タ以テ獨立ノ男子ト云フヲ得ス(二五、四、一九)

▲戸數割ハ本籍寄留戸主非戸主自家借家ノ別ナク毎戸現在者ニ賦課スルノ賦課法アル場合ニ於テ戸主タル養子ニ之ヲ課シ非戸主タル養父ニ之ヲ課セサルハ養子ヲ以テ一戸ヲ構ヘタルモノト認メ養父ヲ以テ然ラサルモノト認メタルモノト云ハサルヲ得ス(同上)

▲本條一項但書ハ獨リ名譽職ニ選舉スヘキノ必要アル場合ニ止マラス町村民其者ノ身上ニ關シ特免スヘキ場合ヲモ包含ス(二六、四、一七)

▲家督相續ニ依リ財産權ヲ繼承シタルモノニ二ヶ年ノ制限ヲ特免スルモ違法ノ議決ニアラス(同上)

▲二ヶ年制限特免ノ手續ハ本人ノ要求ニ由ルト否トヲ問フモノニアラス(同上)

▲町村ノ教育費ハ町村稅トシテ選舉資格ニ算入スヘキモノトス(二六、七、一〇)

▲水利土功費、水利組合費ノ如キ事實町村ノ全部ニ係ルニアラスシテ其一部ノ負擔ニ屬スルモノハ村稅トシテ選舉資格ニ合算スヘキモノニアラス(同上)

▲本條ニ「其公費」トアル「其」ナル文字ハ町村民ヲ指シタルモノニシテ町村ヲ指シタルモノニアラサルヲ以テ其公費中ニハ町村公費及地方稅備荒儲蓄金等ヲ包含スルモノト云ハサルヲ得ス(二七、四、二〇及二九、五、二二)

▲町村民タル資格ヲ定ムルニ當リ地租ヲ納ムル者ハ其町村内ニ於テ土地ノ所有權ヲ行ヒ

又納稅ノ義務ヲ負フヘキ資格ヲ併有スル者ヲ謂フモノニシテ契約上定期間地租諸役等相勤ムルカ如キハ公民タル資格ノ要件ト爲スヘキモノニアラス故ニ實地ニ係ル租稅ハ之ヲ實取主ノ納稅資格ニ算入スルコトヲ得ス(二九、一、二二)

▲實際村稅ヲ納ムル資格アル者ニシテ本人カ之ヲ納メサルハ理事者ノ過誤ニ依リ賦課セザリシ爲メナル時ハ之ヲ以テ納稅者ニアラスト謂フヲ得ス(二九、二、二七、二件)

▲町村内ノ一部一區ニ賦課スル費用(第九十九條第二項)モ亦町村稅ナリトス(二九、五、三二及二九、六、三〇)

▲區有田地ヨリ生スル米穀ヲ區内各戸ヘ不平等ニ分配シ來リタル慣例アル場合ニ在リテハ其増分配ヲ受ケタルノ一事ヲ以テ公費ノ救助ヲ受ケタル者ト謂フヘカラス(三〇、四、九)

▲戸主ゴアラス且ツ戸數割若クハ戸別割ノ賦課ヲ受ケサルノ事實ヲ以テ一家ヲ構ヘタルモノニアラスト謂フヲ得ス(三一、二、三三)

▲町村ノ住民ニシテ他ニ寄留スルモ其原籍地ニ於テ依然住居ヲ有スルトキハ其町村ノ住民タル資格ヲ失ハス(三一、五、七)

▲本條ノ所謂獨立ノ男子トハ二年以來獨立ノ男子タルコトヲ要ストノ意義ニアラス(三一、一、二八及三二、二、二七)

▲家族ノ納稅ハ戸主ノ納稅資格ニ合算スヘキモノニアラス(三二、五、二九)

▲町村財産ニ對スル稅ハ町村法人ノ負擔スヘキモノナルヲ以テ例令町有土地ニ對スル地租ヲ賦課徵收セラレタリトテ之ヲ以テ一個人ノ納稅資格ヲ定ムルヲ得ス(同上)

▲單ニ營業上ノ名義ハ父ナルモ自己ノ所有地ニ住居シ獨立ノ生計ヲ營ム以上ハ一戸ヲ構ヘタルモノト認ムルニ足ル又常ニ他人ノ宅ニ出入シ或ハ炊事ヲ共ニスルコトアルモ之ニ由リ一戸ヲ構ヘサルモノト謂フヲ得ス(三三、二二、八)

▲亡父ノ所有財産ヲ相續シタル者カ所有名義ノ書替ヲ爲サ、ルモ實際租稅ヲ納付シ來リタル以上ハ納稅者タルノ資格ヲ有ス(三三、二二、七)

▲選舉期日迄ニ法定ノ年齡ニ達スル者ハ選舉權ヲ有ス(三三、二二、二八)

▲營業割及戸別割ヲ納メサルモ二年以來町村稅タル地價割ヲ納メ來リタルトキハ本條ノ所謂其町村ノ負擔ヲ分任セル者トス(三三、五、七)

▲町村制上ニ在テハ郡制第六條第三項ノ如キ規定存セサルヲ以テ公民權ヲ取得ス可キモノハ家督相續ノ場合ニ於テモ二年以來町村ノ負擔ヲ分任シ及町村内ニ於テ地租ヲ納メ若クハ直接國稅年額二圓以上ヲ納ムルヲ要スルト解釋セサルヘカラス(三三、六、二七及同七、二〇及) ▲亡父ノ所有財産ヲ相續シタル者カ所有名義ノ書替ヲ爲サ、ルモ實際租稅ヲ納付シ來リタル以上ハ納稅者タル資格ヲ有ス(三三、六、二七)

▲所有地ヲ他人ニ賣却シタル者カ所有名義ノ書替ヲ爲サ、ル爲メニ其ノ土地ニ對シ租稅ヲ納付シ來リタルトスルモ納稅者タルノ資格ヲ有スルコトナシ(同上)

第八條 凡町村民ハ町村ノ選舉ニ參與シ町村ノ名譽職ニ選舉セラル、ノ權利アリ又其名譽職ヲ擔任スルハ町村公民ノ義務ナリトス

左ノ理由アルニ非サレハ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職スルコトヲ得ス

- 一 疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘサル者
 - 二 營業ノ爲メニ常ニ其町村内ニ居ルコトヲ得サル者
 - 三 年齡滿六十歲以上ノ者
 - 四 官職ノ爲メニ町村ノ公務ヲ執ルコトヲ得サル者
 - 五 四年間無給ニシテ町村吏員ノ職ニ任シ爾後四年ヲ經過セサル者及六年間町村議員ノ職ニ居リ爾後六年ヲ經過セサル者
 - 六 其他町村會ノ議決ニ於テ正當ノ理由アリト認ムル者
- 前項ノ理由ナクシテ名譽職ヲ拒辭シ又ハ任期中退職シ若クハ無任期ノ職務ヲ少クモ三年間擔當セス又ハ其職務ヲ實際ニ執行セサル者ハ町村會ノ議決ヲ以テ三年以上六年以下其町村民タルノ權ヲ停止シ且同年期間其負擔ス可キ町村費ノ八分一乃至四分一ヲ増課スルコトヲ得
- 前項町村會ノ議決ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- ▲凡ソ町村ノ名譽職ニ選舉セラレタル者ニシテ本條第二項一ノ理由ニ依リ其職ヲ辭セシトスルトキハ其理由ノ當否ヲ町村會ノ議ニ付スルトキハ該議會ニ於テハ辭職届ニ醫師ノ診斷書ヲ添付シアルト否トニ拘ラス宜シク先ツ其實事ノ有無及ヒ其疾病ノ輕重等ヲ充分調査セサル可ラス而シテ假令疾病ノ事實アルモ實際公務ニ堪ヘサルノ疾病ニ在ラス隨テ辭職ノ理由ナシト議決スルニ當ツテハ其職ヲ辭セントスル者ハ事實其職ニ堪ユルモノナリト確認シ得可キ證據ナカル可ラス何トナレハ疾病ハ固ト名譽職ヲ退クコトヲ得ルノ一理

由テレハナリ(二四、一〇、一)

▲市長選舉ニ付法律ノ見解ヲ異ニスルカ如キハ議員ノ職務上ニ關スル事ニシテ公民タルノ義務即チ名譽職ヲ退キ得ヘキ理由トナスヘキモノニアラス(二五、三、二八)

▲本條第四項ハ其第三項ニ依リ制裁ヲ受ケタル者其議決ニ不服ナルトキ訴願及訴訟ヲ提起シ得ヘキ規定ニシテ町村會ヨリ訴願訴訟ヲ爲スヲ許シタルモノニアラス(二五、二、二、三及二六、五、一九及二八、一、二、二五)

▲投票ノ多數ヲ得タルハ即チ名譽職ノ當選ニシテ府縣知事ノ認可ヲ得サル前ト雖モ名譽職ニアラスト云フヘカラス(二六、三、一四)

▲本條一項ハ名譽職ニ選舉セラル、ノ權利及之ヲ擔任スルノ義務アルコトヲ規定セルヲ以テ何人ト雖モ之ヲ辭退スルトキハ即チ拒辭スルモノニシテ町村會カ理由ナキコトヲ議決シタル後始メテ拒辭ト稱スヘキモノニアラス(同上)

▲算筆ヲ能クセスト云フカ如キハ名譽職ヲ拒辭スルノ理由トナスニ足ラス(同上)

▲名譽職辭任書ニ其理由ヲ示サス且ツ自ラ選舉會場ニ出頭シタル事實アルモノハ理由ナク其職ヲ拒絶シタルモノト認メサルヲ得ス(二六、五、三〇)

▲實際公務ニ堪ヘサル醫師ノ診斷書ヲ提出シタリト云フモ其提出カ村會議決ノ後ナルトキハ以テ村會議決ノ當否ヲ争フコトヲ得ス(同上及同一二、一三)

▲町村會ノ裁決ニ對スル訴願ハ町村役場ヲ經由シテ郡參事會ニ提出スヘキモノトス(二六、一

一、四)

▲區會議員ハ法律上ノ名譽職ニアラサルヲ以テ其退職及就職後資格ノ有無ニ關スル議決ハ市會ノ權限ニ屬セス又區會ノ議決ニ付ズヘキモノニアラス(二六、一、一八)

▲本條第二項ノ二ノ事由アリトスル場合ニ於テモ同項六ニヨリ村會ニ於テ之ヲ正當ノ理由ト認メサル以上ハ法律上退職ノ理由アル者ト云フヲ得ス(二六、二、二、三)

▲僂麻室斯症ニシテ自然慢性ニ陥ルモ計リ難シトノ診斷書ノ如キハ以テ議員ノ職務ニ堪ヘサルモノト認ムヘキ證ニアラス(同上)

▲町村ノ名譽職ニ在ル者ハ辭職届書ヲ提出スルトキハ即チ退職シタルモノニシテ村會ノ議決ヲ經初メテ退職者ト爲ルモノニ在ラサルカ故ニ其退職者タル村會議員ニ對シ議長ハ召集狀ヲ發ス可キモノニ在ラス(二七、二、二、二)

▲議長非難ノ事實及ヒ不正ノ議員數名アリテ神聖ノ議決ヲ爲ス能ハストノ事由ノ如キハ議員タルノ職務ヲ辭退スル正當ノ理由ト云フヲ得ス(二七、二、二、二)

▲地方税ノ納付期日ヲ誤リ村民ノ多數ハ爲メニ財産差押ノ處分ヲ受ケ非常ノ困難ヲ生セシメタルハ其責ニ任シ辭職届ヲ差出シタリト云フカ如キハ名譽職ヲ辭退スルニ足ルヘキ理由ト云フヲ得ス(二七、二、二、二)

▲依然村會議員學務委員ノ職務ニ居ルヲ視レハ假令醫師ノ診斷書アルモ其疾病ハ公務ヲ奉スルニ堪ヘサルモノト認ムヘカカラス而シテ原告カ當選シタル常設委員ハ他ノ職務ニ比

- シテ繁劇ナルヤ否ハ原告カ執ルヘキノ主務未タ定ラサルノ日ニ於テハ之ヲ知ルコトヲ得サルノミナラス三ノ島村條例第二號第四條常設委員ノ職務概目ニ依レハ其職務タル原告ノ如キ村會議員學務委員ノ二職ヲ執ルニ堪ユルモノニシテ尙堪ヘカタクノ劇職ナリト認ムルヲ得ス故ニ村會カ原告ニ對シ爲シタル處分ハ不當ニアラス(二七、二二、二四)
- ▲本條ニ基ク公民權停止ノ村會議決ニ不服アル者ハ第二百二十條第二項ニ定メタル期限内ニ訴願ヲ提出スヘキモノニシテ訴願法第八條ノ規定ニ依ルヘキモノニアラス(二九、二二、二二)
- ▲町村會ハ名譽職ノ辭職申出ニ關シテ其理由ノ當否並ニ制裁ノ如何ヲ議決スヘク其辭職ノ許否ヲ議決スヘキモノニアラス(三一、三、一五及三三、一一、九)
- ▲有給町村長助役ニシテ任期中辭職ヲ申立ツル時ハ町村會ハ其認否ヲ議決スヘキモノトス(三一、四、二三及同一二、一六及三三、三三、二二)
- ▲有給町村長助役ノ辭職ノ申立ニ對シ町村會カ承認ノ議決ヲ爲セハ其町村長助役ハ直ニ職務ノ解除ヲ得ルモノトス(同上)
- ▲町村會ノ議決ニ對スル訴願ノ裁決者タル郡參事會カ其裁決ヲ與ヘタル事件ニ付キ府縣參事會ノ裁決ヲ不服トシ自身當事者ト爲リ行政訴訟ヲ提起スルヲ許シタル法令ナシ(三一、一〇、一三)
- ▲村會カ正當ノ理由ナクシテ村會議員ヲ退職シタル者ニ對シ本條三項ヲ適用シテ公民權停止及村費増加ノ議決ヲ爲シタル後ニ至リ更ニ其特免ノ議決ヲ爲シタルハ越權ナリ(三二、一六)

三〇)

- ▲公民權停止ノ議決ニ對シ訴願ノ提起アリタルトキハ其議決ノ執行ヲ停止スヘキモノトス(三三、一三、一一)
- ▲普通水利組合ノ夫役現品取扱人タルノ職務ニ在リトノ故ノミチ以テ町村ノ名譽職タル區長代理者ノ任ヲ拒辭スルノ理由ト爲スニ足ラス(三三、三三、二三)
- ▲村治上ノ意見投合セストノロトハ名譽職ヲ拒辭スルノ正當ノ理由ニ在ラス(三三、六、二九)
- ▲家族中ニ疾病者アリトハエトハ名譽職ヲ拒辭スルノ理由ト爲スニ足ラス(同上)
- ▲正當ノ理由ナクシテ村會議員ヲ退職シタル者ニ對シ村會カ公民權停止ノ議決ヲ爲シタルハ適法也(三三、一一、五、二件)
- ▲町村事務ノ紊亂若クハ會議中多數村民ノ狼籍等ノ事實アルニ於テハ町村會議員トシテ之ニ處スルノ職責アル可キニ依リ町村會議員タルモノハ誠實ニ其職責ヲ盡ス可ク自ラ稱シテ其職責ニ堪ヘスト云フカ如キハ名譽職擔任ノ義務ニ違フモノニシテ退職ヲ正當ナラシムル理由ニ在ラス(三四、六、一)
- ▲制第二百二十三條ニ因リ郡參事會ニ於テ本條第三項ノ代議決ヲ爲シタルトキハ不服者ハ直ニ府縣參事會ニ訴願ヲ提起スヘキモノトス(同上)

第九條 町村公民タル者第七條ニ掲載スル要件ノ一ヲ失フトキハ其公民タルノ權ヲ失フモノトス

町村公民タル者公權停止中又ハ租稅滯納處分中ハ其公民タルノ權ヲ停止ス家資分散若クハ破産ノ宣告ヲ受ケタル

第一章 總則 第二款 町村住民及其權利義務 (第九條)

第一章 總則 第二款 町村住民及其權利義務 (第九條)

十六

トキハ復権ノ決定アルマテ又公權剝奪若クハ停止ヲ附加ス可キ重罪輕罪ノ爲メ公判ニ付セラレタルトキハ其裁判ノ確定ニ至ルマテ亦同シ
陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ町村ノ公務ニ參與セザルモノトス現役以外ノ兵役ニ在ル者ニシテ戰時若クハ事變ニ際シ召集セラレタルトキモ亦同シ
町村公民タル者ニ限リテ任ス可キ職務ニ在ル者ニシテ本條第一項ノ場合ニ當ルトキハ自ラ解職スルモノトス職ニ就キタルカ爲メ公民タルノ權ヲ得可キ職務ニ在ル者ニシテ本條第二項第三項ノ場合ニ當ルトキモ同シ
前項ノ職務ニ在ル町村吏員ニシテ公權剝奪若クハ停止ヲ附加ス可キ重罪輕罪ノ爲メ豫審ニ付セラレタルトキハ監督官廳ハ其職ヲ停止スルコトヲ得

▲本條第二項ハ其結果ノ有罪無罪ヲ問ハサルモノトス(二六、三、二二)

▲名譽職町村長ト有給町村長トハ公民權得有ノ上ニ於テハ前後ノ別アルニ拘ハラズ町村公民タル者ニ限リテ任スヘキ職務ニ在ルノ點ハ同一ナルヲ以テ本條末項ヲ有給町村長ニ適用スルハ正當ナル解釋ナリ(二六、五、二)

▲租稅ヲ納期日ヲ過キ完納セザル場合ニ於テ之ヲ督促スルノ手續ハ行政處分ト云フヲ得ヘキモ財產差押ノ手續ヲ爲スニ至ラサル間ハ未タ二十三年法律第六號ノ租稅滯納處分ト云フヲ得ス(二六、五、四)

▲滯納處分中公民權ノ停止ハ財產差押ノ處分ヲ受タルニ因テ始マルモノニシテ滯納處分ノ手續ニ着手シタルモ未タ公民權ヲ停止シタルモノト云フヲ得ス故ニ財產差押命令アリタ

ルノミニテハ未タ公民權停止中ニアルモノト云フヘカラス(二六、七、一〇)

▲町村稅ヲ其納期ニ至リ納付セザルモ滯納處分ヲ受クルニ在ラサレハ未タ町村公民タルノ資格ヲ缺キタルモノト云フヲ得ス(三三、一〇、一九、二件)

▲編者曰ク、本判決ノ内ノ二件ノ事實ハ負擔村稅中ノ或部分ヲ不納シ其村會ニ於テ之ヲ棄捐シタル場合ニ係ル
禁錮又ハ罰金ニ該ル輕罪ニ依リ公判ニ付セラレタルトキハ縱令其結果單ニ罰金ノミニニ處セラル、コトアリトスルモ尙ホ市制第九條ニ所謂公權停止ヲ附加ス可キ輕罪ノ爲メ公判ニ付セラレタルモノトス(三四、五、二七)

第三款 町村條例

第十條 町村ノ事務及町村住民ノ權利義務ニ關シ此法律中ニ明文ナク又ハ特例ヲ設クルコトヲ許セル事項ハ各町村ニ於テ特ニ條例ヲ設ケテ之ヲ規定スルコトヲ得

町村ニ於テハ其町村ノ設置ニ係ル營造物ニ關シ規則ヲ設クルコトヲ得

町村條例及規則ハ法律命令ニ牴觸スルコトヲ得ス且之ヲ發行スルトキハ地方慣行ノ公告式ニ依ル可シ

▲本條ニ町村ノ事務云々トアルハ町村ノ組織又ハ町村ト住民トノ關係ニ影響スヘキ事項ニシテ明文ナキモノハ條例ヲ以テ規定スルヲ許スノミニシテ會計規程ノ如キ純然タル行政上ノ手續ニ關スル事項マテ條例ニテ規定スルノ謂ヒニアラス(二六、五、二七)

▲有給吏員ノ旅費ノ支出ニ關シテハ特ニ町村條例ヲ以テ規定ヲ設クルコトヲ要セス(三〇、四、八)

第十一條 町村會議員ハ其町村ノ選舉人其被選舉權アル者ヨリ之ヲ選舉ス其定員ハ其町村ノ人口ニ準シ左ノ割合ヲ

第二章 總則 第三款 町村條例 (第十、十一條)

十七

第二章 町村會 第一款 組織及選舉 (第十二條)

以テ之ヲ定ム但町村條例ヲ以テ特ニ之ヲ増減スルコトヲ得

一人口千五百未滿ノ町村ニ於テハ

一人口千五百以上五千未滿ノ町村ニ於テハ

一人口五千以上一万未滿ノ町村ニ於テハ

一人口一万以上二万未滿ノ町村ニ於テハ

一人口二万以上ノ町村ニ於テハ

議員八人

議員十二人

議員十八人

議員二十四人

議員三十人

第二章 町村會

第一款 組織及選舉

第十二條

町村公民(第七條)ハ總テ選舉權ヲ有ス但其公民權ヲ停止セラル、者(第八條第三項、第九條第二項)及第九條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此限ニ在ラス

凡内國人ニシテ公權ヲ有シ直接町村稅ヲ納ムル者其額町村公民ノ最多ク納稅スル者三名中ノ一人ヨリモ多キトキハ第七條ノ要件ニ當ラズト雖モ選舉權ヲ有ス但公民權ヲ停止セラル、者及第九條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此限ニ在ラス

法律ニ從テ設立シタル會社其他法人ニシテ前項ノ場合ニ當ルトキモ亦同シ

▲町村制第五十六條第二項ノ所謂公民權ト第七條ノ公民權ト異ナル所ナク隨テ第五十六條

第二項ニ依テ公民權ヲ得タル者ハ本條ニ規定シタル選舉權ヲ有スルモノトス(二四、九、二五)

▲府縣知事ノ認可ヲ經テ設立シタル會社ニシテ納稅義務ヲ負擔シタルコトアルモ人民相互ノ

契約ニ由リ組織シ法律ニ依リ組織シタルモノニ非サレハ之ヲ以テ法人タルノ資格ヲ有シ

村會議員ノ選舉人名簿ニ登錄スヘキモノト云テ得ス(二五、一一、一二)

▲各學區ニ於テ要スル教育費ハ即チ市稅ナルカ故ニ其納付者ヲ市會議員選舉人名簿ニ登載

セシハ相當ナリ(二六、六、二七)

▲町村ノ全部ニ係ルモノニ在ラスシテ町村内ノ一局部ノ負擔ニ屬スル水利土功費ノ如キハ

町村稅トシテ選舉人ノ資格ニ算入スヘキモノニ在ラス(二七、五、一)

▲選舉期日マテニ法定ノ年齡ニ達スル者ハ選舉權ヲ有ス(三二、一二、二八)

▲選舉資格ノ有無ハ選舉當時ノ現在ノ事實ニ依テ決スヘキモノトス(三三、三、二八)

第十三條 選舉人ハ分テ二級ト爲ス

一級二級ノ間納稅額兩級ニ跨ル者アルトキハ一級ニ入ル可シ又兩級ノ間ニ同額ノ納稅者二名以上アルトキハ其町

村内ニ住居スル年數ノ多キ者ヲ以テ一級ニ入ル若シ住居ノ年數ニ依リ雖キトキハ年齡ヲ以テシ年齡ニモ依リ雖キ

トキハ町村長抽籤ヲ以テ之ヲ定ム可シ

選舉人每級各別ニ議員ノ半數ヲ選舉ス其被選舉人ハ同級内ノ者ニ限ラス兩級ニ通シテ選舉セラル、コトヲ得

▲選舉人ニ等級ヲ設ケタルハ只町村稅負擔ノ多少ト選舉權トヲ相伴ハシメタル迄ニ選舉

人タル點ニ至テハ二者差別アルモノニアラス且其選出シタル議員ニモ亦選舉人ノ屬スル

第二章 町村會 第一款 組織及選舉 (第十三條)

第十九

級ノ異ナルニ依テ差別ヲ生スルコトナシ之ヲ以テ選舉人ハ己レノ屬セサル級ノ選舉ニ關シテ訴願訴訟ヲ爲スノ權利ナシト云テ得ス(二六、三、一一)

▲市制第十三條ニ三級云々トアリ又第十九條ニ各級ニ於テ選舉云々ト在ルハ單ニ各級選舉ノ手續ヲ規定シタルモノニシテ第二十八條ニ所謂選舉ノ效力ニ關スル訴願權マテテ區分スルノ謂ヒニ非サルヲ以テ三級選舉人ハ第二級第一級ノ選舉ニ關シテモ訴願權アルモノトス(二六、六、一一)

▲各學區ニ於テ要スル教育費ハ即チ市町村稅ナルカ故ニ其納付者ヲ市町村會議員選舉人名簿ニ登載スヘキハ當然ナリ(二六、六、二七)

▲町村一局部ノ負擔ニ屬スルモノハ水利土功費ト云ヒ水利組合費ト云ヒ其性質ニ於テ更ニ異ナル所ナク全ク異名同質ノモノナレハ之ヲ町村會議員選舉人ノ資格ニ計算スヘキモノニ在ラス(二六、七、一〇及二七、五、一)

▲夫役ハ金額ニ算出シテ賦課スルモ一般町村稅ト其性質ヲ異ニスルヲ以テ本條ノ直接村稅ノ納額ニ算入スヘキモノニ在ラス(二九、四、四)

▲町村内ノ一部ニ賦課スル區費(第九十九條第二項)モ亦町村稅ナルヲ以テ之ヲ直接町村稅トシテ選舉人ノ等級ヲ定ムル資格ニ算入セシハ相當ナリ(二九、五、二二)

▲區費タル學校費及ヒ土木費ハ地價割戶別割ニシテ直接町村稅ナリ(二九、六、三〇)
▲選舉人名簿ノ確定シタル以上ハ一級二級ノ級別ヲ誤リタルノ事實アリトスルモ其名簿ニ

依リテ執行シタル選舉ハ違法ニアラス(三三、七、九)

▲選舉人名簿カ第十八條ニ依リ確定セシ以上ハ直接町村稅外ノ納額ヲ合算シタル事實アルモ其確定名簿ニ依リテ執行シタル選舉ハ尙ホ有效ナリ(三四、五、三)

第十四條 特別ノ事情アリテ前條ノ例ニ依リ難キ町村ニ於テハ町村條例ヲ以テ別ニ選舉ノ特別ヲ設クルコトヲ得
第十五條 選舉權ヲ有スル町村公民(第十二條第一項)ハ總テ被選舉權ヲ有ス
左ニ掲グル者ハ町村會議員タルコトヲ得ス

- 一 所屬府縣郡ノ官吏
- 二 有給ノ町村吏員
- 三 檢察官及警察官吏
- 四 神官僧侶及其他諸宗教師
- 五 小學校教員

其他官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受ク可シ
代官人ニ非スシテ他人ノ爲メニ裁判所又ハ其他ノ官廳ニ對シテ事ヲ辨スルヲ以テ業ト爲ス者ハ議員ニ選舉セラレ
コトヲ得ス

父子兄弟タルノ緣故アル者ハ同時ニ町村會議員タルコトヲ得ス其同時ニ選舉セラレタルトキハ投票ノ數ニ依テ其
多キ者一人ヲ當選トシ若シ同數ナレハ年長者ヲ當選トス其時ヲ異ニシテ選舉セラレタル者ハ後者議員タルコトヲ
得ス

町村長若クハ助役トノ間父子兄弟タルノ緣故アル者ハ之ト同時ニ町村會議員タルコトヲ得ス若シ議員トノ間ニ其
緣故アル者町村長若クハ助役ニ選舉セラレ認可ヲ受クルトキハ其緣故アル議員ハ其職ヲ退ク可シ

- ▲父子兄弟ノ縁故アルモノトハ養實ノ父子兄弟タルノ關係アルモノヲ云フ妻ノ兄弟又ハ姉妹ノ夫ノ如キ町村制ニ所謂縁故アルモノト云フヲ得ス(二五、一二、三)
- ▲收入役カ村會議員ニ當選シタルヲ以テ收入役ヲ辭シ議員ニ就任シタルヲ郡長カ制第十五條第二項ニ該當スルモノハ町村會議員タルヲ得サルハ勿論被選舉權ヲ有セサルモノトシテ其選舉ヲ無効トセシ處分ハ法律ノ解釋ヲ誤リタルモノトス(二八、一〇、二四)
- ▲本條第二項ハ町村會議員ヲ兼有スルコトヲ得サル者ヲ規定シタルモノニシテ是等ノ者ニ對シ敢テ被選舉權ヲ有セシメサルノ法意ニアラス(二九、二、四)
- ▲本條第一項ハ選舉權ヲ有スル公民ハ總テ被選舉權ヲ有ストノ原則ヲ掲ケタルモノナリ(二九、五、一四)
- ▲本條第二項ハ府縣郡官吏以下ノ者ハ其吏員タル職務ヲ辭スル以上ハ町村會議員ノ當選ニ應スルコトヲ得ルトノ意義ヲ示シタルモノトス(同上)
- ▲現ニ議員ノ職ニ在ル者ト雖モ尙被選舉權ヲ有ス(二九、六、五)
- ▲本條列記中ニハ執達吏ヲ包含セス(三一、四、五及三二、四、一五)
- ▲裁判所構内ニ於テ代書業ヲ營ムノミヲ以テ本條四項ニ該當スル者ト云テ得ス(三二、六、一六)
- ▲選舉前ニ選舉權ヲ得タル者ハ選舉名簿ニ登錄セラレサルモノト雖モ被選舉權ヲ有ス(三二、一〇、一六)
- ▲單ニ教務ヲ協贊スルニ止ルカ又ハ教會所ノ事務ヲ處理スル爲ニ置カレタル者ハ府縣制第

六條第六項第三號ノ諸宗教師ニ該當セス(三三、七、四)

第十六條 議員ハ名譽職トス其任期ハ六年トシ毎三年各級ニ於テ其半數ヲ改選ス若シ各級ノ議員二分シ雖キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ解任セシム初回ニ於テ解任ス可キ者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

退任ノ議員ハ再選セラル、コトヲ得

- ▲改選ト増加トハ任期ニ差違ヲ生スヘキモノナレハ選舉ノ結果ニ異動ナキト否トニ拘ハラズ其投票ハ各之ヲ區別セサルヘカラス(二六、四、一四及二九、四、一一)
- ▲法律ニ於テ單ニ年限ノミヲ記シ別ニ其計算方ヲ定メサルモノハ曆年ヲ以テ計算スヘキモノトス(二六、一二、七)
- ▲町村會議員ノ任期ハ曆年ニ依リ之ヲ計算スヘキモノトス故ニ議員ノ滿期前ニ其改選ヲ執行シタルハ議員ノ任期ヲ短縮シタルモノニシテ本條ノ規定ニ違背シタル不法ノ選舉ト云ハサルヲ得ス(三三、四、二八)
- ▲本條第一項ニ解任スヘキモノハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ムトアルハ解任ノ方法ヲ規定シタルモノニシテ議員ノ各自ニ抽籤ヲ爲スノ權利ヲ附與シタルモノニ在ラス故ニ抽籤ヲ以テ退任ノ議員ヲ定ルニ當リ議員ニ關員アル場合ニ於テ關員者ノ位席ニ對シ解任ス可キ者ナルヤ否ノ抽籤ヲ爲シタルハ違法ニ在ラス(三三、七、一〇)
- ▲郡會議員ノ任期ハ曆年ニ依リ計算ス可キモノニシテ其行フタル職務ノ程度如何ニ依リ年限ニ増減ヲ來スモノニ在ラス(二六、一二、六及同月七及同月一四)

第十七條 議員中議員アル時ハ毎三年定期改選ノ時ニ至リ同時ニ補選ヲ行フ可シ若シ定員三分ノ一以上議員アルトキ又ハ町村會町村長若クハ郡長ニ於テ臨時補選ヲ必要ト認ムルトキハ定期前ト雖モ其補選ヲ行フ可シ
補選議員ハ其前任者ノ殘任期間在職スルモノトス
定期改選及補選選舉トモ前任者ノ選舉セラレタル選舉等級ニ從テ之カ選舉ヲ行フ可シ

▲定期改選ト補選選舉トヲ同時同場所ニ於テ執行シ其用紙ヲ一定シタル場合ニ當リ二箇ノ投票函ヲ設ケタルカ爲メ定期、補選交々投票函ヲ取違ヘタル時定期改選ノ用紙ニ其定數ノ被選人ヲ記載シタルニ於テハ函ノ何レタルニ拘ハラズ定期選舉ノ投票ナリト認メサルヲ得ス(二九、三、一〇)

▲村會議員定數ノ三分一以上缺員アルニモ拘ハズ補選選舉ヲ行ハスシテ村會ヲ召集シテ議決ヲ爲シタルハ違法ナリト主張シ其議決ノ取消ヲ求ムル事件ニ關シ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(三〇、一〇、六)

▲村會議員ノ補選選舉ハ定期改選ト同時ニ行フヘキモノトス(三二、三、二四)

第十八條 町村長ハ選舉ヲ行フ毎ニ其選舉前六十日ヲ限リ選舉原簿ヲ製シ各選舉人ノ資格ヲ記載シ此原簿ニ據リテ選舉人名簿ヲ製ス可シ
選舉人名簿ハ七日間町村役場ニ於テ之ヲ關係者ノ縱覽ニ供ス可シ若シ關係者ニ於テ訴願セントスルコトアルトキハ同期限内ニ之ヲ町村長ニ申立ツ可シ町村長ハ町村會ノ裁決(第三十七條第一項)ニ依リ名簿ヲ修正ス可キトキハ選舉前十日ヲ限リテ之ニ修正ヲ加ヘテ確定名簿トナシ之ニ登錄セラレサル者ハ何人タリトモ選舉ニ關スルコトヲ得ス
本條ニ依リ確定シタル名簿ハ當選ヲ辭シ若クハ選舉ノ無効トナリタル場合ニ於テ更ニ選舉ヲ爲ストキモ亦之ヲ適

用ス

▲詐稱ニ依リテ一級名簿ニ登載セラレタル者ニ付テノ異議ハ即チ名簿等級ノ當否ニ關スル事件ナルヲ以テ本條ノ規定ニ依ラサルヲ得ス故ニ本條ノ期限ヲ經過シタルトキハ其選舉無効ナリトノ訴願ヲ提起スルコトヲ得ス(二四、一、二九)

▲本條末項ハ選舉ノ當時當選ヲ辭シ又ハ選舉ノ規定ニ違背シタル爲メ改選スヘキ場合ヲ規定シタルモノニシテ選舉ノ事務全ク結了シタル後マテ及フヘキモノニアラス(二四、四、二八)
▲確定名簿ノ效力ハ該簿ニ登錄セラレサル者ハ何人モ選舉ニ關スルコトヲ得サルト當選ヲ辭シ若クハ選舉ノ無効トナリタル場合ニ更ニ選舉ヲ爲ストキ亦之ヲ適用スルトニ存スルニ過キス(二六、一、二二)

▲無資格者ニシテ名簿ニ登錄セラレ、コトアルモ名簿確定ノ效力ニ依リ有資格者ト爲ルヲ得ス(同上)

▲縱覽期限ハ法律上ノ規定ニ係ルヲ以テ選舉名簿ヲ變更シタル爲メ之ヲ延長スルヲ得ス(二六、二、二六)

▲選舉人名簿ハ縱覽中及期日後ハ法律ニ基キ訴願裁決ノ結果等ニ依ルニアラスシテ町村長一己ノ見込ヲ以テ濫リニ加除訂正ヲ爲シ得ヘキモノニアラス(二六、一、二六及二七及二八、一、二六及二八、二、二七)

▲本條一項ハ名簿ノ調製ニ係ル規定即チ名簿ニ登錄セラレシモノ、ミニ選舉ヲ許シ否ラサ

- ▲ルモノハ選舉權アルモ選舉ニ與カルヲ得セシメサルノ規定ニ過キス之ニ依テ選舉權アルコトヲ確定スルモノニアラス(二六、七、一〇)
- ▲法律上ノ手續ヲ經テ確定シタル選舉人名簿ハ確實ナル反對ノ證據アルニアラサレハ確定後ニ變更セラレタリトスルヲ得ス(二六、一〇、二六)
- ▲選舉人名簿ハ縱覽期限ノ滿了若クハ選舉前十日ヲ限リ確定スルモノニシテ無資格者ノ登載アルモ之ヲ以テ不正ノ名簿ト云フヲ得ス(二六、一一、二六)
- ▲本條二項未段ノ規定ハ關係者ノ異議ニ對シ選舉前町村會ノ裁決アリタル場合ニ始メテ爲スヘキノ手續ヲ定メタルモノナレハ未タ何等ノ裁決ヲ爲スニ至ラスシテ選舉ヲ執行シタルモノ、如キハ同規定ニ背クモノト云フヲ得ス(二七、六、二〇及二八、一、三)
- ▲本條ニ選舉前六十日ヲ限ルトハ選舉當日ヲ算入セス其前日ヨリ起算シ溯テ六十日ヲ限ルモノト解釋スルヲ允當ナリトス(二八、一一、二七)
- ▲選舉原簿調製ノ期日ハ本條ノ規定ニ依リ毫モ伸縮スルヲ得サルモノトス(二八、一二、一九)
- ▲本條第一項ノ期限ハ選舉原簿等ヲ調製スヘキ期限ニシテ公民タル資格ヲ査定スヘキ期限ニアラス(二九、二、二七、二件)
- ▲裁決ノ確定ヲ俟タズシテ選舉名簿ヲ修正シタルハ適法ノ行爲ニアラス(二九、三、一二)
- ▲本條末項ノ規定ハ選舉ノ當時其當選ヲ辭スルカ若クハ選舉ノ無効トナリタル場合ノミニ適用ス故ニ二級半數改選ヲ行ヒタルニ其選舉ハ無効トナリ再選舉ヲ行フニ當リ同時ニ一

級補缺選舉ヲ執行スル場合ニ於テハ二級選舉人名簿ヲ新ニ調製スルノ必要アルモノトス(三一、一一、一〇)

- ▲二級半數改選并同補缺選舉ヲ行ヘタルニ其選舉ハ無効トナリ再選舉ヲ行フニ當リ同時ニ一級補缺選舉ヲ行ヒタル爲メ新ニ選舉人名簿ヲ調製シタルニ其再選舉モ亦無効ト爲リ更ニ再三選舉ヲ行フニハ二級補缺選舉ノ際調製シタル新ナル選舉名簿ニ據ルヘキモノトス(三一、六、一四)
- ▲本條末項ノ規定ハ再選舉ノ時マテ確定名簿カ依然其效力ヲ存スル場合ニ限り之ヲ適用スヘキモノトス(同上)
- ▲選舉人名簿ヲ調製スルニ當リ選舉人タル資格ノ有無ヲ調査スルハ町村長ノ責務也(三一、一二、二六)
- ▲本條ニ所謂「選舉人」ノ資格ヲ記載シトハ現ニ選舉權ヲ行使シ得ル者ノ資格ヲ記載スルノ意義也(同上)
- ▲選舉人名簿調製ノ當時刑事被告人トシテ豫審中ノ者ヲ名簿ニ登載セシハ選舉ノ規定ニ違背ス(同上)
- ▲本條第二項ノ規定ハ選舉人名簿ハ關係者ノ訴願アル場合ニ限り市町村會ノ裁決ニ依リ修正スルコトヲ得ヘキ意義ナルヲ以テ關係者ノ訴願ナキニ市町村長カ市町村會ノ裁決ヲ求メ名簿ヲ修正セシハ違法ナリトス(三二、四、一、二及同五、二九)

- ▲選舉原簿ハ其調製當時ノ納稅負擔額ヲ標準トシテ調製スヘキモノトス(三三、五三及三三、五八及三三、七一〇)
- ▲選舉人名簿ヘ登載ヲ求ムルモノハ其資格アルコトヲ證明スルノ責任ヲ有ス(三三、五二六)
- ▲選舉名簿ニ登錄セラレサル者ハ選舉權ヲ行使スルコトヲ得ス(三三、五二九及同二〇、一六〇)
- ▲選舉前ニ選舉權ヲ得タル者ハ選舉確定名簿ニ登錄セラレスト雖モ被選舉權ヲ有ス(三三、一〇一六)
- ▲選舉期日マテニ法定ノ年齢ニ達スル者ハ選舉權ヲ有ス(三三、一二二、二二八)
- ▲選舉ノ資格ノ有無ハ選舉當時ノ現在ノ事實ニ依リテ決スヘキモノナルヲ以テ一旦確定名簿ニ登錄セラル、モ其後資格ヲ失シタルトキハ選舉權ヲ有セサルモノトス(三三、二二八)
- ▲區會議員ノ選舉原簿調製ニ關シテ郡長ヨリ村長ニ對シテ發シタル命令ヲ取消サンコトヲ請求スル事件ニ關シテ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(三三、四一六)
- ▲適法ノ手續ヲ經テ確定シタル選舉人名簿ハ法律上正當ノモノナルヲ以テ之ニ依リ執行シタル選舉ハ違法ニ在ラス(三三、五三)
- ▲編者曰ク、事實ハ直接町稅外ノ納額ヲ合算シ選舉人名簿ヲ調製セシニ在リ
- ▲町村會議員選舉人名簿ハ既ニ適法ノ手續ヲ經テ確定シタル以上ハ本條ニ基ツク訴訟及訴訟ノ結果ニ依ルニ在ラサレハ之ヲ動スコトヲ得ス從テ其名簿ハ法律上正當ノモノト認ムヘキモノナレハ之ニ依リ執行シタル選舉ハ違法ニアラス(三三、七、六及九、二件)

▲編者曰ク、事實ハ一級二級ノ級別ヲ誤リ選舉人名簿ヲ調製セシニ在リ

- ▲選舉原簿ニ登錄サレ人名簿ニ脱漏シアルヲ以テ選舉當日助手吏員カ之ヲ名簿ニ加載シタルハ本條ニ依リテ違法ナリ去レト其結果選舉全體ニ何等ノ影響ヲ及ホサル限リハ選舉全部カ無効ト爲ルヘキモノニ在ラス(三三、七、九)
 - ▲吏員カ本條ノ規定ニ背キ擅ニ名簿ヲ訂正シ三級選舉者ヲ二級ニ繰上ク選舉ヲ執行シタルモ選舉ノ結果ニ異動ヲ及ホスノ虞ナキトキハ選舉全部ヲ無効ト爲スヘキモノニ在ラス(三三、七、九)
 - ▲確定シタル選舉人名簿ハ町村制第十八條ニ基ク訴訟訴訟ノ結果ニ依ルノ外之ヲ動カスコトヲ得ス(三三、七、一〇)
 - ▲編者曰ク、事實ハ無資格者ヲ人名簿ニ登錄シ選舉ヲ執行セシメタル場合也
 - ▲選舉權ナキ者カ投票ヲ爲シタル事實アルモ爲メニ選舉ノ結果ニ異動ヲ生セサルトキハ其選舉ハ有效也(三三、七、一〇)
 - ▲選舉人名簿ノ縦覽期限中關係者ノ訴願アリテ裁決ノ結果名簿ノ修正ヲ爲シタルハ適法ナリ(三三、一〇、二九)
 - ▲確定名簿ニ無資格者ノ登錄セラレタル事實アリトスルモ該名簿ニ依リテ執行シタル選舉ハ無効ニ在ラス(同上)
- 第十九條 選舉ヲ執行スルトキハ町村長ハ選舉ノ場所日時ヲ定メ及選舉ス可キ議員ノ數ヲ各級ニ分テ選舉前七日ヲ限リテ之ヲ公告ス可シ

各級ニ於テ選舉ヲ行フノ順序ハ先ツ二級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ一級ノ選舉ヲ行フ可シ

▲二級選舉會カ第二十一條及第二十四條ノ規定ニ違背シタルモ本條ニ依リ兩級各別ニ選舉會ヲ開キ各其選舉ヲ行フタルモノナレハ二級選舉ノ不法ヲ理由トシ完全ナル一級選舉ヲモ取消スユトヲ得ス(二四、二三)

▲公告文ノ原稿及淨書トモ町長ノ自筆ナルモ其職務上ノ行爲ナルニ由リ單ニ町役場書記カ之ニ關係セサルノ故ノミヲ以テ町長カ後日自由ニ作爲シタルノ證トスルニ足ラス(二五、三一、一九)

▲選舉ヲ行フハ當選者ヲ定ムルニ外ナラサルモノナレハ未タ當選者ノ定マラサル前ニ於テ選舉ヲ了リタリト云フヘカラス隨テ二級選舉ノ當選者ヲ査定セス一級選舉ノ投票ヲ始メタルハ選舉ノ規定ニ違背シタルモノトス(二六、二、二三及二六、六、一一)

▲投票日時告示ノ但書ニ時間ハ便宜變更スルコトアル旨ヲ豫告シタルノミナラス告示ノ日時ニ選舉會ヲ開始シ暴行者アリタル爲メ不得止時間ヲ延長シタルカ如キハ本條ニ違背シタルモノニアラス(二六、四、一四)

▲建物ノ入口等ヲ異ニスルモ等シク同一地内ニ於テスル以上ハ既ニ公示シタル選舉會場ヲ移轉シタルモ不法ニ會場ヲ變更シタリト云フヲ得ス(二六、四、一四)

▲一家屋内ニ於テ一定ノ區域ヲ設ケ之ヲ以テ選舉會場ト爲シタル場合ニ於テ區域外ニ在リシ者ヲシテ投票ヲ行ハシメサルモ違法ノ處分ト云フヲ得ス(二六、六、一一)

▲三級選舉(又ハ)ヲ結了シタル後ニアラサンハ二級選舉(又ハ)ヲ行フヲ得サルモノトス(二六、六、一二及三二、一二、二七)

▲最初開會時限ヲ告示シ更ニ閉會時限ノ告知書ヲ發シタルトキハ後ノ告知書ハ前キノ告示ヲ補充シタルモノト認メサルヘカラスニ依リ告知ノ時限即チ閉會時限ヲ過キタル投票ハ有效ノモノト云フヘカラス(二七、四、一六)

▲本條ニ所謂選舉前七日ヲ限リテ公告スヘシトハ選舉執行ノ前日ヨリ起算シテ公告ヲ爲スヘキノ法意ナリ(二七、一二、二七及二九、七、九)

▲村會議員ノ選舉カ本條ノ規定ニ違背シタルトキハ單ニ當選ノミヲ無効トスヘキモノニアラスシテ選舉全部ヲ取消スヘキモノトス(二九、七、九)

▲選舉前二日ニ至リ豫テ公告シタル選舉ノ場所ヲ變更シテ執行シタル町村會議員ノ選舉ハ本條ノ規定ニ背反ス(三〇、六、四、二件)

▲公告シタル選舉會場以外ニ於テ選舉ヲ行ヒタルハ違法也(三一、一二、七)

▲一旦告示シタル選舉期日ノ時間ニ誤記アルコトヲ發見シ翌日ニ至リ其訂正ヲ爲シタル場合ニ訂正前ノ告示ヨリ起算スルトキハ法定ノ期間ニ不足アルモ其訂正ハ選舉ノ期日ヲ變更シタルモノニアラサルヲ以テ訂正前ノ告示ヨリ起算シテ法定ノ期間アルニ於テハ該告示ニ依リテ執行シタル選舉ハ適法也(三二、五、二六)

▲選舉期日ニ至リ相當ノ理由アリテ豫定ノ時間ヲ繰下ケテ選舉ヲ開始シタルハ違法ニアラ

ス(三三、三六、三〇)

▲止ムヲ得サルノ事由存セサルニ拘ハラズ一旦公告シタル選舉期日ヲ變更シタルハ違法ナリ(三三、三二、三八)

▲村長カ其職務執行停止中ニ爲シタル公告ニ依リテ執行シタル選舉ハ違法ナリ(三三、三二、三八)

▲二級ノ選舉ノ閉會ヲ告ケサル内ニ一級選舉ヲ開始シタルハ一級二級ノ選舉共ニ違法ニシテ取消スヘキモノトス(三三、三二、二七)

▲町村會議員選舉ノ公告ハ選舉ノ日ヨリ七日前ニ發ス可キモノニシテ十月七日ヲ以テ公告ヲ爲シ同月十三日ニ執行シタル選舉ハ即チ一日ヲ短縮セシテ以テ町村制第十九條ノ規定ニ違背シタルモノトス(三三、三二、二八)

▲府縣制第十三條ニ「投票ヲ行フヘキ日時」トアルハ投票函閉鎖ノ時刻ヲ定ムヘキ規定ニ在ラス故ニ其告示時刻迄ニ入場セシ者ニ投票ヲ行ハシムル爲メ該時刻ヲ經過シ投票函ヲ閉鎖スルモ府縣制ノ趣旨ニ違背セス(三三、七、九)

第二十條 選舉掛ハ名譽職トシ町村長ニ於テ臨時ニ選舉人中ヨリ二名若クハ四名ヲ選任シ町村長若クハ其代理者ハ其掛長トナリ選舉會ヲ開閉シ其會場ノ取締ニ任ス

▲他級ノ選舉人ヲ選舉掛ニ選任スルモ違法ニ在ラス(二四、一、二九及二六、二二、二六)

▲選舉掛ハ其數二名ニ下ラサル限リハ其時既定ノ人員ヲ備ヘサルモ違法ニ在ラス(二四、七、三)

及二五、六、二三及三四、六、二九)

▲掛長タル村長カ欠席間選舉場内ノ取締ノ爲メ假リニ助後ニ其事務ヲ扱ハシメタル行爲ハ違法ニアラス(二六、三、一一)

▲選舉掛長ハ必要ト認メタル場合ニ於テ選舉事務補助ノ爲メニ選舉掛ニアラサル者ヲ選舉會場ニ入ラシムルコトヲ得(二六、五、八及三二、二二、二七)

▲郡書記ヲ以テ選舉掛長ト爲シタル郡長ノ處分ニ對シテハ法律勅令中行政訴訟ヲ許シタル規定ナシ(二六、一〇、一一)

▲選舉掛二名若クハ四名ノ偶數ヲ選任スルノ規定ハ第二十三條ノ規定ニ依リ議決ノ場合ニ於テ掛長ヲ併セ奇數ヲ要スルニアリ故ニ各投票ノ當否ヲ議決スルニ當リ選舉掛一名欠席シ偶數ノマ、之カ議決ヲナシタルトキハ選舉ノ規定ニ違背シタルモノトス(二六、一、二八及同五、三及二、八一、一、八)

▲本條ハ每級各別ニ選舉掛ヲ選任スヘキ規定ト解釋スルヲ得ス(二六、二二、一六)

▲本條ハ投票ノ受理不受理ニ關スル場合ニ適用シ得ヘキ規定ニアラス故ニ選舉掛長ハ取締ニ基ク職權ナリトシテ選舉掛ニ諮ラスシテ投票ノ受理ヲ拒ミタルハ違法ナリ(二八、一、七)

▲選舉錄ニ選舉掛長ノ署名ナキモ選舉ノ際掛長カ出席シタルコト明白ナレハ掛長ヲ差措キ他ノ選舉掛ノミカ選舉ヲ執行シタルモノト謂フヲ得ス(三〇、一、二七)

▲選舉掛ハ他人ヲシテ選舉錄ノ調製ヲ補助セシムルコトヲ得(三三、三二、二七)

▲三名ノ選舉掛ト掛長ト偶數ノ人員ニテ投票ノ進行ヲ繼續スルモ町村制第二十三條ノ假議決ヲ爲セシコトナキ以上ハ違法ニ在ラス(三四、六、二九)

▲選舉長及立會人カ自己ノ選舉權ヲ執行センカ爲メ一時其自席ヲ離レタル行爲ハ郡制第拾三條其他同制中ノ規定ニ背反スル所ナシ郡制(三四、五、二八)

第二十一條 選舉開會中ハ選舉人ノ外何人タリトモ選舉會場ニ入ルコトヲ得ス選舉人ハ選舉會場ニ於テ協議又ハ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス

▲選舉分會場所屬ニ在ラサル者カ入場スルモ其者カ本會所屬ノ有權者ナルトキハ本條ノ規定ニ背カス(二四、七、三及二六、五、八)

▲本條ハ選舉事務補助ノ爲メ必要ト認メ入場セシムルモノマテモ制限スル規定ニ在ラサルカ故ニ選舉掛長ニ於テ其必要ヲ認メ町村吏員又ハ個人ヲ入場セシメ選舉事務ヲ補助執行セシムルヲ妨ケス(二六、三、一及二六、五、八及二八、一一)

▲異級ノ選舉人カ日時ヲ誤リタル爲メ入場スルモ選舉掛長ノ制止ニ依リ之ヲ覺知シ直ニ退場シタルトキハ違法ノ選舉會ナリト謂フヲ得ズ(二八、一一、八、二件)

▲數葉ノ投票ガ同一筆跡ニ成リタリトノ證據ハ選舉人ト相互ニ協議ヲ爲シタルモノトノ事實ヲ證明スルニ足ラズ(二九、六、九)

▲無資格者カ選舉會場ニ入ルモ選舉掛長カ直ニ退場セシメタルトキハ本條ノ規定ニ違背シ

タリト云フヲ得ズ(二九、九、二二)

▲本條ニ所謂選舉人トハ各級選舉人ヲ總稱シタルモノトス(二九、一一、一四)

▲選舉掛長ハ選舉會場ノ取締上必要ト認ムルトキハ他級ノ選舉人ノ入場ヲ拒絕スルヲ得(三〇、四、一三)

▲選舉掛長カ選舉取締ノ爲メニ警察官ヲ選舉會場ニ入場セシメタルハ違法ニアラス(三二、六、九)

▲本條ハ選舉ニ無關係ナル者ノ入場ヲ禁シタル規定ニシテ選舉人トシテ選舉會場ニ入り選舉終了後ニ選舉資格ナキコトヲ發見シタル場合ハ選舉ニ關係ナキ者ノ入場トシテ之ヲ適用セス(三三、三、三〇及同六、一五)

▲選舉掛長ハ會場取締ノ必要アルトキハ投票開函ノ場合ニ選舉人ノ參觀ヲ許サザルモ選舉權ノ行使ヲ妨ケタルモノト云フヲ得ス(三四、六、二九)

▲無資格者カ選舉會場ニ入り一選舉人ノ投票ヲ奪取タルノ事實アリトスルモ警察官ノ制止ニ依リ其ノ無資格者ヲ場外ニ退去セシメタル後更ニ用紙ヲ交附シテ投票ヲ爲サシメタル事實明確ナル以上ハ該選舉ハ無効ニアラス郡制(三三、五、一四)

▲投票數ト投票人ノ數ト相符合スル場合ニ於テ其ノ投票ノ外ニ投票函ヨリ文字ノ記載ナキ投票用紙一葉出テタルノ一事ヲ以テ府縣制第十七條ノ規定ニ違背セル選舉ナリト謂フヲ得ス府縣制(三三、六、一五)

第二章 町村會 第一款 組織及選舉 (第二十二條)

三十六

第二十二條 選舉ハ投票ヲ以テ之ヲ行フ投票ニハ被選舉人ノ氏名ヲ記シ封緘ノ上選舉人自ラ掛長ニ差出ス可シ但選舉人ノ氏名ハ投票ニ記入スルコトヲ得ス

選舉人投票ヲ差出ストキハ自己ノ氏名及住所ヲ掛長ニ申立テ掛長ハ選舉人名簿ニ照シテ之ヲ受ケ封緘ノ儘投票函ニ投入ス可シ但投票函ハ投票ヲ終ル迄之ヲ開クコトヲ得ス

▲選舉投票ノ際選舉人名簿ニ附點ヲ爲シテ受理シタル數ハ二百一票ナルニ開函ニ當リ二百三票入函シアルヲ發見スルモ元來人名簿ノ附點ハ制度ノ命スル所ニ在ラス單ニ掛長ノ記憶ノ爲メニセシモノナレハ仮令附點ノ數ト實際ノ投票數ト一票ノ差異アルモ別ニ其不正タルノ證據ナキ以上ハ之ヲ以テ無効ノ投票ナリト云フヲ得ス(三五、二二、一〇)

▲改選議員ノ投票ト増加議員ノ投票トヲ區別セスシテ爲シタル選舉ハ違法トス(二六、四、三四及二九、四、一一)

▲選舉掛ノ助手ニ於テ選舉掛ノ面前ニ於テ選舉人ノ依頼ニ從ヒ投票ノ代書ヲ爲シタルモ他ニ選舉ノ自由ヲ妨クル行爲ナキ限りハ本條ニ違背シタルモノト云フヲ得ス(二六、五、八)

▲半數改選ト補欠選舉トノ投票ヲ反對ニナシタルハ選舉人ノ不注意ニ歸スルモノニシテ選舉掛長及ヒ選舉掛ノ責ニ歸スルモノニアラス(二六、七、一〇)

▲本條第二項ハ投票ノ差出及ヒ受理ニ關スル順序ノ手續ヲ規定シタルニ止リ選舉掛長ニ投票拒絶ノ特權ヲ與ヘタルモノニアラス(二八、一一、七)

▲選舉掛カ代書セシ投票ヲ本人ニ讀ミ聞カセタルハ匿名投票ノ趣旨ニ違反スト云フモ投票

代書ノ場合ニ於テ其誤謬ナキヲ知シムルカ爲メ之ヲ依頼者ニ讀ミ聞スルモ之ヲ以テ違法ノ所爲ナリト云フヲ得ス(二八、一一、八)

▲數葉ノ投票カ同一筆跡ニナリタリトノ事實ハ選舉人ニ於テ互ニ協議ヲ爲シタルモノトノ證據ト爲ラス又町村制中投票代書ニ關スル規定アラサルヲ以テ選舉錄ニ何等ノ記載ナキ代書投票ナレハトテ無効トスルコトヲ得ス(二九、六、九)

▲蓋ヲ開クニアラサレハ投票投入ノ途ナキ箱ヲ用キタル選舉ハ選舉ノ規定ニ違背シタルモノトス(二九、九、二一)

▲錠前ナキ懸蓋ヲ爲シタル投票函ヲ用ヒタル選舉會ハ背法ナリ(二九、一一、二)

▲法律ノ規定以外ニ投票ノ方法ヲ揭示スルモ之カ爲メニ選舉ヲ妨害シタルノ事實ナケレハ其選舉ハ違法ニ在ラス(三〇、七、九)

▲本條第二項ノ規定ニ依リ投票ハ必ス投票函ニ投入ス可ク開函後ノ投票ヲ混同シテ當選者ヲ定ムルコトヲ爲ス(三一、五、一〇)

▲封緘トハ糊貼若クハ封筒等ノ方法ニ依リ密閉スルノ法意ナルヲ以テ仮令外部ヨリ被選舉人名ヲ窺知スル能ハサル様爲シタリトテ單ニ投票用紙ヲ折合セタルノミニテハ封緘ヲ爲シタリト云フヲ得ス(三二、四、七)

▲投票ヲ糊貼シタル以上ハ「メ」又ハ封等ノ文字ヲ記載セサルモ封緘ノ效力ヲ有ス(三二、六、一六)

- ▲本條第二項ノ規定ハ投票中相當ノ方法ヲ以テ之ヲ封鎖スヘキノ意義ニシテ、必スシモ鎖鑰ヲ用フルコトヲ要ストノ法意ニアラス(三三、六、二二三)
- ▲甲者カ自カラ選舉會場ニ入り乙者カ其投票ノ取次ヲ爲シタルノ一事ヲ以テ代人投票ヲ爲シタルモノト謂フヲ得ス(同上)
- ▲本條第二項ニ投票ヲ終ルマテトアルハ豫告ノ投票時間ノ終了ヲ指スモノニアラスシテ事實上投票ノ終了ヲ告グルコトノ意義ナリ(三三、一〇、二七)
- ▲投票ハ開封ノ際必スシモ用紙ノ毀損ヲ來スヘキモノニ非ラサルヲ以テ紙面ニ損傷ナキモ投票悉ク糊貼ノ痕跡アル以上ハ之ヲ無封緘ノ投票ト云フヲ得ス(三三、一二、二一八)
- ▲選舉人ハ平等ニ各一個ノ投票ヲ差出スヘキモノトス(三三、一二、二二二)
- ▲投票用紙ニ普通ノ半紙ヲ用キタルハ違法ニ非ラス(三三、三、三三〇)
- ▲投票ノ幾部ニ無封緘ノ投票アリテ之ヲ當選者ノ得票ヨリ扣除スルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スル場合ハ其選舉ヲ取消スヘキモノトス(三三、一〇、一九)
- ▲被選舉人ノ名ノ下ニ捺印アル投票ハ郡制第十五條第一項第五號ノ規定ニ依リ之ヲ無効トス(三三、四、二二)
- ▲郡制第十五條第五項ニ投票用紙ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得スト在ルハ何人カ何人ヲ選舉シタル哉ヲ公示セシメサル規定ナリ故ニ選舉人ノ證明書ヲ以テ被選舉人ノ何人タルコトヲ證明スルハ法律ノ許サハル所ナリトス(三三、七、一〇)

第二十三條

投票ニ記載ノ人員其選舉ス可キ定數ニ過キ又ハ不足アルモ其投票ヲ無効トセス其定數ニ過クル者ハ求尾ニ記載シタル人名ヲ順次ニ棄却ス可シ

左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一 人名ヲ記載セス又ハ記載セル人名ノ誤ミ難キモノ
- 二 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
- 三 被選舉權ナキ人名ヲ記載スルモノ
- 四 被選舉人氏名ノ外他事ヲ記入スルモノ

投票ノ受理並效力ニ關スル事項ハ選舉掛假ニ之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ掛長之ヲ決ス

- ▲選舉掛ハ其數二名ヲ下ラサル限リハ一時既定ノ人員ヲ備ヘサルモ違法ニ在ラス(二四、七、三及三四、六、二一九)
- ▲投票中被選人ノ氏名ニ誤字若クハ脱字アルモ被選人中最モ能ク類似スル者ノ得票ト認定スルヲ至當トス(二五、四、二二)
- ▲本條ハ選舉ニ必要ナキ雜事ヲ記入シタル場合ヲ指スモノニシテ被選人ノ資格ヲ明確ニスルカ爲メノ記入ハ之ニ該當スト云フヘカラス故ニ投票ニ「被選人某」ト記入シタルカ如キハ無効ノ投票ナリト云フヲ得ス(二五、五、二六)
- ▲一封中ニ二票ノ投票アリタルハ當選者ヲ判別スルニ由ナキヲ以テ二票共ニ無効ナリト云ハサルヲ得ス(二五、六、二三)
- ▲本條第二項四ノ規定ハ選舉ニ害アルコト若クハ選舉ニ必要ナキ雜事ヲ記入シタル場合等

ヲ指スモノニシテ投票用紙タルノ性質ヲ明カナラシムルカ爲メノ記入ハ之ニ該當セス故ニ「村會議員投票明治二十五年月日」ト印刷セル用紙ヲ用キタル投票ヲ無効ナリト云フヲ得ス(二六、五、六)

▲投票用紙ノ表面ト裏面トヲ問ハス他事ヲ記入シタルモノハ本條ノ規定ニ反スルモノナルヲ以テ該用紙ノ裏面ニ「カイロ」等ノ雜事ヲ記入シタルモノハ無効ナリトス(二六、五、八)

▲一定ノ投票用紙ヲ設ケ選舉人ノ望ミニ任セ其使用ニ充ツルトキハ毫モ法律ノ規定ニ違背スルモノニアラス故ニ役場ノ印章ヲ押捺シタル投票用紙ヲ配布シタルモ違法ニアラス(二六、五、八)

▲投票ノ數カ現ニ投票ヲ爲シタル選舉人ノ員數ト符合セス過剩投票アル場合ニ在リテハ其過剩投票ノ數ヲ當選者ノ得票數ヨリ控除シテ當選ノ結果ニ異動ナキトキハ其選舉ハ取り消スヘキモノニ非ラス(二六、六、六及二七、七、一〇)

▲投票タルノ性質ヲ明カナラシムル爲メ投票中ニ「選舉書及右幾名選舉仕候也」等ノ文字并ニ月日ヲ記入スルモ是等ハ選舉ニ必要ナキ雜事又ハ害アル記入ヲ爲シタルモノニアラサルヲ以テ之ヲ無効ナリト云フヲ得ス(二六、六、六)

▲「左右助」ヲ「惣助」ト記入シタル投票ヲ無効トシタルハ其當ヲ得サルモノトス(二七、七、一〇)

▲委任狀ニ關スル疑義ハ直チニ投票其物ニ關スル疑義ト云フヲ得サレトモ本條末項投票ノ

受理ニ關スル事項中ニ包含スヘキモノトス(二六、一〇、九)

▲委任狀ニ關スル疑義ヲ掛長ニ於テ專決シ選舉掛ニ議決セシメサルハ本條末項ノ規定ニ違背シタルモノナリ(同上)

▲四名ノ選舉掛中一名ノ缺席者アルニモ拘ラス三名ノ選舉掛ト選舉掛長ヲ合セ偶數ノ人員ヲ以テ各投票ノ當否ヲ議決シタル選舉ハ違法ナリ(二六、一一、一八及二七、五、三)

▲投票ノ裏面ニ選舉人氏名ノ頭字ヲ取り一定ノ意味アル「スハ」「スト」等ノ文字ヲ附記シタルハ無効ノ投票ナリ(二七、六、六)

▲町村會議員選舉ニ於テ其投票ヲ拒絕スルニハ必ス選舉係ノ假議決ヲ要ス(二八、一一、七)

▲投票記載ノ氏名ニ誤脱誤字等アルモ選舉當時ノ事實ニ徴シテ其何人ヲ指示シタルヤヲ認識シ得ル投票ハ有効トス(二八、一一、八)

▲平岡惣吉ト記載スヘキヲ平岡吉ト記載シタル投票ヲ選舉掛ニ於テ有効タラシメタルハ平岡惣吉ナルモノヲ選舉シタルモノト確認シ得ヘキモノナルヲ以テ有効ノモノナリト縣參事會カ裁決シタル其裁決ハ取消スヘキモノニアラス(同上)

▲村會議員選舉投票ニ被選舉人ノ異名ヲ記載スルモ其何人ニ對スル投票ナルカヲ確認シ得ヘキモノハ其人ノ得票中ニ算入スヘキモノトス(二八、一一、一四)

▲中野久三郎ト記載シ在ル投票ハ之ニ類似ノ氏名ヲ有スル中野久市及木下久三郎(被選舉人)ハ他ニ得票數ナク既ニ中野文三郎ニ於テ數十箇ノ投票ヲ得タル事實アル以上ハ之ヲ中野文

三郎ヲ選舉シタルモノト確認シ得ヘキ也(二九、二二二)

▲投票用紙ノ式ヲ一定シタル場合ニ於テ選舉人之ヲ誤用セサル限り投票函ヲ取違ヘ投入スルモ無効投票ニアラス(二九、三、一〇)

▲本條第一項ハ投票面ノ記載ニ於テ選舉スヘキ人員ノ定數ヲ誤リ過不足アル場合ヲ云フモノニシテ全ク別個ノ記名即チ選舉人自己ヲ末尾ニ記載シタル疑ヒアル場合ニ適用スルヲ得ス(二九、三、一二、二件)

▲被選舉權ナキ人名ヲ記載スル投票ト雖モ被選舉權ヲ有スル者ノ中ニ就キ其投票ヲ指名スル被選人名ヲ確認シ得ヘキ場合ハ本條第二項ノ三ニ依リ直ニ之ヲ以テ無効ノ投票ナリト爲スヲ得ス(二九、六、一〇)

▲編者曰ク、本件ノ被選舉權ヲ有セサル者トハ丁年未滿ノ幼者ナル場合ナリ

▲法律ノ規定以外ニ投票無効ノ條件ヲ揭示スルモ實際投票ヲ無効ト爲シタル事實ナクレハ違法ノ選舉ナリト云フヲ得ス(三〇、七、九)

▲無効ノ投票アリタルカ爲メニ選舉全體ヲ無効トスルヲ得ス(三一、一二、一九)

▲選舉掛ニ於テ投票中選舉人ノ氏名ヲ記シタルモノヲ有效ト假決シテ選舉ヲ執行シタルハ選舉ノ規定ニ違背セス(同上)

▲投票ニハ必スシモ被選人ノ姓名ヲ併記スルコトヲ要セス被選人ノ姓又ハ名ノ一方ノミヲ記載スルモ其何人タルヲ確認シ得ルニ於テハ無効ニアラス(三二、四、七)

▲投票ニ殿ノ字何村會議員候補者ノ文字及ヒ「メ」ノ字ヲ記入シ若クハ甲ト記シアル文字ヲ塗抹シテ乙ト記シタルハ他事記入ノ投票ト謂フヲ得ス(三三、二、一四)

▲本條第二項第四號ニ所謂他事記入トハ選舉ニ有害ナル事項若クハ選舉ニ必要ナキ雜事ヲ記入シタルモノヲ云フ(同上)

▲投票ノ記載不完全ナルモ其何人ヲ指シタルヤヲ認メ得ルニ於テハ無効ト爲ス限ニ非ラス(三三、二、三及同四、九)

▲投票用紙ニ普通ノ半紙ヲ用フルモ違法ニ非ス(三三、三、三〇)

▲選舉資格ヲ有セサル者ノ爲シタル投票ハ無効ナリ(三三、三、三〇)

▲投票ノ裏面ニ假名又ハ數字等ヲ以テ或符號ヲ記載シタルハ即チ他事記入ノ投票ナリトス(三四、五、二三)

▲投票ノ受理ニ關シ選舉掛ノ意見ニ說ニ分レ共ニ同數ナル場合ニ於テ選舉會長カ兩說ヲ排斥シ別ニ一己ノ意見ヲ以テ投票ノ受理不受理ヲ決定シタルハ違法ナリ(三一、六、二二)

▲被選舉人ノ氏名ヲ假名ニテ書スルモ他ニ同氏名ノ者ナク且其ノ假名書ニシテ被選舉人ノ誰タルヤヲ確認シ得ヘキ投票ハ有效ナリ(三三、二、一、二)

▲投票ノ記載方不完全ナルモノアルモ何人ヲ指シタルヤヲ確認シ得ルニ於テハ之ヲ有效トス(三三、二、一一)

▲投票以外ノ事實證據等ヲ以テ投票ニ記載シタル被選舉人ノ何人タルヲ確認スルノ資料ニ供スルコトヲ得(三三、五、七)

▲投票ニ記載シタル字體ノ不明ニシテ何人ヲ選舉シタルモノナルヤヲ知ルニ由ナキモノハ無効ノ投票ナリ(三三、六、一八)

▲編者曰ク、本判決摘要ハ記載ノ文字ハ長ノ一字ノ稍之ヲ認メ得ルモ他ノ字体ハ頗ル不明ナル投票ニ係ル場合也

▲府縣制第二十七條第三號ノ「被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ」トノ規定ハ各投票ニ就キ逐一審査點檢ヲ爲シ現實何人ヲ選舉シタルヤヲ確認シ得ルニ於テハ之ヲ有效ト爲ストノ法意ナリ(三三、七、二)

▲單ニ姓ノミヲ記シタル投票ハ某甲某ノ得票ナリト確認スルヲ得ス(三三、七、四)

▲編者曰ク、本件ハ得票者以外ニ被選舉權ヲ有スル同姓者ノ存在セシ場合ノ判決也

▲投票ノ字體端正ナラス又ハ點畫ヲ缺キ或ハ假字ヲ以テ書シ在ルモ共ニ何人ヲ指シタル得票ナルカヲ確認シ得ルニ於テハ有效也(三三、七、五及同二、六)

▲姓ハ明ニ讀ミ得ヘク名ニ於テ僅少ノ誤字脱字アルモ某甲某ヲ指示シタリト認ムルニ足ル投票ハ某甲某ノ得票ト認ムルコトヲ得ヘシ(三三、七、六)

▲投票ニ記載シタル氏名ニ些少ノ瑕瑾アルモ被選舉人ノ何人タルヲ確認シ得ルニ於テハ有效也(三三、七、九)

▲投票用紙ノ裏面ニ算用數字ヲ記入シタルハ郡制第十六條第五號ニ所謂他事記入ノ投票ニシテ無効ナリ(三三、七、一〇)

▲投票ノ文字ニ誤記アルモ選舉人ノ何人タルヲ確認シ得ルニ於テハ其投票ハ有效ナリ(郡制(三三、七、一〇)ニ件)

▲單ニ投票欄内ニ縦線ヲ畫シ若クハ最初ニ或文字ヲ記シテ之ヲ消抹シ其痕跡ヲ止メサリシ投票ハ選舉有害ナル他事記入ト認ムルヲ得ス(府縣制(三三、九、二六)

▲選舉人カ被選舉人ノ資格ニ付キ充分ナル調査ヲ爲サス誤テ無資格者ヲ選舉スルコトアリ去レハ郡制第十六條第四ニ依ルモ被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルヲ以テ無効投票ノ生

スル場合アルヘキハ勿論ナレハ田尻清五郎ニ被選舉權ナシトノ理由ヲ以テ現ニ田尻清五郎ト在ル投票ヲ田尻清三郎ノ得票ト査定シタルハ不當ナリ(郡制(三三、一〇、一〇)

▲鈴木喜次ト記載シタル投票アルモ同姓名ノ者存在セサルトキハ之ヲ多數ノ投票ヲ得タル鈴木喜作ヲ指名シタルモノト認メサルヲ得ス(郡制(三三、一〇、一九)

▲北谷三治郎木田三治郎ト在ル投票ハ北谷仙三郎木田寛次郎ヲ指シタルモノト認メスシテ之ヲ他ニ多數ノ投票ヲ得タル木谷三治郎ヲ指シタルモノト認ム可キ也(府縣制(三三、一、一七)

▲佐藤宅孫ト讀ミ得ヘキ投票ハ其氏名ノ者ノ存セサルトキハ之ヲ多數ノ投票ヲ得タル佐藤定彌ヲ指名シタルモノト認メタルハ不當ニ非ス(郡制(三三、一、二八)

▲森陸治、森陸五郎ト明記セル投票ハ是等氏名ノ者他ニ存在セサルトキハ多數ノ投票ヲ得タル森陸太郎ヲ指名シタルモノト認ムルヲ相當トス(三三、三三、二六)

▲假令候補者タル氏名ニ類似記載ノ投票ナリト雖モ其投票ト同氏名ナル被選舉權ヲ有スル者カ他ニ存在スルトキハ之ヲ類似氏名者ノ得票ト確認スルコトヲ得ス(三四、二四)

▲選舉掛カ議決シタル投票ノ效力ニ對シ異議ノ申立アルトキ其當否ヲ裁決スルハ上級行政應ノ職權ナルヲ以テ其議決ヲ更正スルモ之ヲ以テ該選舉掛ノ職權ヲ無視シタリト云フヲ得ス(三四、三五、三四、二二〇)

▲多少字畫ヲ缺キ或ハ文字ヲ誤記シタル投票ナルモ被選舉人中他ニ類似ノ氏名ヲ有スル者ナク之ヲ被選舉人中ノ某ヲ投票シタルモノト認ムルコトヲ得ルトキハ其者ノ得票ト爲ス可シ(三四、二二二)

▲一投票中數次ニ被選舉人ノ氏名ヲ記載スルモ同一選舉區内ニ同氏名ノ者ナク全ク其何人タルヤヲ確認セシメントスル意思ニ出ツルトキハ之ヲ以テ他事記入ノ投票ナリト云フヲ得ス(三四、五、二四)

第二十四條 選舉ハ選舉人自ラ之ヲ行フ可シ他人ニ託シテ投票ヲ差出スコトヲ許サス

第十二條第二項ニ依リ選舉權ヲ有スル者ハ代人ヲ出シテ選舉ヲ行フコトヲ得若シ其獨立ノ男子ニ非サル者又ハ會社其他法人ニ係ルトキハ必ス代人ヲ以テス可シ其代人ハ内國人ニシテ公權ヲ有スル獨立ノ男子ニ限ル但一人ニシ

テ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得ス且代人ハ委任狀ヲ選舉掛ニ示シテ代理ノ證トス可シ

▲選舉掛長及ヒ選舉掛立會ヒ異議ナク選舉ヲ結了シタルモノハ事後ニ至リ投票者自ラ代人ヲ以テ投票シタリト云フモ其陳述ノミニテハ未タ以テ事實ナリト認ムルニ足ラス(二五、六、二三及同二二、二六)

▲代人投票ノ場合ニ於テ委任狀ヲ保存スヘキノ規定ナキヲ以テ村長ニ於テ之ヲ代人ニ返付シタリトテ違法ナリト云フヲ得ス(二八、二二、二七)

▲町村制中投票代書ニ關スル規定アラサルヲ以テ選舉錄ニ記載ナキ代書投票ナレハトテ之ヲ無効トスルヲ得ス(二九、六、九)

第二十五條 町村ノ區域廣闊ナルトキ又ハ人口稠密ナルトキハ町村會ノ議決ニ依リ區畫ヲ定メテ選舉分會ヲ設ケルコトヲ得但特ニ二級選舉人ノミ此分會ヲ設ケルモ妨ケナシ

分會ノ選舉掛ハ町村長ノ選任シタル代理者ヲ以テ其長トシ第二十條ノ例ニ依リ掛員二名若クハ四名ヲ選任ス選舉分會ニ於テ爲シタル投票ハ投票函ノ儘本會ニ集メテ之ヲ合算シ總數ヲ以テ當選ヲ定ム

▲本條末項ノ規定ハ本會ト同日時ニ選舉分會ヲ開クヘキコトヲ命シタルモノニシテ其閉會ヲモ同日時ニ爲スヘシトノ意義ニアラス(三〇、二二、二)

第二十六條 議員ノ選舉ハ有效投票ノ多數ヲ得ル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同キモノハ年長者ヲ取り同年ナルトキハ掛長自ラ抽籤シテ其當選ヲ定ム

同時ニ補開員數名ヲ選舉スルトキハ第十七條投票數ノ最多キ者ヲ以テ殘任期ノ最長キ前任者ノ補開ト爲シ其數相同キトキハ抽籤ヲ以テ其順序ヲ定ム

- ▲無効投票ハ其被選舉人各自ノ得票中ヨリ除去スヘキモノニシテ之ヲ高點者ノ得票數ヨリ減シ次點者ノ得票數ニ加ヘタルハ失當ナリ(二五、六、二三)
- ▲改選議員ト増加議員ノ投票ヲ區別セスシテ得點多數ノ者ヨリ順次改選議員ト増加議員トヲ定メタルハ違法ナリ(二六、四、一四)
- ▲過剩投票ヲ當選者ノ得票數ヨリ控除スルモ當選ノ結果ニ異動ヲ生セサルトキハ其選舉ハ取消スヘキモノニ在ラス(二六、六、六)
- ▲無効投票アルモ之ヲ當選者ノ得票中ヨリ控除シ選舉ノ結果ニ異動ヲ生セサルトキハ其選舉ハ有效也(二六、七、一〇)

第二十七條 選舉掛ハ選舉録ヲ製シテ選舉ノ顛末ヲ記録シ選舉ヲ終リタル後之ヲ期限シ選舉人名簿其他關係書類ヲ合綴シテ之ニ署名ス可シ

投票ハ之ヲ選舉録ニ附屬シ選舉ヲ終了スルニ至ル迄之ヲ保存ス可シ

- ▲選舉録調製ノ後村長一個人ノ作爲シタル辯明書ヲ以テ覆キニ正當ノ手續ヲ以テ調製シタ
- ▲選舉録登載ノ事實ヲ確實ニシタリト云フテ得ス(二五、二、二二)
- ▲選舉會閉會ノ時期ニ付テハ明文ナキヲ以テ投票ヲ終ヘ當選人定マリタル時期ニ於テ終ルモノニシテ選舉録ノ調製方式ニ違フノ一事ニ依リ選舉ノ效力ニ影響ヲ及ボスヘキモノニアラス(二七、一、三一)
- ▲選舉掛中或ル者カ隨意ニ作成シテ與ヘタル證明書ノ如キハ其選舉會カ違法ナリトノ事實

ヲ證明スルノ效力ナシ(二八、一、二七)

- ▲代人投票ノ委任狀ヲ選舉關係書類トシテ保存スヘキノ規定ナシ(同上)
- ▲選舉録ニ代人投票ノ記載ナキモ違法ニアラス(同上)
- ▲一個人カ隨意ニ作成シタル證明書ノ如キハ選舉録ヲ打消スヘキカアルモノニアラス(二九、五、七)
- ▲選舉録ニ何等ノ記載ナキ代書投票ト雖モ必スシモ其效力ナキモノニアラス(二九、六、九)
- ▲選舉録ニ選舉掛長ノ署名ナキモ選舉ノ際掛長カ出席シタルコト明白ナレハ掛長ヲ差措キ他ノ選舉掛ノミカ選舉ヲ執行シタルモノト云フテ得ス(三〇、一、二七)
- ▲選舉録ニ選舉掛長ノ署名ナキモ必スシモ其選舉ハ無効ニアラス(同上)
- ▲定期改選ト補缺選舉トハ其選舉録ヲ各別ニ調製スヘキノ規定ナシ(三〇、四、一三、二件)
- ▲投票ハ選舉ノ效力ヲ規定スルノ證ト爲スコトヲ得(三〇、一、五)
- ▲選舉ノ效力ニ關スル訴願ヲ裁決スルニ付キ甲者ノ得點ハ選舉録ノ得點ニ依リテ乙者ノ得點ハ再調査ノ得點ニ依リテ之ヲ定メタルハ違法ナリ(三三、五、一四)
- ▲選舉録ハ選舉ノ顛末ヲ記録スルニ止マルモノナルヲ以テ其以外ノ事項マテヲ記載スヘキモノト云フテ得サルノミナラス假リニ其記載ナキハ選舉録ノ不備ナリトスルモ之カ爲メニ適法ニ執行シ終リタル選舉ニ何等ノ影響ヲ及ボスコトナシ(三四、六、二九)
- ▲選舉録ハ選舉終了後其實事ヲ證スル爲メ調製スル記録ニ過サルカ故ニ之ニ立會人ノ署名

ナキハ單ニ選舉錄其物ノ瑕瑾ニ止リ選舉ノ效力ニ影響ヲ及ホス可キモノニ非ス郡制ニ
(三三、一一、一六)

第二十八條 選舉ヲ終リタル後選舉掛長ハ直ニ當選者ニ其當選ノ旨ヲ告知ス可シ其當選ヲ辭セントスル者ハ五日以
内ニ之ヲ町村長ニ申立ツ可シ

一人ニシテ兩級ノ選舉ニ當リタルトキハ同期限内何レノ選舉ニ應ス可キコトヲ申立ツ可シ其期限内ニ之ヲ申立テ
サル者ハ總テ其選舉ヲ辭スル者トナシ第八條ノ處分ヲ爲ス可シ

▲投票ヲ終リテ當選者決定セザル場合ニ於テハ決定後直ニ當選ノ告知ヲ爲シタルトキハ本
條ノ規定ニ違背セス(二五、二二、一〇)

▲選舉會ハ投票ヲ終ヘ當選人定マリタル時期ニ於テ終ル(二七、一一、一一)

第二十九條 選舉人選舉ノ效力ニ關シテ訴願セントスルトキハ選舉ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコト
ヲ得(第三十七條第一項)

町村長ハ選舉ヲ終リタル後之ヲ郡長ニ報告シ郡長ニ於テ選舉ノ效力ニ關シ異議アルトキハ訴願ノ有無ニ拘ラス郡
參事會ニ付シテ處分ヲ行フコトヲ得

選舉ノ定規ニ違背スルコトアルトキハ其選舉ヲ取消シ又被選舉人中其資格ノ要件ヲ有セサル者アルトキハ其人ノ
當選ヲ取消シ更ニ選舉ヲ行ハシム可シ

▲無効ノ錯誤投票ヲ高點者ノ得票ヨリ減シテ次點者ノ得票ニ加ヘ以テ選舉ノ結果ニ異動ヲ
生セシムルカ如キハ失當ナリトス(二五、六、三)

▲選舉原簿及選舉人名簿ニ登載ナキ者ハ選舉ノ效力ニ關シ訴願及訴訟ヲ爲スコトヲ得ス
(二六、二、三)

▲選舉掛タリシ者ト雖モ本條ニ依リ訴願訴訟ヲ爲スコトヲ得(同上)

▲選舉ノ際投票權ヲ拋棄スルモ選舉ノ效力ニ關シテ訴權ヲ失ハス(同上)

▲選舉人ニ等級ヲ設ケタルハ只町村稅負擔ノ多少ト選舉權トヲ相伴ハシメタル迄ニテ選舉
人タル點ニ至テハ二者差別アルモノニアラス且ツ其選出シタル議員ニモ亦選舉人ノ屬ス
ル級ノ異ナルニ依テ差別ヲ生スルコトナシ之ヲ以テ選舉人ハ己レノ屬セサル級ノ選舉ニ
關シテ訴願訴訟ヲ爲スノ權利ナシト云テ得ス(二六、三、一一)

▲現ニ投票セシ選舉人ノ員數ニ比シ過剩投票アル場合モ其過剩投票ノ數ヲ當選者ノ得票數
ヨリ控除スルカ爲メ當選ノ結果ニ異動ヲ生スルニ至ラサルトキハ該選舉ハ取消スヘモノ
ニアラス(二六、六、六)

▲制第十三條及第十九條ハ單ニ各級選舉ノ手續ヲ定メタルモノニシテ本條ニ所謂選舉ノ
效力ニ關シ訴願ヲ爲スノ權利マテモ區分スルノ謂ヒニアラス故ニ甲級ノ選舉人ハ乙級ノ
選舉ニ關シテモ訴願權アルモノト云ハサルヲ得ス(二六、六、二)

▲村會議員ノ選舉取消ヲ行フハ本條第二項ニ依リ郡長之ヲ爲スハ格別縣知事ニ於テ之ヲ行
フハ適法ノ處置ニアラス(二六、六、二五)

▲府縣知事ニ於テ前記ノ如ク選舉ヲ取消シタルモノニ對シ法律勅令中行政訴訟ヲ許シタル
規定ナシ(同上)

▲無効投票ヲ當選者ノ得票ヨリ控除シ有效投票ヲ落選者ノ得票ニ加入シ計算スルモ選舉ノ

- 結果ニ異動ヲ生セサル場合ハ該選舉ハ取消スヘキモノニアラス(二六、七、一〇)
- ▲選舉全部ノ取消ヲ求ムル訴訟ニ對シ郡參事會カ其一部ヲ取消スヘキ旨裁決シタルハ違法ニアラス(二六、一一、四)
- ▲町村會カ訴訟ニ對シテ裁決ヲ爲スノ手續ニ關シテ法律上特別ノ規定アルコトナシ(二六、一一、一六)
- ▲選舉ニ關スル規定ハ選舉人ノ權利又ハ利益ニ影響ヲ及ホサストノ故ヲ以テ其效力ヲ喪失セシムルヲ得ス(二八、一二、一九)
- ▲凡ソ日ヲ以テスル期間ノ計算ハ初日ヲ算入セサルヲ一般ノ通則トスルモノナレハ訴訟期限ニ付テモ此通則ニ依ルヲ相當トス(二九、五、二六及三一、六、四)
- ▲前ニ村會議員選舉取消ノ處分ヲ爲シタル郡參事會ノ議決カ府縣參事會ニ於テ不法越權ナルニ依リ無効ナリト裁決セラレタルトキ郡長ニ於テ更ニ該選舉ノ取消處分ヲ爲サントスルトキハ改メテ郡參事會ノ議決ニ付スヘク素ト議決シタル同一事件ナリトシ單ニ之ヲ報告ニ止メ郡長限リ取消處分ヲ爲シタルハ本條第二項ノ規定ニ違背シタル所爲ナリトス(二九、六、一七)
- ▲郡長カ本條第二項ニ依リ郡參事會ノ裁決ニ付シテ處分シタルモノニ對シ不服ナル者ハ第三十七條第三項ニ依リ直ニ縣參事會ニ訴訟ヲ爲スヘキモノトス(二九、一〇、一五)
- ▲組合町村會議員ノ選舉ノ效力ニ關スル事件ニ付キ其管理者タル郡長ヲ被告トシテ出訴シタルハ不當ニアラス(三〇、五、一一)

- ▲選舉人ハ選舉ノ效力ニ關シ自カラ訴訟ヲ爲サ、ルモ他ノ選舉人カ訴訟ノ手續ヲ經タル時ハ他ノ選舉人ト共ニ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得(三〇、五、二四)
- ▲町村組合會ニ於テ組合會議員ノ選舉ニ關スル訴訟ヲ受理裁決シタルヲ違法トスル訴ハ選舉ノ效力ニ關スル事件ニ在ラス且此事件ニ關シ法令中行政訴訟ヲ許スノ明文ナシ(三〇、一一、一六)
- ▲選舉掛長及選舉掛等共謀シテ投票函ニ在中セル投票ヲ差替ヘタル事實アルトキハ選舉ノ規定ニ違背スル不正ノ行爲ナルヲ以テ其選舉ハ之ヲ無効トス(三一、四、二九)
- ▲無資格者カ選舉ニ參與シタルノ故ヲ以テ其選舉ヲ違法ナリト主張スルハ本條ノ選舉ノ效力ニ關スル事件ニ外ナラス(三一、一〇、一〇)
- ▲選舉會場ニ於テ選舉人ノ入場ヲ拒絕シ選舉權ノ行使ヲ阻碍シタル事實アル時ハ選舉ノ規定ニ違背シタルモノトス(三一、一一、二四)
- ▲本條第二項ハ郡長ニ於テ選舉ノ報告ヲ受ケ其效力ニ關シ異議アルトキハ之レカ處分ヲ行フヘキコトヲ規定シタルモノニシテ郡參事會ハ郡長ノ異議ニ對シ其當否ヲ議決スルニ止マルヘキモノトス(三一、一二、二二)
- ▲郡長ハ町村長ノ報告前ニ於テモ緊急ノ場合ニハ選舉ノ效力ニ關スル處分ヲ行フコトヲ得(同上)

▲町村會議員ノ選舉ニ先チ町村ノ行政事務視察ノ爲メニ派遣シタル郡書記ノ復命書ニ基キ郡長カ選舉ノ效力ニ關スル處分ヲ行ヒタルハ違法ニアラス(同上)

▲市會議員選舉ノ效力ニ關スル訴訟ニ於テ市長ヲ被告ト爲シタルハ訴訟ノ相手ヲ誤リタルモノニアラス(三三、二二七)

▲無資格者カ投票ヲ爲シタルノ一事ヲ以テ直ニ選舉全體ヲ無効トスヘキモノニ在ラス無資格者ノ爲シタル投票ヲ當選者ノ得票中ヨリ控除スルモ當選ノ結果ニ異動ヲ生セサルトキハ其選舉ハ有效ナリ(三三、三〇及同六、一五) 及同七、一〇及同二、一五

▲本條第三項ノ規定ハ選舉全體ニ影響スル瑕瑾アル場合ニ適用ス可キモノトス(三三、六、一五 件及同二、二八)

▲法定ノ期限内ニ公告ヲ爲サシテ執行シタル選舉ハ所謂選舉ノ規定ニ違背シ選舉全體ニ影響スル瑕瑾アル場合ナルヲ以テ町村制第二十九條第三項ノ規定ニ依リ其選舉全部ヲ取消スヘキモノトス(三三、二二八)

▲名簿ニ登載セラレタル有權者ノ如キハ事實上皆盡ク投票ヲ爲スモノト限ラサレハ名簿ノ人員ト實際投票ヲ爲セシ人員トノ差數ヲ以テ選舉掛長ノ處置ノ結果選舉權ノ行使ヲ妨ケラレタリト推斷スルヲ得ス(三四、六、二九)

▲府縣會議員ノ選舉ハ匿名投票ナルヲ以テ正當ノ手續ヲ經テ結了シタル選舉ニ對シ自選投票アルヲ理由トシ其效力ヲ爭フコトヲ得ス(二五、一、二二)

▲再選舉ハ前選舉カ違法ナリトノ裁決確定スルヲ待テ執行スルコトヲ要ス(舊府縣制及郡制) (三〇、二、二〇及三三、一〇及同九、三〇)

▲前選舉ノ效力確定以前ニ執行シタル再選舉ハ無効ナリ(同上)

▲選舉ノ無効ト爲ルハ常ニ當該官廳ノ處分又ハ裁判ニ依ルモノニシテ假令選舉ノ規定ニ違背シタリトスルモ選舉ノ效力ハ自然ニ消滅スルコト無シ(舊郡制) (三一、九、三〇)

▲無効ノ投票アリテ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スル場合ニ於テハ其選舉ノ全體ヲ無効ト爲スヘキモノニシテ内幾部ヲ無効ト爲スヘキモノニ在ラス(府縣制) (三三、七、一〇)

▲投票管理者タル村長カ既ニ選舉了リタル投票ヲ無効ナリトシテ悉ク之ヲ燒燬シ後再ヒ選舉人ヲシテ投票ヲ爲サシメタル行爲ハ選舉ノ規定ニ違背シタルモノナリト雖モ投票管理者カ私意ヲ插ミテ爲シタルニ在ラス單ニ職務執行上ノ過失ニ過キササル場合ニ於テハ一人ノ行爲ナリト云フコトヲ得ス即チ選舉行爲トシテ何等ノ效力ナシト云フコトヲ得ス(府縣制) (三四、六、六)

▲選舉規定ノ選舉ノ結果ニ異動ヲ生ス可キ虞アルヤ否ヤハ違法手續ニ依テ行ヒタル投票數ヲ當選者ノ得票中ヨリ控除シ之ヲ落選者ノ得票ニ比シ當選ノ結果ニ異動ヲ生セサルヤ否ヤヲ見レハ足レルモノニシテ控除ス可キ投票ヲ爲シタル選舉人カ再度ノ投票ヲ爲ス可キモノトシテ其結果マテヲ見ル可キモノニ在ラス(同上)

第三十條 當選者中其資格ノ要件ヲ有セサル者アルコトヲ發見シ又ハ就職後其要件ヲ失フ者アルトキハ其人ノ當選
第二章 町村會 第一款 組織及選舉 (第三十條) 五十五

ハ效力ヲ失フモノトス其要件ノ有無ハ町村會之ヲ議決ス

▲區會議員ハ法律上ノ名譽職ニアラザルヲ以テ其退職及ヒ就職後資格ノ有無ニ關スル議決

ハ市會ノ權限ニ屬セス亦區會ノ議決ニ付スヘキモノニモアラス(二六、一一、一八)

▲本條ノ規定ニ基キテ町村會ノ爲シタル當選無効ノ議決ニ對スル當選ノ訴願ハ郡參事會ニ提出スヘキモノトス(三二、六、一六)

第三十一條 小町村ニ於テハ郡參事會ノ議決ヲ經町村條例ノ規定ニ依リ町村會ヲ設ケス選舉權ヲ有スル町村民ノ總會ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第二款 職務權限及處務規程

第三十二條 町村會ハ其町村ヲ代表シ此法律ニ準據シテ町村一切ノ事件並從前特ニ委任セラレ又ハ將來法律勅令ニ依テ委任セラレルノ事件ヲ議決スルモノトス

▲府縣會ノ議決スヘキ事件中細目ニ係ル事項ヲ町村會ノ議決ニ付シタル場合ニ於テハ町村會之ヲ議決スヘキハ十四年太政官第六號布告ニ依テ生シタル當然ノ責務ニシテ本條ニ所謂從前特ニ委任セラレタル事件ナリトス(二四、一一、九)

▲十四年第六號布告ニ府縣會ハ其議決スヘキ事件中細目ニ係ル事項ヲ以テ町村會若クハ水利土功會ノ議決ニ付スルヲ得ヘシトアルハ府縣會ニ其權ヲ附與スルト同時ニ町村會ノ義務ヲモ指定シタルモノニシテ即チ本條ニ該當スルモノトス(二五、一一、九)

▲人民ノ建議又ハ請願ヲ受理シ其取捨ヲ決スルハ行政上ノ處分ニ屬スルカ故ニ法律ニ明文アル場合ノ外市會ハ人民ノ建議又ハ請願ヲ受理シテ取捨スルノ權限ナシ(二七、五、五)

▲市會カ市民ヨリ提出スル建議請願書ノ取調委員ヲ設置シタルハ越權ナリ(同上)

▲町村會ノ議決ニ對シテ監督官廳タル郡長カ與ヘタル不認可ノ指令ニ關シ町村會ヨリ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(二五、一一、六)

▲町村會ノ議決ノ執行ニ付キ監督官廳ノ許可ヲ受クルト否トハ町村長タル執行者ノ職務ニ屬スルヲ以テ町村會ニ於テ之ヲ論スルハ越權ナリ(二七、一一、八)

▲市制第三十條第三十一條ハ市會ノ議決權ヲ示スノミニシテ發案權ヲモ附與シタルモノト解スルヲ得ス(二八、五、二四)

▲漁業ハ其性質純然タル一種ノ營業ニシテ公共事業タル性質ヲ有スルモノニ非サレハ公ノ法人タル町村ノ爲シ得ヘキ事業ニ在ラヌ故ニ町村會ニ於テ之ヲ議決シタルハ越權ナリ(二八、五、二九)

▲町會ハ法人タル町ノ代表機關ニシテ其法律上代理人ニアラサレハ代理ノ普通法則ヲ適用スルコトヲ得ス(二九、五、二六、二件)

▲村會ニ於テ小學校合併及村役場移轉ヲ議決シタルヲ不當ナリトシ之カ取消ヲ請求スル事件ニ關シ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(二九、一一、一七)

▲市町村會カ府縣稅賦課ノ細目ヲ議決スル方法ニ關シテハ其市町村會ノ見ル處ニ一任シ市制町村制中何等ノ制限規定ナシ故ニ市町村會カ其權限ヲ以テ議決シタル府縣稅(戶數割)ノ賦課額ニ對シ納稅者ヨリ其等級課額ヲ不相當トシ之カ更正ヲ請求スルコトヲ得ス(三

第三十三條 町村會ノ議決スヘキ事件ノ概目左ノ如シ

- 一 町村條例及規則ヲ設ケ竝ニ改正スル事
- 二 町村費ヲ以テ支辨ス可キ事業但第六十九條ニ掲グル事務ハ此限ニ在ラス
- 三 歳入出豫算ヲ定メ豫算外ノ支出及豫算超過ノ支出ヲ認定スル事
- 四 決算報告ヲ認定スル事
- 五 法律勅令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料手数料町村税及夫役現品ノ賦課徴收ノ法ヲ定ムル事
- 六 町村有不動産ノ賣買交換讓受讓渡竝質入書入ヲ爲ス事
- 七 基本財産ノ處分ニ關スル事
- 八 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ棄却ヲ爲ス事
- 九 町村有ノ財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事
- 十 町村吏員ノ身元保證金ヲ徴シ並ニ其金額ヲ定ムル事
- 十一 町村ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事

▲町村ト學區ト其區域ヲ同フスル町村ニ於テハ町村會ノ議決ニ依リ教育費ヲ賦課シタルハ固ヨリ當然ナリ廿二年法律第十一號ハ學區カ數町村ニ關係スル場合ニ適用スヘキ法律ナリ(二四、七、一〇)

▲郡會議員配當ノ當否ニ關シ訴訟願ヲ爲サントノ町村會ノ議決ハ越權ノ行爲也(二四、一、二〇)

▲村役場ノ新築場所ヲ定メタル村會ノ議決ニ對シ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(二五、一〇、一三)

▲鐵道布設請願事務所物産調査補助費ハ市ノ行政上必要ナル物産調査ノ補助費ニ在ラスシ

テ却テ鐵道布設ニ關シ有志人民ノ爲ス請願ノ費用ヲ補助スル爲メナルトキハ其支出ハ市制第八十八條ニ所謂必要ナル支出ニ該當セス故ニ此補助費支出ヲ市會カ議決セシハ違法ナリ(二六、七、六)

▲市ノ決算剩餘金ハ廿二年內務省令第二號ニ從ヒ豫備費ト爲スカ翌年度ニ繰越スカ又ハ基本財産ト爲スヘキモノニシテ市會カ之ヲ準備金ト名ケ積立金トスル決議ヲ爲シタルハ違法ナリトス(二六、七、一〇)

▲制第六十八條第二項第一號ニ起因スル行政訴訟ハ町村會其モノヨリ出訴シ得ヘキ權利アルモノ一己人タル町村會議員ニ此訴權ヲキモノトス(二六、一〇、五)

▲鐵道調査委員ノ如キハ市ノ行政事務ヲ處辨スル所ノ委員ニ該當スルモノニ非ラス故ニ其手當ニ要スル費用ノ如キ市ノ必要ナル支出ト云フテ得サレハ之ニ關スル市會ノ議決ハ違法ナリ(二八、三、一六)

▲収入役ノ身元保證金ハ町村會ノ承諾ヲ得テ後之ヲ徴スヘシ事後ニ承諾ヲ受クルハ町村會ノ權限ヲ侵シタルモノトス(二八、五、一四)

▲村ノ負擔ニ屬スル土木工事ヲ區ノ受負ト爲スヘシトノ村會ノ議決ハ違法ナリ(二九、四、二四)

▲町村會ニ於テ郡長ノ不信任ヲ議スルハ越權ナリ(三一、二、二八)

▲町村會ハ町村費及雜部金ヲ銀行ニ預托スルコトヲ議決スルノ權能ナシ(三二、二、一八)

▲學校建築寄附金ノ受否及收支ニ付キ村會ノ議決ヲ經サルトキハ村會議員區長常設委員等ニ協議ヲ遂クルモ該協議ハ法律上何等ノ效力アルモノニ非サレハ之ヲ以テ村長ハ專斷ノ責ヲ免カル、コトヲ得ス(三三、七、一〇)

▲學校建築費ノ豫算金額以外ニ村會ノ議決ヲ經ス後年度ノ公借償還費ヲ繰入レ支出シタルハ村會ノ權限ヲ侵シタルモノトス(同上)

▲官林公賣ノ爲メニ得タル村ノ臨時收入金ノ處分ニ關スル村會ノ議決ニ對シテ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(三四、三、一五)

▲原告ハ石川縣能美郡長ヨリ發シタル議案中第四款勸業費ノ第三項巡迴教師費ヲ削除シ勸業諮問會費ヲ以テ之ニ代ヘタルハ勸業費ノ內譯ニ就キ修正ヲ加ヘタルニ過キスシテ郡長ノ發案權ヲ侵シタルモノニ非スト云ト雖欸ノ費額ハ項ニ於テ示セル事項ニ基キ而シテ其事項ハ豫算調製ノ權アル郡長之ヲ選フヘキモノナルヲ以テ原告郡會カ郡長發案ノ事項ニ屬スル費額ノ存廢増減ヲ議スルニ止ラス原案以外ナル勸業諮問會費ノ一項ヲ新設セシハ修正權ノ範圍ヲ超越シ郡長ノ發案權ヲ侵シタルモノトス故ニ其議決ヲ無効トセシ被告知事ノ裁決ハ至當ニシテ取消スヘキモノニアラス(二八、七、三)

▲原告ハ縣會ニ發案權ナシトハ何等ノ明文ニ基キ之ヲ斷言シ得ルヤ府縣制中未タ嘗テ其發案權ナキコトヲ規定セス況ヤ知事ノミニ限リ發案權ヲ有ストノ明文ナキニモ拘ハラズ被告カ本訴ノ如キ處分ヲナシタルハ不法ナリ又縱令發案權ハ縣會ニ存セサルモノト假定ス

ルモ縣會カ課目課額議案ニ就キ修正補足ヲ加ヘタル以上ハ歲入出豫等議案ニ於テ遊覽所稅ノ一項ヲ挿入補足スルハ自然ノ結果ニシテ毫モ知事ノ發案權ヲ侵シタルモノニ非スト云フト雖モ府縣制第七十五條第一項ニ依レハ府縣歲入出豫算ノ發案權ハ獨リ府縣知事ニ屬スルコト明瞭ナリトス而シテ其歲入出豫算議案ト縣稅營業稅雜種稅課目課額議案トハ固ト各個獨立ノ議案ナルカ故ニ其課目課額議案ニ於テ修正増補ヲ爲シタルノ理由ヲ以テ縣會ニ於テ知事ノ發案ヲ待タス豫算案ニ第十一項ヲ挿入議決シタルハ其權限ヲ超ヘタルモノトス(舊府縣制(三三、七、一〇))

▲凡ソ郡會ノ議決スヘキモノハ郡制第二十六條列記ノ事項其ノ他法律命令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル事件ニ限ルモノニシテ內務大臣ヘノ陳情及知事ノ辭職勸告ヲ議決スルノ權限ヲ與ヘラレタルコトナシ(舊郡制(三三、二、一〇))

▲管理者ノ提出ニ係ル議案ハ管理者ニ於テ代理人ヲ選定シテ之ト代理契約ヲ締結スル權限ヲ附與ス可シトノ旨趣ナルニ此議案ニ對シ代理人タル可キ辯護士其人ヲ指名シテ議決シタルハ原案以外ニ涉ル議案ヲ提出シテ之ヲ可決シタルモノハ即チ修正ノ範圍ヲ超越シ管理者ノ發案權ヲ侵シタルモノトス(水利組合條例(三三、二、二八))

第三十四條 町村會ハ法律勅令ニ依リ其權限ニ屬スル町村吏員ノ選舉ヲ行フ可シ

▲助役ノ選舉ヲ村長ノ選舉會ニ於テ執行シタルヲ違法ナリトスル事件ニ關シ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(二九、三、一三)

第三十五條 町村會ハ町村ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ町村長ノ報告ヲ請求シテ事務ノ管理、議決ノ施行
並收入支出ノ正否ヲ監査スルノ職權ヲ有ス

町村會ハ町村ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ監督官廳ニ差出スコトヲ得

▲本條第二項ハ町村ノ公益ニ關スル事件ニ付テハ町村ヨリ意見書ヲ提出スルヲ得ルモノト
限ラス總テ町村ノ利害ニ關係アル事件ニ付テハ町村ヨリ意見書ヲ提出スルヲ得ルモノト
ス(二八、六、八)

▲前記ノ如クナルヲ以テ町村内ヲ通過スル縣ノ事業タル架橋事件ニ付キ町村會カ意見書提
出ノ爲メ起草委員ヲ選定セルカ如キハ越權ノ處置ニアラス(同上)

▲郡制第二十八條ノ公益ニ關スル事件トハ郡ノ全部又ハ一部ノ公益ヲ増進シ若ハ之ヲ損害
スルコトアルトキハ郡會ハ之ニ關シ施行スヘキ事項ニ付建議スル場合ヲ云フモノニシテ
知事ノ辭職勸告ヲ議決スル如キハ之ニ包含スルモノニアラス(三三、一一、一〇)

▲府縣制第十七條第二項ハ府縣ノ全部又ハ一部ノ公利公益ヲ増進シ若クハ之ヲ損害スルモ
ノ在ルトキ府縣會ハ之ニ關シ施行ス可キ事件ニ付意見ヲ建議スルヲ云フモノニシテ本件
ノ如キ縣知事其人ノ適否ヲ論シ其任免ニ付キ建議スルヲモ包含スルモノニ非ス(舊府縣
制(二六、三、三二))

第三十六條 町村會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ陳述ス可シ

第三十七條 町村住民及公民タル權利ノ有無、選舉權及被選舉權ノ有無、選舉人名簿ノ正否並其等級ノ當否代理ヲ以
テ執行スル選舉權(第十二條第二項)及町村會議員選舉ノ效力(第二十九條)ニ關スル訴訟ハ町村會之ヲ裁決ス

前項ノ訴訟中町村住民及公民タル權利ノ有無並ニ選舉權ノ有無ニ關スルモノハ町村會ノ設クナキ町村ニ於テハ
村長之ヲ裁決ス

町村會若クハ町村長ノ裁決ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願
シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ノ事件ニ付テハ町村長ヨリモ亦訴願及訴訟ヲ爲スコトヲ得

本條ノ訴訟及訴訟ノ爲メニ其執行ヲ停止スルコトヲ得ス但判決確定スルニ非サレハ更ニ選舉ヲ爲スコトヲ得ス

▲當選ノ異議ニ付選舉掛長ヲ被告トナサスシテ一個人タル被選人ヲ被告トスルハ行政訴訟
ノ對手人ヲ誤リタルモノナリ(二四、二、三)

▲當初一個人ノ資格ヲ以テ村長ニ訴願シタルモノ更ニ大字人民ノ總代タル資格ヲ以テ行政
訴訟ヲ提起シタルトキハ總代トシテ訴權ヲキモ一個人ノ資格ニ於テハ訴訟ヲ提起スルヲ
得ルモノナリ(二四、三、三一)

▲議員選舉ニ起因スル訴訟ハ當時ノ選舉掛長即チ町村長ヲ對手人ト爲スヲ相當トス而シテ
當時ノ町村長既ニ退職シタルトキハ其事務ヲ繼承シタル現任町村長ニ於テ被告タル責務
ヲ有スルモノトス(二四、二、二六)

▲郡長カ町長ニ對シ議員退職者ノ抽籤取消ノ命令ヲ發シタルハ監督上ノ命令ニ止マリ之ヲ
執行シタルハ町長ナルヲ以テ本條ノ手續ヲ履行シタル上ニアラサレハ出訴スルヲ得サル
モノトス(二五、六、二九)

▲訴訟ノ却下ハ訴訟ニ對スル裁決ナリ(二五、七、七)

▲村長ノ爲シタル訴訟ニ付キ府縣參事會ノ與ヘタル裁決ニ對シ直接ニ利害ノ關係アルモノハ其事件ニ付キ訴訟ヲ爲スコトヲ得ルハ勿論ナリ(二五、二一、二五)

▲原告ノ内數名ニ付キ被告ニ於テ異議ナキ上ハ之レニ對スル本案ノ答辯ヲ爲スヘキハ當然ナリ(二五、二一、二五)

▲選舉ノ全部ヲ取消ス可シトノ請求ヲ改メテ投票一部ノ取消ヲ請求スルハ訴訟ノ目的ヲ變更シタルモノトス(二五、二一、二四)

▲訴訟ヲ經テ適法ニ提起シタル訴訟ノ目的ヲ變更シタルトキ其新ナル請求ニ付キ更ニ訴訟ヲ經テ訴訟ヲ提起ス可キモノトス(同上)

▲本條ニ依リタル訴訟ニ屬スルモ村長トシテ村内ノ人民ヲ被告トシテ出訴スルヲ得ヘキモノニアラス(二五、二二、二〇)

▲當選有效ナリトノ裁決ヲ請フニアラスシテ單ニ縣參事會ノ裁決ヲ取消シ原告ニ訴訟權アリトノ裁判ヲ請フト云フニアルモノハ法律勅令ニ行政訴訟ヲ許スノ規定ナキモノトス(二五、二二、二三)

▲選舉會ノ取消ヲ請求スルト該會ニ關スル縣知事ノ裁決取消ヲ請求スルトハ全然目的ヲ同シフセス從テ訴訟ノ結果ヲ異ニスルモノニシテ即チ訴ノ原因ヲ變更シタルモノトス(二五、二二、二六)

▲當選有效ナリトノ郡參事會ノ裁決ト同一ナル意味ノ判決ヲ受クダシト云フノミヲ以テ議

員選舉ノ效力ニ付キ直チニ裁判ヲ請フモノト爲スヲ得ス(二六、一、三一)

▲名簿調製ノ當否ニ關スル訴訟ニ付キ縣知事ノ爲シタル裁決中選舉權ノ有無ニ關シ村會ノ爲シタル裁決ヲ不當トスル旨ノ記載アリトモ之ヲ以テ直ニ其村會ノ裁決ヲ羈束スルヲ得サルモノナレハ右村會ノ裁決ヲ受ケタルモノ、權利ニ消長ヲ來スヘキ理由ナク從テ行政訴訟ヲ提起シ得ヘキモノニアラス(二六、二、二七)

▲裁決ハ訴訟期限ノ經過ニ依リテ確定ス(同上)

▲選舉掛タリシ者及選舉當日投票權ヲ拋棄シタル者並ニ訴訟書ニ自己ノ氏名ヲ連署シ其子ノ實印ヲ捺シタル者ト雖モ共ニ選舉ノ效力ニ關シ訴權ナシト云フヲ得ス(二六、二、二三)

▲出訴期限ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル翌日ヨリ起算シ之ニ民事訴訟法第六十七條ノ里程ニ關スル伸長日數ヲ加フヘキモノトス(二六、三、一八)

▲本條ニ依リ村長カ郡參事會ニ爲シタル訴訟ハ同一事件ニ對シ一己人カ本條ニ則リ郡參事會ニ爲ス訴訟ノ期限ヲ中斷セス(二六、三、二五)

▲適法ニ裁決書ヲ交付セス又ハ其告知ヲ爲サ、レハ裁決タルノ效果ヲ生セス(二六、四、二九)

▲裁決書ハ利害ノ關係者ニ交付スヘキモノトス(同上)

▲本條及第十八條ハ選舉人名簿ノ正否ニ關シ關係アル者ニ於テ訴訟ヲ爲スコトヲ許シタルモノナレハ自己及他人ノ公民權アル旨ヲ主張スル訴訟ニ於テ他人ヨリ委任ヲ受ケタルト否トニ拘ハラズ又其他人ハ既ニ訴訟權ヲ失ヒタルモ自己ニ於テ其權アル以上ハ該訴訟ヲ

無効トスルヲ得ス(二六、五、二五)

▲村會議長ノ資格ヲ以テ訴願ニ對シ利益ナル裁決ヲ與ヘタルモ村長ノ資格ニ於テ執行シタル選舉ノ取消ヲ請求スル訴訟ニ對シテハ村長ハ其對手人トナルコトヲ拒ムヲ得ス(二六、六、二)

▲縣參事會ノ裁決ヲ取消シ村會議員選舉ノ取消ヲ請求スル訴訟ニ付キ選舉執行者タル村長ハ對手人タルコトヲ拒ムヲ得ス(同上)

▲郡書記ヲ以テ選舉掛長ト爲シタル郡長ノ處分ニ對シテハ法律敕令ニ行政訴訟ヲ許シタル條項ナシ(二六、一〇、一二)

▲初メ郡參事會ニ於テ訴願權ナシト裁決シ後縣參事會ニ於テ訴願權アリトノ裁決ヲ受タルトキハ郡參事會ニ立戻リ更ニ村會裁決ノ當否ヲ訴願スルモ一事再理ニ非ラス(二六、一〇、一九)

▲訴願權ノ有無ニ付裁決ヲ受ケタル後更ニ本案ノ當否ニ對シ訴願ヲ爲シタル場合ニ於ケル訴願期限ハ前訴願ノトキヨリ繼續ス(同上)

▲訴願法第二條第二項ニ訴願ノ裁決ヲ受ケタル後更ニ上級行政廳ニ訴願スルトキハ其裁決ヲ爲シタル行政廳ヲ經由スヘシト規定スルノミニシテ他ノ法律敕令ニ別段ノ規定ナキ以上其經由スヘキ機關ハ代議機關ニ在ラスシテ行政機關タルコト明カナリ故ニ町村會ノ裁決ニ對スル訴願ハ町村役場ヲ經由シテ郡參事會ニ提出スヘキモノトス(二六、一一、四)

▲町村制中選舉ノ效力ニ關スル訴願ヲ以テ選舉全部ノ取消ヲ求ムル場合ニ於テ其全部ヲ取消スト將タ其一部ヲ取消ストハ各事件審理ノ結果ニ依ルモノニシテ必ス其全部ヲ取消シ若クハ取消サ、ルノ裁決ヲ與フヘキモノナリト云フヲ得ス(同上)

▲期限經過後ニ提出シタル訴願ヲ受理スヘキ宥恕ノ事由アリヤ否ヤヲ定ムルハ行政廳ノ職權ニ屬ス(二六、一一、四及三三、五、九)

▲選舉人名簿中ニ選舉資格ノ不明ナル者記載シアルヲ以テ其資格ヲ調査シ其結果ニ依リ之ヲ改正スヘシト云フカ如キハ名簿不正ノ點ヲ指摘セサルモノニ付キ訴願出訴ヲ許シタル規定ナキモノトス(二七、三、二四)

▲制第十八條第二項末段ハ關係者ノ訴願ニ對シ選舉ヲ前町村會ノ裁決アリタル場合ノ手續ヲ規定シタルモノナレハ訴願ノ裁決ニ至ラサル前選舉ヲ執行スルモ選舉ノ規定ニ違背シタリト云フヲ得ス(二七、六、二〇及二八、一二、三)

▲本條ノ規定ハ町村會議員ノ選舉人名簿ノ正否ニ關シ訴願出訴ヲ許シタルモノニシテ區會議員ノ選舉人名簿ノ正否ノ如キニ適用シ得ヘキ規定ニアラス(二七、一〇、一六及二八、六、六)

▲町村會ノ議決ヲ是認スルノ裁決ヲ爲シタル郡長ハ縣參事會ノ裁決ニ對スル不服ノ訴ニ於テ被告トシテ答辯スルノ義務アリ(二七、一二、二七)

▲郡長ハ縣知事ト等シク法律ニ定メタル訴願ニ對シ獨立ノ裁決ヲ爲スモノナレハ其裁決ハ縣知事ノ裁決中ニ吸收セラレタリトノ理由ヲ以テ其答辯ヲ拒ムヲ得ス(同上)

- ▲選舉ノ效力ニ關スル訴訟ハ其選舉人中ヨリ逐次訴訟ノ手續ヲ爲シタル上ハ他ノ選舉人ハ何時ニテモ之レニ加入スルヲ得ルモノナリ故ニ他ノ選舉人ニシテ縣參事會へ訴訟ノ手續ヲ欠クモノト雖モ之レカ爲メ訴權ヲ失フモノト云フヲ得ス(二八、二二)
- ▲行政裁判所ハ行政廳ニ於テ訴訟ヲ却下シタルニ止マリ未タ本案ノ判決ヲ爲サ、ル事件ト雖モ訴訟ノ順序ヲ履ミテ提起シタル以上ハ直ニ本案ノ判決ヲ爲スコトヲ得(二八、一一、一九及三〇、五、二五及同一、一九及三一、二一、六)
- ▲町村會若シハ町村長ノ判決ニ不服アル者及ヒ町村長ハ本條ニ據リ訴訟及訴訟ヲ爲スコトヲ得ヘシト雖モ之レカ判決ヲ爲シタル町村會ヨリ上級廳ノ判決ヲ不服トシ訴訟出訴ヲ爲スコトヲ得ルノ規定ナシ(二八、二二、三及三三、六、二一及同一、二二、二七)
- ▲公民權ノ有無ニ付訴訟ヲ提出スルニ當リ法律上當然議長ノ職ヲ行フ町村長ニ宛テ之ヲ提出スルモ違法ノ手續ト謂フヲ得ス(二九、一、二四)
- ▲村會ノ同意ヲ得テ處分シタルモノハ方式ニ於テ稍不完全ナルモ之ヲ以テ村會ノ判決ヲ經サルモノト云フヲ得ス(同上)
- ▲府知事カ爲シタル市會議員選舉取消ノ處分ニ對シ行政訴訟ヲ提起スルニハ別ニ訴訟ノ手續ヲ要セス行政裁判法第十七條第二項ニ依リ直ニ出訴スルコトヲ得(二九、二二、二八)
- ▲原告ノ主張カ參加人ノ當選ヲ無効トスルトキハ參加人ハ原被兩造ヲ對手人トシテ選舉ノ效力ヲ爭フコトヲ得(二九、二四)

- ▲隨意ニ作成シ得ヘキ書類ハ證據ノ效力ナシ(二九、三、九)
- ▲本條末項ニ所謂本條ノ訴訟及訴訟ノ爲メニ其執行ヲ停止スルコトヲ得ストハ處分ノ執行ヲ停止スルコトヲ得ストノ法意ナリ(二九、三、二二、二件)
- ▲判決ハ確定セサレハ執行シ能ハサルハ法理上明白ナリトス(同上)
- ▲村會ノ決議ニ依リ村會議長ノ肩書ヲ附記シテ提起シタル訴訟ハ村會ヲ代表シテ提起シタルモノト認定セサルヲ得ス(二九、四、六及同五、一三及三三、九、二八)
- ▲村會議員選舉效力ニ關スル爭ハ訴訟ノ手續ヲ經由シタル後キアラサレハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス(二九、五、一三)
- ▲某者カ名譽村長ニ當選セシモ其者カ公民權ヲ有セスト爲シ一個人ヨリ其當選ヲ無効ナリトスル請求ヲ行政裁判所ニ於テ受理セシ例アリ對手縣參事會縣知事(二九五、一九)
- ▲行政訴訟ハ判決者處分者何レヲ對手人ト爲スモ原告ノ選擇ニ任スル者トス(二九、九、二四)
- ▲制第二十九條第二項ノ郡長ノ處分ニ對シテハ本條第三項ニ依リ直ニ府縣參事會ニ訴訟ヲ爲スヘキモノトス(二九、一〇、二五)
- ▲村會議員選舉ノ效力ニ關シ其選舉全部ノ取消ヲ村會ニ訴訟シタル場合ニ在リテ同一事件ニ對スル縣參事會ノ判決カ該選舉一部ノ效力ニ止ルトキト雖モ行政訴訟ニ於テ全部無効ノ請求ヲ爲スコトヲ得(二九、二二、四)
- ▲假令公民權ノ有無ニ關スト雖モ行政訴訟ニ於テハ一人私人ヲ對手人トシテ出訴スルコトヲ

許サス(二九、二二、三及三三、七、一一)

▲ 訴願ヲ提出スルニ代人ヲ用フルト否トハ公權使用ノ方法ニ止マルモノニシテ訴願法中代人ヲ以テ訴願ヲ提出スルヲ禁スルノ明文ナキ以上ハ之ヲ用フルモ法律以外ニ公權ヲ擴張スルモノト云フヲ得ス故ニ訴願ハ代人ヲ以テ之ヲ提出スルコトヲ得(二九、二二、二五)
▲ 訴願書提出ニ付經由スヘキ行政廳ヲ誤リタルハ訴願期限中斷ノ理由トナラス(三〇、一二、二六及三三、三、一四)

▲ 市會議員解職ノ處分ヲ受ケタル者カ訴願ニ因テ該處分ノ執行停止中市參事會員選舉ノ投票ヲ爲シタルハ不法ナリト主張シ其選舉會ノ取消ヲ請求スル事件ニ關シ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(三〇、二〇、八)

▲ 府縣知事ハ法律上其職務ニ於テ既ニ縣參事會議長タル資格ヲ具有スルモノナレハ知事宛ノ訴願書ニ就テ裁決ヲ與フルモ毫モ不當ニ非ラス(三〇、一〇、二二)

▲ 訴願法第九條第三項ニ依リテ還付セラレタル訴願書ヲ再ヒ提出スルニハ同法第二條ニ定メタル手續ニ據ルコトヲ要セス(三〇、一一、一九)

▲ 適法ノ手續ヲ了シテ提出シタル訴願書ヲ還付セラレ再ヒ提出スルニ當リ年月日ヲ改ムルモ最初ノ手續ニ影響ヲ及ボサ、ルヲ以テ此一事ヲ以テ新ナル訴願ト認ムルヲ得ス(同上)

▲ 町村長カ町村會ノ裁決ニ付セス專斷ヲ以テ選舉ノ效力ニ關スル訴願ヲ却下シタル場合ニ在リテハ他ニ町村會ノ裁決ヲ受ケシムルノ途ナキヲ以テ上級行政廳ハ該却下處分ニ對ス

ル訴願ヲ受理スヘキモノトス(三一、六、四)

▲ 郡長カ制第二十九條第二項ニ依リ選舉取消ノ處分ヲ爲シ其當選者ヨリ訴願ヲ提起シタル場合ニ於ケル本條末項ノ法意ハ其訴願アリタル爲メ其者カ參與シタル議事執行ヲ停止セスト云フモノニシテ郡長ノ取消處分ノ執行ヲ停止セストノ規定ニ非ス故ニ其訴願ヲ爲シタル當選者カ町村會ノ議事ニ參與シタルハ適法ナリ(三一、六、二三)

▲ 訴訟ノ目的タル選舉カ行政裁判所ニ於ケル他ノ事件ノ判決ニ依リ取消サレタルトキハ訴訟ノ目的物消滅シタルモノトス(三一、六、二五及三一、一〇、二二)

▲ 町村會ノ議決ニ對スル訴願ノ裁決者タル郡參事會カ其裁決ヲ與ヘタル事件ニ付キ府縣參事會ノ裁決ヲ不服トシ自身當事者ト爲リ行政訴訟ヲ提起スルヲ許シタル法令ナシ(三一、一〇、二三及同二二、二四)

▲ 本條第四項ハ選舉人名簿ノ正否ニ關シ市町村會ノ裁決アリタル後市町村長ハ其裁決ニ對シテ訴願ヲ爲スコトヲ得ルノ規定ニシテ關係者ノ訴願ナキニ市町村長カ選舉人名簿ノ修正ヲ市町村會ニ請求シタルハ違法ナリ(三二、四、一一)

▲ 訴願ハ其據ルヘキ法條ノ引用ヲ誤リタル爲メニ無効ト爲ルコトナシ(三二、五、二九)

▲ 第三十條ノ規定ニ基キ町村會ノ爲シタル當選無効ノ議決ニ對スル當選者ノ訴願ハ直ニ郡參事會ニ提出スヘキモノトス(三二、六、一六)

▲ 二ノ選舉ニ關シ甲乙二個ノ訴願起リ甲訴願ノ裁決ニ對シ不服ヲ申立ツル者ナク法定ノ期

間ヲ經過シ乙訴願ノ裁決ニ對シテハ更ニ上級行政廳ニ訴願ノ提起アリタル場合ニ於テハ該選舉ノ效力ハ何人ニ對シテモ未タ確定セサルモノトス(三三、一〇、二三)

▲訴願人ハ裁決前ニ在リテハ何時ニテモ訴願ノ理由ノ追加ヲ爲スコトヲ得(三三、一二、二三)

▲裁決中ニ援用シタル法條ニ誤記アルモ其裁決ハ無効ニ在ラス(同上)

▲適法ニ訴願ヲ經由セサル行政訴訟ハ受理セス(三三、一四)

▲區會議員ノ選舉名簿調製ニ關シ郡長ヨリ村長ニ對シ發シタル取消命令ヲ取消サンコトヲ請求スル事件ニ關シ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(三三、四、六)

▲訴願法第九條第二項ニ依リ指定スル期限ハ日ヲ以テ定ムルモ時ヲ以テ定ムルモノニ行政廳ノ便宜ニ從フヘキモノトス(三三、五、九)

▲訴願ニシテ期限經過ノ爲メニ却下セラレタル以上ハ追加訴願モ亦當然却下セララルヘキモノトス(同上)

▲選舉ノ效力ニ關スル訴願ヲ裁決スルニ付甲者ノ得點ハ選舉錄ノ得點ニ依リ乙者ノ得點ハ再調査ノ得點ニ依リテ之ヲ定メタルハ違法ナリ(三三、五、一四)

▲行政裁判所ハ選舉ノ效力ヲ判定スル爲メ必要ナル時ハ爭ナキ投票ト雖モ其效力ノ有無ヲ判定スルコトヲ得(三三、七、九)

▲當選者タルコトヲ爭フ原告カ行政訴訟中議員ノ職ヲ辭シタルトキハ其訴訟ノ目的ハ消滅ニ歸ス(三三、一七、一八)

▲村會ハ必要ニ應シ交付以前ニ於テ裁決更正ノ爲メ再議ヲ爲スハ其權能ニ屬スルヲ以テ村長カ其裁決書ヲ交付セス更ニ裁決更正ノ議決ヲ爲サシメタル上之ヲ交付スルモ不當ナリト云フヲ得ス(三四、六、二九)

▲町村吏員ノ選舉ハ町村制第四十六條ノ規定ニ依リ行フ可キモノニシテ同規定中本條ヲ適用ス可シトノ明文ナキヲ以テ町村長ノ選舉ニ對シ本條ノ被選舉權有無ニ關スル事件トシ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス(三四、一一、二五)

▲被選舉ノ有無並ニ選舉ノ效力ニ關シテ爭フ所ナク單ニ當選人ノ指定ヲ請求スル事件ニ付テハ府縣制ハ勿論其他ノ法律敕令中行政訴訟ヲ許スノ規定ナシニ舊府縣制(三〇、一〇、六)

▲選舉ノ效力ニ關スル訴訟ニ對シ行政判決アリタル以上ハ同一ノ選舉ニ對シ他ノ原告ヨリ出訴シタル同一ノ請求ハ其目的物ノ消滅シタルモノナルヲ以テ之ヲ採用セスニ府縣制(三三、三、七及同四、一一)

▲府縣參事會ニ於テ甲某ヲ當選者ト是認シタル郡參事會ノ決定ヲ取消シ乙某ヲ當選者ト爲スノ裁決ヲ與ヘタル場合ニ在リテハ其裁決書ニ甲某ノ當選ヲ取消ス旨ヲ記載セサルモ甲某ヲ當選者ト定メタル當初選舉會ノ議決ハ自ラ廢棄セラレタルモノトスニ郡制(三四、二二〇)

第三十八條 凡職員タル者ハ選舉人ノ指示若クハ委囑ヲ受ク可ラサルモノトス

第二章 町村會 第二節 職務權限及處務規定 (第三十八條)

第三十九條 町村會ハ町村長ヲ以テ其議長トス若シ町村長故障アルトキハ其代理タル町村助役ヲ以テ之ニ充テ

▲町村長ハ法律上其職務ニ於テ既ニ議長タル資格ヲ具有スル者ナレハ町村會ノ招集狀ニ町村長ノ名義ヲ以テスルモ其町村會ノ決議ヲ違法ト云フヲ得ス(二七、二二、二一)

▲村長ノ資格ヲ表示スル場合ト村會議長ノ資格ヲ表示スル場合トハ彼此混同セサルヲ要ス而シテ議長ノ資格ヲ表示スル場合ニ於テハ法律上村長ニ於テ議長ノ職ヲ行フモノナルヲ以テ村會議長村長某ト記名スルヲ當然トスルモ村長ノ資格ヲ表示スル場合ニ於テハ議長ノ文字ヲ冠セス單ニ村長某ト記載スルヲ相當トス(二九、五、一三)

第四十條 會議ノ事件議長及其父母兄弟若クハ妻子ノ一身上ニ關スル事アルトキハ議長ニ故障アルモノトシテ其代理者之ニ代ル可シ

議長代理者共ニ故障アルトキハ町村會ハ年長ノ議員ヲ以テ議長ト爲ス可シ

第四十一條 町村長及助役ハ會議ニ列席シテ議事ヲ辯明スルコトヲ得

第四十二條 町村會ハ會議ノ必要アル毎ニ議長之ヲ招集ス若シ議員四分ノ一以上ノ請求アルトキハ必ス之ヲ招集ス可シ其招集並會議ノ事件ヲ告知スルハ急施ヲ要スル場合ヲ除クノ外少クモ開會ノ三日前タル可シ但町村會ノ議決ヲ以テ豫メ會議日ヲ定ムルモ妨ケナシ

▲町村長ハ法律上議長タル資格ヲ有スルモノナレハ招集狀ニ村長ノ名義ヲ付シタル一事ヲ以テ其召集シタル村會ヲ違法ナリト云フヲ得ス(二七、二二、二一)

▲本條ニ依リ村會召集ニ少クモ開會三日前ニ告知スヘキ場合ニ當リ開會當日ヲ算入スルカ如キハ一般ニ認メラレタル慣例ニアラス(二八、二二、二七)

▲本條ハ町村會招集ノ方法ニ付テ特定スル所ナキヲ以テ議長ハ各議員ニ對シ一々招集狀ヲ發セスシテ他ノ方法ヲ以テ招集スルモ妨ケナシ故ニ其招集ヲ揭示場ニ告示スルモ違法ニ非ラス(三一、四、七)

▲速カニ意見ヲ答申スルノ必要アル場合ニ在リテハ村會ノ招集ハ開會ノ三日前タルコトヲ要セス(三三、七、一〇)

▲會議ノ事件ノ告知トハ村會ニ於テ何事ヲ議スルカヲ知ラシムレハ足ルモノトス(同上)

▲會員中ノ一二名ヲ招集セスシテ開會シタル府縣參事會ハ適法ニ成立シタルモノニ非ラス
|| 府縣制 || (三四、五、二八)

第四十三條 町村會ハ議員半數以上出席スルニ非サレハ議決スルコトヲ得ス但同一ノ議事ニ付招集再回ニ至ルモ議員過半數ニ滿タサルトキハ此限ニ在ラス

▲村會招集再會ノ場合ハ出席議員當初ヨリ議員定數ニ充タサルト中途ニシテ退場シタル者アルカ爲メ其定數ヲ缺キタルト否トニ拘ラス本條但書ノ規定ニ據ルコトヲ得(二五、七、一及同二二、一九)

▲適法ノ召集手續ヲ盡シタルモ出席議員ナキカ爲メ村會ヲ開會スルニ至ラサルハ村長ノ職務怠慢ニ在ラス(三〇、五、三)

▲町村會ノ組織カ適法ニ成立セサル以上ハ其會議ニ對シ本條但書ヲ適用スルコトヲ得ス(三三、六、一七)

▲郡會及郡參事會ノ會同會ニ於テ郡會議員ニシテ郡參事會員ヲ兼ネタル者ヲ郡會議員及郡參事會ノ出席定數ニ複算シタルハ違法也。舊府縣制及郡制(二六、四、六)

第四十四條 町村會ノ議決ハ可否ノ多數ニ依リ之ヲ定ム可否同數ナルトキハ再議議決ス可シ若シ猶同數ナルトキハ議長ノ可否スル所ニ依ル

▲府縣參事會議長タル府縣知事ハ可否同數ナル場合ニ於テハ表決權ヲ有スルニ止マリ議長席ヲ離レテ府縣參事會員トシテ自己ノ意見ヲ吐露スルハ禁スル所ニ在ラサルモ議長席ニ在リタルマ、其意見ヲ採テ直ニ之ヲ可否ノ數ニ加フルコトヲ得ス。府縣制(三四、五、二八)

第四十五條 議員ハ自己及其父母兄弟若クハ妻子ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ町村會ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス。議員ノ數此除名ノ爲メニ減少シテ會議ヲ開クノ定數ニ滿タサルトキハ郡參事會町村會ニ代テ議決ス

▲舊府縣制第六十一條第一項(府縣制第九條第一項)ニ依リ縣會カ縣稅戶數割等差ヲ村會ノ議決ニ付シタルニ村會ニ於テ之カ議決ヲ爲サルトキハ同條第三項(府縣制第九條第二項)ニ依リ縣會自ラ之ヲ議決スヘキモノナルヲ以テ町村制第四十五條第二項ニ依リ郡參事會カ村會ニ代リテ議決ヲ爲スヘキモノニ在ラス(二五、一〇、四)

第四十六條 町村會ニ於テ町村吏員ノ選舉ヲ行フトキハ其一名毎ニ匿名投票ヲ以テ之ヲ爲シ有效投票ノ過半數ヲ得ル者ヲ以テ當選トス若シ過半數ヲ得ル者ナキトキハ最多數ヲ得ル者二名ヲ取り之ニ就テ更ニ投票セシム若シ最多數ヲ得ル者三名以上同數ナルトキハ議長自ラ抽籤シテ其二名ヲ取り更ニ投票セシム此再投票ニ於テモ猶過半數ヲ得ル者ナキトキハ抽籤ヲ以テ當選ヲ定ム其他ハ第二十二條、第二十三條、第二十四條第一項ヲ適用ス。前項ノ選舉ニハ町村會ノ議決ヲ以テ指名推選ノ法ヲ用フルコトヲ得

▲本條第一項ニ最多數ヲ得ル者二名以上同數ナルトキハ議長自ラ抽籤スヘキ規定アル以上ハ「再投票ニ於テモ猶過半數ヲ得ル者ナキトキハ抽籤ヲ以テ當選ヲ定ム」トアルハ其前文ノ「議長」ヲ借リ之ヲ略シタルモノニシテ此場合ニ於ケル抽籤モ議長自ラ之ヲ行フノ法意ナルヲ以テ議長以外ノ者ヲシテ抽籤ヲ爲サシメタルハ違法ナリ(二五、五、二六及三一、五、三)

▲本條ニ依ル選舉ニ第廿三條ノ選舉掛ヲ設クヘキモノニ在ラス(二五、一、四及三〇、一、二六) ▲町村會ニ於テ吏員ヲ選舉スルニ當リ指名推舉ヲ用フルハ投票ニ代ユルノ一ノ方法ニ過キサレハ投票ト同シク選舉者自ラ之ヲ行フヘキモノトス故ニ指名推選ヲ掛長ニ一任スルハ違法ナリ(二八、一、一)

▲本條ニ選舉ヲ行フトキハ其一名毎ニ匿名投票ヲ以テ之ヲ爲シト在ルハ一名毎ニ選舉ヲ行フヘキコトヲ命シタルモノニシテ同時ニ二名ヲ選舉スルカ如キハ本條ノ規定ニ背クモノナリ(三〇、六、一一) ▲解職處分ヲ受ケタル議員カ訴願ニ因テ該處分ノ執行停止中吏員選舉ノ投票ヲ爲シタルハ不法ナリト主張シ其選舉會ノ取消ヲ請求スル事件ニ關シ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(三〇、一〇、八)

▲町村吏員ノ選舉ニ關シ行政訴訟ヲ許スノ法規ナシ(三四、一、二五) ▲議員カ法定ノ手續ニ從ヒ選舉ヲ執行シタル後ニ其議員中ニ無資格者アルコトヲ發見スルモ其當時ニ溯リ選舉ノ效力ヲ左右スヘキモノニ在ラサルヲ以テ其選舉ハ取消スヘキモノ

ニ在ラスニ舊府縣制(二六、二二、一三)

▲郡會議員ノ選舉ヲ行フ場合ニ於テ町村會議員ヲ兼ヌル町村長タル選舉會長カ自ラ選舉ヲ行フトキハ町村制第二十二條其他關係ノ條項中會長代理者ヲ置クヘシトノ規定ナキヲ以テ會長席ニ在リテ選舉ヲ行フモ違法ナリト云フヲ得スニ舊郡制(三〇、四、一六)

第四十七條 町村會ノ會議ハ公開ス但議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁スルコトヲ得

第四十八條 議長ハ各議員ニ事務ヲ分課シ會議及選舉ノ事ヲ總理シ閉會閉會並ニ延會ヲ命シ議場ノ秩序ヲ保持ス若シ傍聽者ノ公然贊成又ハ擲斥ヲ表シ又ハ喧擾ヲ起ス者アルトキハ議長ハ之ヲ議場外ニ退出セシムルコトヲ得

第四十九條 町村會ハ書記ヲシテ議事録ヲ製シテ其議決及選舉ノ顛末並出席議員ノ氏名ヲ記錄セシム可シ議事録ハ會議ノ末之ヲ期讀シ議長及議員二名以上之ニ署名ス可シ

町村會ノ書記ハ議長之ヲ選任ス

▲訴願ノ裁決ニ係ル村會議事録ニ調査委員ノ報告ヲ記セス又村會議決ノ景況ヲ記シタルモノナキモ該手續ノ如キハ法律上別段ノ規定ナキノミナラス選舉ノ效力ニ影響ヲ及ホスモノニアラス(二六、二二、一六)

▲村稅賦課ニ關スル村會議決ノ方式カ其議事録ニ徵シテ正當ナルトキハ之ヲ違法ト謂フヲ得ス(三〇、三一、一六)

▲縣會ノ議決ハ議事録ニ依テ證明スヘク議長其他ノ者カ私ニ作爲セシ證明書ハ信ヲ措クニ足ラスニ舊府縣制(三三、二二、一六)

第五十條 町村會ハ其會議細則ヲ設ク可シ其細則ニ違背シタル議員ニ科ス可キ過怠金二圓以下ノ罰則ヲ設クルコト

ヲ得

▲村會議員ノ無届不參ヲ理由トシ村會カ其議員ニ對シ過怠金ヲ科シタルヲ不當トシ其取消ヲ求ムル事件ニ關シ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(二七、九、二四)

▲本條ノ事項ニ付テハ市會亦發按權ヲ有ス(二八、五、一四)

第五十一條 第三十二條ヨリ第四十九條ニ至ルノ規定ハ之ヲ町村總會ニ適用ス

第三章 町村行政

第一款 町村吏員ノ組織選任

第五十二條 町村ニ町村長及町村助役各一名ヲ置ク可シ但町村條例ヲ以テ助役ノ定員ヲ增加スルコトヲ得

第五十三條 町村長及助役ハ町村會ニ於テ其町村公民中年滿三十歲以上ニシテ選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉ス

町村長及助役ハ第十五條第二項ニ掲載スル職ヲ兼ヌルコトヲ得ス
父子兄弟タルノ縁故アル者ハ同時ニ町村長及助役ノ職ニ在ルコトヲ得ス若シ其縁故アル者助役ノ選舉ニ當ルトキハ其當選ヲ取消シ其町村長ノ選舉ニ當リテ認可ヲ得ルトキハ其縁故アル助役ハ其職ヲ退ク可シ

▲某者カ名譽村長ニ當選セシモ其者カ公民權ヲ有セスト爲シ一個人ヨリ其當選ヲ無効ナリトスル請求ヲ行政裁判所ニ於テ受理セシ例アリニ對手縣參事會縣知事(二九、五、二九)

第五十四條 町村長及助役ノ任期ハ四年トス

町村長及助役ノ選舉ハ第四十六條ニ依テ行フ可シ但投票同數ナルトキハ抽籤ノ法ニ依ラス郡參事會之ヲ決ス可シ

第五十五條 町村長及助役ハ名譽職トス但第五十六條ノ有給町村長及有給助役ハ此限ニ在ラス
町村長ハ職務取扱ノ爲メニ要スル實費辨償ノ外勤務ニ相當スル報酬ヲ受クルコトヲ得助役ニシテ行政事務ノ一部ヲ分掌スル場合(第七十條第二項)ニ於テモ亦同シ

第三章 町村行政 第一款 町村吏員ノ組織選任 (第五十一、二、三、四、五條)

▲町村長ノ欠員中之ニ代リテ其職務ヲ執リタル助役ニ對シテ村長ニ給與スヘキ報酬ヲ與ヘタルハ不法ニアラス(三一、一〇、一九)

第五十六條 町村ノ情況ニ依リ町村條例ノ規定ヲ以テ町村長ニ給料ヲ給スルコトヲ得又大ナル町村ニ於テハ町村條例ノ規定ヲ以テ助役一名ヲ有給吏員ト爲スコトヲ得

有給町村長及有給助役ハ其町村公民タル者ニ限ラス但當選ニ應シ認可ヲ得ルトキハ其公民タルノ權ヲ得

▲本條第二項ニ依リ公民權ヲ得タル者ハ第十一條ニ規定シタル選舉權ヲ有ス(二四、九、二五)

第五十七條 有給町村長及有給助役ハ三箇月前ニ申立ツルトキハ隨時退職ヲ求ムルコトヲ得此場合ニ於テハ退職料ヲ受クルノ權ヲ失フモノトス

▲有給ノ町村長助役ニシテ任期中辭職ヲ申立ツル時ハ町村會ハ其認否ヲ議決スヘキモノトス(三一、四、二三及同二二、一六及三三、三三、三三)

▲有給町村長助役ノ辭職ノ申立ニ對シ町村會カ承認ノ議決ヲ爲セハ其者ハ直ニ職務ノ解除ヲ得ルモノトス(同上)

▲適法ニ其職務ヲ解除セラレタル町村長助役ニ對シ郡長カ在職者ト認メテ懲戒處分ヲ行ヒタルハ不當ナリ(同上)

第五十八條 有給町村長及有給助役ハ他ノ有給ノ職務ヲ兼任シ又ハ株式會社ノ社長及重役トナルコトヲ得ス其他ノ營業ハ郡長ノ認許ヲ得ルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第五十九條 町村長及助役ノ選舉ハ府縣知事ノ認可ヲ受ク可シ

▲投票ノ多數ヲ得タルハ即チ名譽職ノ當選ニシテ府縣知事ノ認可ヲ得サル前ト雖モ名譽職

ニアラスト云フヲ得ス(二六、三三、一四)

第六十條 府縣知事前條ノ認可ヲ與ヘサルトキハ府縣參事會ノ意見ヲ聞クコトヲ要ス若シ府縣參事會同意セサルモ猶府縣知事ニ於テ認可ス可カラスト爲ストキハ自己ノ責任ヲ以テ之ニ認可ヲ與ヘサルコトヲ得

府縣知事ノ不認可ニ對シ町村長又ハ町村會ニ於テ不服アルトキハ内務大臣ニ具申シテ認可ヲ請フコトヲ得

第六十一條 町村長及助役ノ選舉其認可ヲ得サルトキハ再選舉ヲ爲ス可シ

再選舉ニシテ猶其認可ヲ得サルトキハ迫テ選舉ヲ行ヒ認可ヲ得ルニ至ルノ間認可ノ權アル監督官廳ハ臨時ニ代理者ヲ選任シ又ハ町村費ヲ以テ官吏ヲ派遣シ町村長及助役ノ職務ヲ掌掌セシム可シ

▲監督官廳カ本條ヲ適用シ其職權ヲ以テ選任シタル村長代理者ノ給料及費用ハ第二百二十二條ニ所謂當該官廳ノ職權ニ依テ命令スル所ノ支出ニ該當スルモノトス(二九、七、九)

第六十二條 町村ニ收入役一名ヲ置ク收入役ハ町村長ノ推薦ニ依リ町村會之ヲ選任ス

收入役ハ町村長及助役ヲ兼ヌルコトヲ得ス其他第五十六條第二項、第五十七條及第七十六條ヲ適用ス

收入役ノ選任ハ郡長ノ認可ヲ受ク可シ若シ認可ヲ與ヘサルトキハ郡參事會ノ意見ヲ聞クコトヲ要ス郡參事會之ニ同意セサルモ猶郡長ニ於テ認可ス可カラスト爲ストキハ自己ノ責任ヲ以テ之ニ認可ヲ與ヘサルコトヲ得其他第六十一條ヲ適用ス

郡長ノ不認可ニ對シ町村長又ハ町村會ニ於テ不服アルトキハ府縣知事ニ具申シテ認可ヲ請フコトヲ得

▲第五十六條第二項ニ依リ公民權ヲ得タル收入役ハ第十二條ノ規定ニ依リ選舉權ヲ有ス(二四、九、二五)

▲市制第五十八條第三項ニ收入役ノ選任ハ府縣知事ノ認可ヲ受ク云々其他云々第七十六條ヲ適用ストアリテ特ニ第一項及ヒ第四項ノミヲ適用スト指定セス而シテ其第三項市會ノ議決ヲ以テ助役ノ給料ヲ定ムルトキハ府縣知事ノ許可ヲ要ストアルヲ以テ市ノ收入役ノ給料額ヲ定ムルトキハ該項ヲ適用シ府縣知事ノ許可ヲ受クヘキモノトス(二六、二、一八)

▲收入役ノ代務者ヲ置クハ制第七十一條ノ規定ニ背反ス(二八、五、一四)

▲收入役代務者ノ資格アル者カ其受領ノ金員ヲ費消シタルトキハ之カ使役者タル收入役ハ被害町村ニ對シ賠償ノ義務アリ(同上)

第六十三條 町村ニ書記其他必要ノ附屬員並ニ使丁ヲ置キ相當ノ給料ヲ給ス其人員ハ町村會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ム但町村長ニ相當ノ書記料ヲ給與シテ書記ノ事務ヲ委任スルコトヲ得

町村附屬員ハ町村長ノ推薦ニ依リ町村會之ヲ選任シ使丁ハ町村長之ヲ任用ス

▲町村吏員ハ本條ニ依リ町村會ニ於テ其人員ヲ定ム故ニ町村長ハ豫算金額ニ剩餘アリトテ定員以外ノ吏員ヲ任用スルヲ得ス(二八、五、一四)

第六十四條 町村ノ區域廣闊ナルトキ又ハ人口稠密ナルトキハ處務便宜ノ爲メ町村會ノ議決ニ依リ之ヲ數區ニ分テ每區區長及其代理者各一名ヲ置クコトヲ得區長及其代理者ハ名譽職トス

區長及其代理者ハ町村會ニ於テ其町村ノ公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉ス區會(第十四條)ヲ設クル區ニ於テハ其區會ニ於テ之ヲ選舉ス

第六十五條 町村ハ町村會ノ議決ニ依リ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得其委員ハ名譽職トス

委員ハ町村會ニ於テ町村會議員又ハ町村民中選舉權ヲ有スル者ヨリ選舉シ町村長又ハ其委任ヲ受ケタル助役ヲ

以テ委員長トス

常設委員ノ組織ニ關シテハ町村條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

▲本條ハ當然市會ノ議決ヲ要スル事項ニシテ之ヲ調査スル爲メ委員ヲ置クコトヲ得ルノ規定ナレハ市民ヨリ提出スル建議請願書ノ取調委員ヲ設置スルカ如キハ市會ノ權限ヲ越ヘタルモノトス(二七、五、五)

▲町村ノ共有財産及營造物管理常設委員ハ町村制ニ所謂町村ノ名譽職ナリ(三三、六、九、二件)

第六十六條 區長及委員ニハ職務取扱ノ爲メ必要スル實費辨償ノ外町村會ノ議決ニ依リ勤務ニ相當スル報酬ヲ給スルコトヲ得

第六十七條 町村吏員ハ任期滿限ノ後再選セラレコトヲ得

町村吏員及使丁ハ別段ノ規定又ハ規約アルモノヲ除クノ外隨時解職スルコトヲ得

第二節 町村吏員ノ職務權限

第六十八條 町村長ハ其町村ヲ統轄シ其行政事務ヲ擔任ス

町村長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

- 一 町村會ノ議事ヲ準備シ及其議決ヲ執行スル事若シ町村會ノ議決其權限ヲ越エ法律命令ニ背キ又ハ公眾ノ利益ヲ害スト認ムルトキハ町村長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ議決ノ執行ヲ停止シ之ヲ再議セシメ猶其議決ヲ更メサルトキハ郡縣事會ノ裁決ヲ請フ可シ其權限ヲ越エ又ハ法律勅令ニ背クニ依テ議決ノ執行ヲ停止シタル場合ニ於テ府縣事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
- 二 町村ノ設置ニ係ル營造物ヲ管理スル事若シ特ニ之カ管理者アルトキハ其事務ヲ監督スル事
- 三 町村ノ歲入ヲ管理シ歲入出豫算表其他町村會ノ議決ニ依テ定マリタル收入支出命令シ會計及出納ヲ監視ス

第三章 町村行政 第二節 町村吏員ノ職務權限 (第六十六、七、八條)

第三章 町村行政 第二款 町村吏員ノ職務權限 (第六十八條)

ル事

- 四 町村ノ權利ヲ保護シ町村有ノ財産ヲ管理スル事
- 五 町村吏員及使丁ヲ監督シ懲戒處分ヲ行フ事其懲戒處分ハ體責及五圓以下ノ過怠金トス
- 六 町村ノ諸證書及公文書類ヲ保管スル事
- 七 外部ニ對シテ町村ヲ代表シ町村ノ名義ヲ以テ其訴訟並ニ和解ニ關シ又ハ他廳若クハ人民ト商議スル事
- 八 法律勅令ニ依リ又ハ町村會ノ議決ニ從テ使用料手数料町村稅及夫役現品ヲ賦課徵收スル事
- 九 其他法律命令又ハ上司ノ指令ニ依テ町村長ニ委任シタル事務ヲ處理スル事

▲郡長ハ地方官制ニ依リ行政事務ニ付テハ其部内ノ町村長ヲ指揮スルノ職權アルヲ以テ其管内ニ告示ヲ爲スノ必要アル場合ハ町村長ニ命シテ其告示ヲ爲サシムルコトヲ得ヘク町村長ハ其命ニ從ヒ之カ告示ヲ爲スノ義務アルモノトス(二四、二二九)

▲村長ハ何等ノ事情アリテ村治上ニ困難ヲ見ルモ法律命令ニ從ヒ其職務ヲ行フ義務アルモノトス(二四、四二二)

▲町長カ家屋建築届ヲ返戻シタルヲ不當トスルニ付テ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(二四、二二四)

▲市參事會カ其擔任ノ事務ヲ怠ルコトアレハ市參事會ノ代表者トシテ市長其責任ヲ負ハサル可ラス(二五、二二五)

▲町村長ノ職務トシテ町村ヲ代表スルコトハ町村制ノ範圍内ニ於ケル町村ニ屬スル事件ヲササル可ラス之ニ反スル行爲不行爲トモ總テ町村長ノ職務ニ違フモノトス故ニ町村長カ

衆議院議員ニ感謝狀ヲ送リタルハ其職務ニ違背シタルモノトス(二六、三二八)

▲郡長カ町村長ニ對シテ發シタル訓示ハ其監督權上ノ命令ニ屬スルモノニシテ町村長ハ之ニ服從スルノ義務アリ(同上)

▲町村長ノ職務權限ハ町村長自身ニ解得スヘキ責務ヲ有ス(同上)

▲一旦議決シタル同一事件ヲ再議々決セシメタルニ不服ナルノ訴ニ付テハ行政訴訟ヲ提起シ得ヘキ法規ナシ(二六、四、七)

▲村長カ村會ノ議決ニ從ヒテ爲シタル職務上ノ行爲ニ基因スル訴訟ノ費用ハ其村ノ負擔ニ屬スルモノトス(二六、四、八及二七、五、一四)

▲編者曰ク、本列例ハ本條第二項第一號ニ因ル再議處分ニ非ラスシテ一旦甲ト議決セシ事件ヲ更ニ議案ヲ發シテ乙ト變更議決セシ場合ナリトス

▲衆議院議員選舉事務ノ如キハ本條第二項第九ニ該當スルモノニシテ決シテ町村制規定ノ範圍外ノモノニアラサルカ故ニ郡長ハ府縣知事監督ノ下ニ選舉事務ヲ監督スルノ職權アリ既ニ其職權アレハ必要ニ依リ自ラ又ハ郡書記ヲシテ投票所ニ臨監セシムルモ町村長ハ之カ入場ヲ拒ムヲ得ス(二六、五、五)

▲縣知事カ町村事務ノ錯亂及澁滯ヲ整理スル爲メ訓令ヲ以テ町村役場會計規程及諸帳簿樣式ヲ發布シタルハ行政監督權上ノ命令ニ外ナラサレハ町村長ハ之ヲ遵奉スルノ義務アルモノトス(二六、五、三七)

▲道路改修ニ就テ村長ノ爲シタル處分ハ一人ノ所有權ヲ侵害シタルモノト主張シ村長ニ對シ其損害ノ辨償ヲ請求シ又ハ其處分ノ取消ヲ請求スルコトニ關シ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(二六、六一及二七、八四)

▲市町村會カ自ラ議權ヲ有セスト議決シタルモノハ議決ノ性質上執行スルヲ得サルモノナリニ依リ議決ノ執行ヲ停止スル事實ノ生スヘキ理ナキヲ以テ本條第二項ノ一ニ依ルヘカラサルハ勿論其他法律勅令中行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ(二六、七一及三〇、五、四)

▲本條第二項一ノ規定ニ起因スル行政訴訟ハ町村會タル團體ニ於テ爲シタル議決ノ當不當ヲ論争スルモノナレハ町村會ヨリ出訴シ得ヘキハ勿論ナレトモ一個人タル町村會議員ヨリ訴訟ヲ提起シ得ルノ權利ナシ(二六、一〇、五、二件)

▲村長カ戸籍ニ關スル證明ヲ爲スヲ拒絶シタルコトニ對シテ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(二六、一〇、一九)

▲本條第二項ノ一ハ町村會ニ於テ其議決ノ執行ニ關シ與ヘラレタル郡參事會ノ裁決ニ不服ナルトキ逐次訴願出訴ヲ許シタルモノニシテ町村長ニ訴願出訴ヲ許シタル規定ニアラス(二七、三二六及二九、一一、一七)

▲學校組合格約ニ於テ組合格約ニ關スルモノハ組合會ノ議決ヲ以テ改正スルヲ得スト規定シタル場合ニ於テ該規約中組合長ハ組合内各村長ノ中ヨリ之ヲ選舉ストアルヲ組合村長ハ組合村民中ノ被選權ヲ有スル者ヨリ選舉スト改正スルモ違法ノ議決ト云フヲ得ス何

トナレハ組合組織トハ組合ヲ組成スル所ノ各村ヲ云フニ止マリ組合長ノ選舉方法ヲ包含スト解スルヲ得サレハナリ(二七、一二、四)

▲區會ノ議決カ越權トシテ市參事會ヨリ再議ニ付セラレタル處分ニ對シ行政訴訟ヲ提起シ得ルノ法規ナシ(二八、三三、一)

▲市ノ行政事務ニ關スル發案權ハ市制第六十四條第二項ノ一ニ於テ市會ノ議事ヲ準備シトアリテ其市參事會ニ屬スルコトヲ明示シ而シテ他ニ之ヲ市會ニ與ヘタル規定ナキ以上ハ市制第三十三條第四十八條ノ如キ場合ヲ除ク外市參事會ニノミ屬スルモノト謂ハサルヲ得ス(二八、五、一四)

▲町村吏員カ不正ノ行爲アルトキハ之カ監督ノ任アル町村長ハ其行爲ヲ關知セザルトノ理由ニ依リ曠職ノ責ヲ免ル、コトヲ得ス(二八、五、一四)

▲組合町村長カ收入役ノ身元保證金ヲ徴シタル後事後ニ町村會ノ承諾ヲ受ケタルハ該會ノ權限ヲ侵シタルモノトス(二八、五、一四)

▲町村組合格規定ハ其組合組織ノ際關係町村ノ協議ヲ以テ成ルモノナレハ組合會ハ該規定ノ範圍外ニ涉リ若クハ之ニ矛盾スルカ如キ議決ヲ爲スコトヲ得ス(二八、五、一五)

▲縣知事カ市長ノ申請ニ依リ市長ニ裁決ヲ與ヘタル場合ト雖市參事會ニ於テ該裁決ニ不服ナルトキハ同會ヨリ縣知事ヲ對手トシテ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得(二八、五、一八)

▲公共事務ニ非ラサル漁業權回復ノ行政訴訟ハ町村長ノ資格ヲ以テ出訴スルヲ得ス(二八、

六二八)

▲市長カ區會ノ議決ニ對シ本條ニ依リテ之ヲ再議ニ付スルノ請求案ヲ市參事會ニ提出シタルトスルモ本條ハ市會ノ議決ニ適用スヘキモノニシテ區會ノ議決ニ適用スヘキモノニアラサレハ市參事會カ該請求案ヲ議題トシテ其可否ヲ議決シタルハ違法タルヲ免レヌ(二八、一〇、五)

▲村民カ提出シタル質問書ヲ却下シタル村長ノ處分ニ對シ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(二九、一二八)

▲助役カ不實ノ證明ヲ爲シタル爲メ損害ヲ被リタリト稱スル者ヨリ更ニ正實ノ證明ヲ爲サシメ且之レカ懲戒ヲ求ムル事件ニ關シ法律命令中行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ(二九、二、五)

▲公衆ノ利益ヲ害スルモノト認メ議決ノ執行ヲ停止シタル郡長ノ處分ニ對シ行政訴訟ヲ提起スルヲ得ス(二九、二、四)

▲村ノ負擔ニ屬スル土木工事ヲ區ノ受負ト爲スヘシトノ村會ノ議決ハ違法ナリ(二九、四、二四)

▲村會カ監督官廳ノ命令又ハ法律敕令ニ依リ負擔ス可キ支出ヲ拒ムトキハ監督官廳ハ第二百二十二條ニ依リ強制豫算ヲ命スヘシ本條第二項ノ一ヲ適用シ再議ニ附スヘキモノニ非ラヌ(二九、六、五及三三、三、一四)

▲村長ハ村會ノ議事ヲ準備シ其議決ヲ執行スヘキノミナラス又同時ニ村會議長ノ職ヲ行フ

ヘキモノナルヲ以テ訴願カ村會ヲ經由スヘキ場合ニ於テハ當然其經由ノ手續ヲ爲ササルヘカラス(二九、六、三五)

▲町村長ノ處分カ町村ノ水利ニ關スル行政上ノ處分ナルトキハ町村制中出訴ヲ許ス規定ナキモ其不服者ハ二十三年法律第百六號ニ據リ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ヘシ(二九、九、二四)

▲郡長カ村會ノ議決ハ公衆ノ利益ヲ害スト認メ再議ニ付セシメタルモノニシテ郡參事會及縣參事會ノ裁決共ニ同一理由ニ出ツルトキハ假令ヒ村長カ郡參事會ノ裁決ヲ請求スル書面中ニ村會ノ處置ハ法律命令ニ背キ且公益ニ害アル云々トアルニモセヨ此一事ヲ以テ本條第二項一號ノ後段ニ適合スト爲シ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ス(二九、一一、二、四件)

▲郡長カ村會ニ再議ヲ命シタル場合其村會不成立ナリシテ村長カ郡長ニ對シテ報告ヲ爲サハ、リシモ特ニ郡長ヨリ報告ヲ爲スヘシトノ命令訓示等ナキ以上ハ其職務ヲ怠リタルモノト謂フヲ得ス(三〇、五、三)

▲本條ニ依リ郡長カ村會ニ再議ヲ命シタルニ出席議員ナキカ爲メニ村會成立セザリシ場合ニ於テ村長カ郡長ニ對シ直ニ之カ報告ヲ爲ササルハ其職務ヲ怠リタルモノト謂フ可カラヌ(三〇、一〇、三)

▲町村組合會ノ議決ニ對シ其組合内ノ町村長ハ本條第二項ノ一ニ基ク訴願及ヒ訴訟ヲ爲スノ權ヲシ(三〇、一、一、一)

▲前任町長ノ失錯ハ後任町長ニ於テ之ヲ改ムルノ職責ヲ有ス(三〇、二二五)

▲町村會ノ議決スヘキ議案ハ或ル場合ヲ除ク外町村長ヨリ發スヘキモノトス然ルニ自ラ發セシテ町村會ノ發議ニ出テ其儘議決セシメタルハ町村長ノ職務ヲ盡シタルモノニアラス(三一、二二八)

▲町村會議事録ノ署名者ヨリ其署名取消ノ申出アリタルニ拘ハラズ町村長カ之ヲ取消サスシテ監督官廳ニ提出シタルハ不當ノ處置ナリ(同上)

▲町村長カ町村會ノ議長トシテ不當ノ處置ヲ爲シタルハ即チ町村長ノ職務ニ違フモノトス(同上)

▲村會ノ議決ニ基キ大字一部ノ人民カ土地所有權回復ノ訴ヲ起シ勝訴ノ判決ヲ受ケテ確定シタル後ニ至リ村長カ村會ノ議決ヲ違法ナリトシテ其議決ノ執行ヲ停止シタルハ本條第二項一ノ適用ヲ誤リタルモノトス(三二、二二〇)

▲町村費及雜部金ハ町村長カ管理ノ責ニ任シ收入役之カ出納ノ責ニ任スヘキモノナレハ之ヲ銀行ニ預托スル町村會ノ議決ハ違法也(三二、二二八)

▲郡會議員選舉ニ關スル事務ハ郡制第十條乃至十三條ノ規定ニ依リ當然町村長ノ職務ニ屬ス(三三、六二七)

▲村會ノ爲シタル郡長不信任ノ議決ハ性質上執行スルヲ得サルモノナレハ其執行ヲ停止ス可キ事實ノ生ズル理由ナキヲ以テ本條第二項第一號ニ依リ行政訴訟ヲ提起スルヲ得サル

モノトス(三四、五二八)

▲町村長カ官吏ノ任免、職責ニ關シ是非ノ言議ヲ挿ムカ如キハ職權ノ在ル所ヲ願ミサル所爲ナリトス(三四、五二八)

▲町村長カ適法ナル郡長ノ訓戒書ヲ不當ナリトシテ返戻シタルハ職務上遵守ノ義務ニ背キタルモノトス(同上)

▲郡會ノ權限ハ郡制ニ規定セル範圍内ニ限ルモノトス郡會カ越權ノ議決ヲ爲シタルトキハ郡制第七十五條ニ依リ郡長ハ其ノ執行ヲ停止スルコトヲ得縣會ニ於テ議決シタル土木費ノ取消ヲ內務大臣ニ請願セゾトヲ郡會カ議決シタルハ越權ナリ(二五、四、一九)

▲豫算ノ發案權ハ郡長ニノミ屬ス發案事項ニ屬スル費額ノ存廢増減ヲ議スルニ止ラス原案以外ノ一項ヲ新設スルカ如キハ即チ郡會ノ修正權ノ範圍ヲ超越シタルモノニシテ即チ越權ナリ(二八、七三)

▲郡會カ郡立學校建築費豫算案ヲ議決スルニ當リ校舍ノ位置ニ付キ條件ヲ附シタル場合ニ於テ郡長カ郡制第七十五條ニ依リ再議ヲ命シテ其ノ條件ヲ删除セシメントスルニハ更ニ該豫算案ヲ提出スヘキモノトス(三〇、一三三)

▲郡制第七十五條ニ依リ裁決ヲ請ヒタル事件ニ對シテハ府縣知事ハ其議決ノ可否ヲ裁決スルニ止マリ進テ原案ヲ執行ヲ命スルコトヲ得ス(三一、一〇六)

▲編者曰ク、舊郡制第七十五條ハ町村制第六十八條第二項第一號ノ規定ニ相當ス
▲歳入出豫算議案ト縣稅營業稅雜種稅課目課額議案トハ固ト各個獨立ノ議案ナルカ故ニ其課目課額議案ニ於テ修正増補ヲ爲シタル理由ヲ以テ縣會ニ於テ知事ノ發案ヲ待タス豫算案ニ第十一項雜覽所稅ヲ挿入議決シタルハ其權限ヲ超ヘタルモノトス(三二七、一〇)

▲水利組合管理者カ訴訟代理人ヲ選任スルノ議案ヲ提出セシニ組合會カ代理人其ノ人ヲ指名シテ議決ヲ爲シタルハ原案以外ニ渉ル事項ナルヲ以テ越權ナリ(水利組合條例(三三、一一、二八))

第六十九條

町村長ハ法律命令ニ從ヒ左ノ事務ヲ管掌ス

一 司法警察補助官タルノ職務及法律命令ニ依テ其管理ニ關スル地方警察ノ事務但別ニ官署ヲ設ケテ地方警察事務ヲ管掌セシムルトキハ此限ニ在ラス

二 浦役場ノ事務

三 國ノ行政並ニ府縣郡ノ行政ニシテ町村ニ屬スル事務但別ニ吏員ノ設ケアルトキハ此限ニ在ラス
右三項中ノ事務ハ監督官廳ノ許可ヲ得テ之ヲ助役ニ分掌セシムルコトヲ得

本條ニ掲載スル事務ヲ執行スルカ爲メニ要スル費用ハ町村ノ負擔トス

▲郡長ハ教育事務ニ關シテ何時ニテモ町村長ニ對シ報告ヲ命スルノ職權ヲ有ス(三三、一、一一)

▲郡長ハ郡書記ヲシテ町村長ニ對スル命令ヲ發セシムルコトヲ得(同上)

第七十條 町村助役ハ町村長ノ事務ヲ補助ス

町村長ハ町村會ノ同意ヲ得テ助役ヲシテ町村行政事務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得
助役ハ町村長故隙アルトキ之ヲ代理ス助役數名アルトキハ上席者之ヲ代理ス可シ

▲本條第一項ニハ單ニ町村助役ハ町村長ノ事務ヲ補助スト在ルヲ以テ其事務カ町村固有ノ事務ナルト否トニ拘ラス町村助役ハ總テ町村長ノ事務ヲ補助ス可キモノトス(三三、六、一 同二、九)

▲本條第二項ニ因リ町村行政事務ヲ分掌スル助役ト雖モ第一項ニ因リ町村長ノ事務補助ノ職務ナキモノト云フヲ得ス(三三、六、一)

▲助役ニ於テ郡會議員選舉事務ヲ分掌シ居ルモ元來選舉事務ハ町村長固有ノ職務ニ屬スルヲ以テ何時ト雖モ助役ノ分掌ヲ解キ已レ自ラ之ヲ取扱フコトヲ得ルモノナレハ助役分掌ノ事實アルヲ以テ町村長ハ選舉事務ニ關係ナシト云フヲ得ス(三三、七、四)

第七十一條 町村收入役ハ町村ノ收入ヲ受領シ其費用ノ支拂ヲ爲シ其他會計事務ヲ掌ル

▲府縣稅徵收法第八條ニ依リ納稅者ヨリ納入シタル地方稅金ヲ管理スルハ町村收入役ノ任務トス(二五、一〇、二〇)

▲收入役ノ代務者ヲ置クハ本條ノ規定ニ背反ス(二八、五、一四)

▲收入役代務者ノ資格ヲ以テ領收シタル金員ハ其領收者ノ屬スル町村役場ノ收入ニ販シタルモノナリ(同上)

▲收入役代務者カ其受領ノ金員ヲ費消シタルトキハ之カ使役者タル收入役ニ於テ其責任ヲ

免ル可ラス(同上)

▲收入役及書記ハ其職務ヲ帶ヒテ他ニ出張スルノ必要アルモノトス(三〇、四、八)

▲町費及雜部金ハ町村長之カ管理ノ責ニ任シ收入役之カ出納ノ責ニ任スヘキモノナレハ之ヲ銀行ニ預托スル町會ノ議決ハ違法也(三三、二二、一八)

▲町村收入役ハ本條ノ規定ニ依リ其職務ヲ執行スルモノニシテ役場ノ處務規程中反對ノ規定アルカ又ハ郡長若シハ村長ヨリ特ニ郡會議員選舉事務ノ取扱ヲ命セラレタル場合ニアラサレハ其選舉事務ニ關係スヘキモノニ在ラス(三三、二一、一六)

第七十二條 書記ハ町村長ニ屬シ庶務ヲ分掌ス

▲收入役及書記ハ其職務ヲ帶ヒテ他ニ出張スルノ必要アルモノトス(三〇、四、八)

▲町村書記ハ元來町村長ニ從屬シテ庶務ニ從事スヘキ吏員ニシテ町村長ノ指揮ニ依リ何レノ事務ヲモ取扱フヘキモノナレハ郡會議員選舉ノ際他ノ事務ヲ分掌シタリトスルモ町村長ノ指揮ヲ受クシレハ何時ニテモ選舉事務ニ關係セサルヘカラサルヲ以テ其職務ノ性質上既ニ該選舉事務ニ關係ナキ吏員ト云フヲ得ス(三三、二二、七)

▲町村ノ書記ハ本條ニ依リ町村長ノ指揮ノ下ニ事務ヲ分掌スルモノナレハ其命令ヲ受ケテ町村稅滯納處分ヲ爲スモ之ヲ違法ト謂フヲ得ス(三四、四、二二)

第七十三條 區長及其代理者ハ町村長ノ機關トナリ其指揮命令ヲ受ケテ區内ニ關スル町村長ノ事務ヲ補助執行スルモノトス

▲本條ノ補助執行事務ハ町村固有ノ事務ナルト否トニ拘ラス區長ハ町村長ノ職務ヲ補助ス可キ職責ヲ有シ隨テ其區内ニ關スル郡會議員選舉事務ニ付テモ亦町村長ノ事務ヲ補助執行ス可キモノトス(三四、二〇、一六)

第七十四條 委員(第六十五條)ハ町村行政事務ノ一部ヲ分掌シ又ハ營造物ヲ管理シ若クハ監督シ又ハ一時ノ委託ヲ以テ事務ヲ處辨スルモノトス

委員長ハ委員ノ議決ニ加ハルノ權ヲ有ス助役ヲ以テ委員長ト爲ス場合ニ於テモ町村長ハ臨時委員會ニ出席シテ其委員長ト爲リ並ニ其議決ニ加ハルノ權ヲ有ス

常設委員ノ職務權限ニ關シテハ町村條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第三款 給料及給與

第七十五條 名譽職員ハ此法律中別ニ規定アルモノヲ除クノ外職務取扱ノ爲メニ要スル實費ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

實費辨償額、報酬額及書記料ノ額(第六十三條第一項)ハ町村會之ヲ議決ス

▲褒賞ハ職員ノ特別勤勞ニ對シ給與スルモノニシテ即チ給料ノ一種ナリ故ニ書記以下ノ賞與金ヲ豫算ニ編入スルモ違法ニアラス(二八、九、三〇)

▲町村制第七十五條ハ町村制第三章町村ノ行政ニ關スル規定中ノ一ニシテ同章第一款以下ハ總テ町村吏員ニ關スル規定ナリ然シテ同條ニ所謂職務取扱ヒノ爲メニ要スル實費トハ町村長、助役、區長、區長代理者、委員等町村ノ名譽職員方其行政職務ヲ取扱フ爲メニ要スル實費ヲ云フ法意ニシテ町村會議員ハ同條ノ名譽職員中ニ包含セサルモノトス故

ニ町村會議員ニ實費ヲ給與スルヲ得ス(三〇、四、八及三二、六、一四)

▲町村ノ名譽職ヲ擔任スルハ全ク町村公民ノ義務ニシテ此義務タル原來無給ニシテ實費辨償ノ如キモ特ニ之ヲ給與スルノ規定アルニ在ラサレハ之ヲ受ルコトヲ得サルモノナリ(同上)

▲村税豫算中ニ村會議員實費辨償額ノ項目アルコトヲ不當トシ之カ取消ヲ請求スル事件ニ關シ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(三二、二、二五)

第七十六條 有給町村長有給助役其他有給吏員及使丁ノ給料額ハ町村會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ム

町村會ノ議決ヲ以テ町村長及助役ノ給料額ヲ定ムルトキハ郡長ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス郡長ニ於テ之ヲ許可ス可カラスト認ムルトキハ郡參事會ノ議決ニ付シテ之ヲ確定ス

▲收入役ノ給料ヲ議決シタルトキハ本條ニ依リ許可ヲ受クルコトヲ要ス(二六、二、一八)

▲褒賞ハ職員ノ特別勤勞ニ對シ給與スルモノニシテ即チ給料ノ一種ナレハ豫算表中雜給ノ項ニ其科目ヲ設クルモ違法ノ歳出ニ在ラス(二八、九、三〇)

▲收入役缺員ノ爲メ監督官廳ノ許可ヲ得テ一時助役ニ於テ之ヲ兼掌スルモ何時專任收入役ヲ設クルヤ知ル可ラサルヲ以テ該收入役ノ給料ヲ定メ置クハ必要ノ豫算科目ナリ(同上)

▲有給吏員ノ旅費ハ第八十八條ノ所謂町村ノ必要ナル支出ニ屬スルヲ以テ其支出ニ關シテ町村條例ノ規定ニ依ルコトヲ要セス(三〇、四、八)

▲助役ハ町村長ノ事務ヲ補助スル外尙町村行政事務ノ一部ヲ分掌スル場合アレハ其職務ヲ

執行スルニ當リ出張ヲ要スルトキ其旅費ハ別ニ之ヲ支給スヘキハ當然ニシテ必ス町村長ノ實費辨償額中ヨリ支給スルヲ要スルモノニ在ラス(同上)

▲有給吏員ニ對スル旅費ヲ村税豫算額ニ編入シ村會ニ於テ之カ賦課ノ議決ヲ爲シタルハ違法ニアラス(同上)

第七十七條 町村條例ノ規定ヲ以テ有給吏員ノ退隱料ヲ設クルコトヲ得

第七十八條 有給吏員ノ給料退隱料其他第七十五條ニ定ムル給與ニ關シテ異議アルトキハ關係者ノ申立ニ依リ郡參事會之ヲ裁決ス其郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

▲給料其他給與ニ關スル異議ニ非ラスシテ給料其他支給ヲ受クヘキ金員ノ拂渡ヲ請求スル場合ハ行政訴訟ヲ提起シ得ヘカラス(二四、一〇、一九)

▲本條ノ規定ハ實費辨償額ノ給與處分ニ關シ出訴ヲ許シタルモノニシテ實費辨償額ノ支給規則ヲ定メタル町村會ノ議決ニ對シ出訴ヲ許シタルモノニ在ラス(三四、二、一)

第七十九條 退隱料ヲ受クル者官職又ハ府縣郡市町村及公共組合ノ職務ニ就キ給料ヲ受クルトキハ其間之ヲ停止シ又ハ更ニ退隱料ヲ受クルノ權ヲ得ルトキ其額並退隱料ト同額以上ナルトキハ苗退隱料ハ之ヲ廢止ス

第四十條 給料退隱料報酬及辨償等ハ總テ町村ノ負擔トス

第四章 町村有財産ノ管理

第一款 町村有財産及町村税

第八十一條 町村ハ其不動産積立金銀等ヲ以テ基本財産ト爲シ之ヲ維持スルノ義務アリ

第四章 町村有財産ノ管理 第二款 町村有財産及町村税 (第七十七、八、九、八十條)九十七

臨時ニ收入シタル金數ハ基本財産ニ加入スヘシ但寄附金等寄附者其使用ノ目的ヲ定ムルモノハ此限ニ在ラス

▲郡參事會ノ許可ヲ受ケスシテ町村會ノ基本財産ノ處分ニ關スル町村會ノ議決ヲ執行セシトキハ其執行ヲ取消ス可シ(二六三、一七)

▲凡ソ市ニ於テ金員ヲ蓄積シ一種ノ財産ヲ有セントセハ本條ノ規定ニ依リ其目的ノ市税不足ノ補充ニ在ルト否トヲ問ハス必ス之ヲ基本財産トシテ維持セサルヘカラス市制ハ基本財産ヲ措テ他ニ準備金ト稱スル特種ノ市有財産ナルモノヲ認メサルナリ(二六、七、一〇)

▲凡ソ市ノ收入ヲ以テ支出ニ充テ、仍ホ剩餘アルトキハ二十二年內務省令第二號ニ依リ之カ處分ヲ爲サ、ルヘカラス即チ基本財産トナサシテ年度内ニ之ヲ支出セントセハ豫備費ノ名稱ヲ付スル等省令ノ範圍内ニ於テ處分法ヲ選定セサルヘカラス(同上)

▲基本財産タル金圓ノ貸附ハ第二百二十七條第二號ノ處分ノ範圍ニ含有セサルカ故ニ之カ議決ヲ執行スルニ郡參事會ノ許可ヲ受クルヲ要セスト町村會ニ於テ議決シタルハ越權也何トナレハ議決ノ執行ニ就キ監督官廳ノ許可ヲ受クルト否トハ町村長タル執行者ノ義務ニ屬スルコトニシテ町村會ハ之ヲ論スルノ權ナキモノナレハナリ(二七、二八)

▲地方學事通則ノ規定ニ基キテ學校基本財産ヲ設クルハ既設ノ學校ノミニ限ラス將來設置セントスル學校ノ爲ニモ亦之ヲ設クルコトヲ得(三三、一〇三三、五件)

▲第八十二條 凡町村有財産ハ全町村ノ爲メニ之ヲ管理シ及ヒ共用スルモノトス但特ニ民法上ノ權利ヲ有スル者アルトキハ此限ニ在ラス

▲往古設置シ爾來十數年間其費用ヲ以テ維持保存シ來リタル用水路ハ其川床官有地ナルモ天然ノ物ト異ナリ町村制ニ所謂營造物ナリトス(二五、六、四)

▲郷民各自ノ所有權ヲ主張スル事件ニ關シ法律敕令中行政訴訟ヲ訴スノ規定ナシ(二五、一一、一〇)

▲本條及第六條ニ町村有財産ヲ共用云々トアルハ即チ町村住民共同ノ使用權ヲ規定シタルモノナルヲ以テ第五條ニ依リ訴訟認テ爲スコトヲ得ベシ(二六、一、一七)

▲第八十三條 舊來ノ慣行ニ依リ町村住民中特ニ其町村有ノ土地物件ヲ使用スル權利ヲ有スル者アルトキハ町村會ノ議決ヲ經ルニ非サレハ其習慣ヲ改ムルコトヲ得ス

▲第八十四條 町村住民中特ニ其町村有ノ土地物件ヲ使用スル權利ヲ得ントスル者アルトキハ町村條例ノ規定ニ依リ使用料若クハ一時ノ加入金ヲ徵收シ又ハ使用料加入金ヲ共ニ徵收シテ之ヲ許可スルコトヲ得但特ニ民法上使用ノ權利ヲ有スル者ハ此限ニ在ラス

▲第八十五條 使用權ヲ有スル者(第八十三條、第八十四條)ハ使用ノ多寡ニ準シテ其土地物件ニ係ル必要ナル費用ヲ分擔ス可キモノトス

▲第八十六條 町村會ハ町村ノ爲メニ必要ナル場合ニ於テハ使用權(第八十三條、第八十四條)ヲ取上ケ又ハ制限スルコトヲ得但特ニ民法上使用ノ權利ヲ有スル者ハ此限ニ在ラス

▲第八十七條 町村有財産ノ賣却貸與又ハ建築工事及物品調達ノ請負ハ公ケノ入札ニ付ス可シ但臨時急施ヲ要スルトキ及入札ノ價額其費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ町村會ノ認許ヲ得ルトキハ此限ニ在ラス

▲第八十八條 町村ハ其必要ナル支出及從前法律命令ニ依テ賦課セラレ又ハ將來法律勅令ニ依テ賦課セラル、支出ヲ負擔スルノ義務アリ

町村ハ其財産ヨリ生スル收入及使用料手数料(第八十九條)並料料過意金其他法律勅令ニ依リ町村ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ猶不足アルトキハ町村税(第九十條)及夫役現品(第一百一條)ヲ賦課徴收スルコトヲ得

▲本條ニ依リ町村ニ於テ負擔スル支出ハ町村ニ缺クヘカラサル要費ヲラサル可カラス裁判所建築費ノ如キハ專ラ國庫ノ負擔ニ屬スルモノナルヲ以テ其寄附ヲ目的トスル費用ハ之ヲ町村必要ノ支出ト云フヘキモノニ在ラス(二五、一〇、二〇)

▲村長カ村會ノ議決ニ從ヒテ爲シタル職務上ノ行爲ニ基因スル訴訟ノ費用ハ其村ノ負擔ニ歸スヘキモノトス(二六、四、八及二七、五、一四)

▲市町村ノ教育ハ法律勅令ノ規定ニ固リ其行政事務ニ屬スルモノナルヲ以テ之ニ要スル費用モ市税町村税トシテ徴收スヘキハ當然ナリ(二六、六、二七)

▲鐵道敷設ニ關シ有志人民ノ爲ス請願ノ費用ヲ補助スル爲メノ支出ハ本條ニ所謂必要ナル支出ニ該當セス(二六、七、六)

▲小學校令第三十六條(新小學校令第十四條第一項)ニ市町村ハ府縣知事ノ許可ヲ受ケ高等小學校ヲ設置スルコトヲ得トアリテ他ニ別段ノ規定アラサレハ他村ノ生徒ニ入學ヲ許スモ違法ナリト謂フヲ得ス隨テ之カ爲メ學校費ノ増加ヲ來シタルコトアリトスルモ村民ハ其費用ノ負擔ヲ免ルヲ得ス(二八、九、三〇)

▲補習科ニ二年生ノ爲メニ學級ヲ設ケ事實高等科三四年ニ該當スル學科ヲ教授シ之カ爲メ要スル一名ノ教員ヲ特ニ配置シタルハ補習科設置ノ旨趣及之ニ關スル其規則ニ照スニ其

當ヲ得タルモノニアラス故ニ右教員ノ給料ニ要シタル費用ハ村税トシテ分擔セシムルヲ得サルモノトス(同上)

▲市町村ノ爲スヘキ措置ニ屬スル費用ハ市町村ノ負擔トス(二九、二、一七)

▲府縣知事ハ法律命令ノ範圍内ニ於テ部内ノ行政事務上必要ナル縣令ヲ發スルヲ得ルハ地方官官制ノ明文ニ基ク所ニシテ而シテ清潔法ノ施行ハ一時ト永久トヲ問ハス傳染病ノ豫防ヲ主眼トスルモノナルヲ以テ其費用ハ二十七年敕令第十四號第一條ノ二職務ニ要スル費用ニ屬シ市町村ニ於テ當然之ヲ負擔セサル可ラス(同上)

▲町村カ縣道改修ノ爲メニスル寄附金ハ町村制第二條ニ所謂町村公共ノ事務ニ該當スル必要ノ支出ナリ(二九、五、二六、二件)

▲公共ノ事務ニ該當スル必要費用ハ其町民各自ノ承諾ヲ要ムルコト無ク町税トシテ賦課徴收スルコトヲ得(同上)

▲有給吏員ノ旅費ハ本條ニ所謂町村ノ必要ナル支出ニ屬ス(三〇、四、八)

▲兵營ノ建設ハ國家ノ防備ニ屬シ自治團體ノ利益直接ノ關係ヲ有スルモノニアラス故ニ之カ爲メニ寄附ヲ爲スカ如キハ市制第二條ノ範圍ヲ超越ス依テ市制第二條ノ範圍ヲ超越シタル行爲ノ費用ハ市ノ必要ナル支出ニアラス(三一、一〇、三)

▲區裁判所用ニ供スル爲メニ家屋ヲ建築シタル費用ハ町村制第八十八條ニ所謂町村ノ必要ナル支出ニアラス(三一、一、一一)

▲町村制實施前ニアリテモ町村ノ爲メニ必要ナル支出ニアラサレハ町村會ハ之ヲ議決スルコトヲ得ス(同上)

▲町村會議員ノ實費ヲ辨償スルハ法律ノ許サ、ル所ナルヲ以テ之ヲ町村ノ必要ナル費用ナリトスル町村會ノ議決ハ無効也(三三、五、一八)

第八十九條 町村ハ其所有物及營造物ノ用使ニ付又ハ特ニ數個人ノ爲メニスル事業ニ付使用料又ハ手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第九十條 町村税トシテ賦課スルコトヲ得ヘキ目左ノ如シ

一 國稅府縣稅ノ附加稅

二 直接又ハ間接ノ特別稅

附加稅ハ直接ノ國稅又ハ府縣稅ニ附加シ均一ノ稅率ヲ以テ町村ノ全部ヨリ徵收スルヲ常例トス特別稅ハ附加稅ノ外別ニ町村限リ稅目ヲ起シテ課稅スルコトヲ要スルトキ賦課徵收スルモノトス

▲漁業稅ハ營業稅雜種稅規則(十三條第十七號布告)第二條ニ依リ地方稅ニ屬スルモノナルヲ以テ本條

ニ依リ之カ附加稅トシテ町村稅ヲ課スルモ違法ノ處置ニ在ラス(二四、三、三)

▲數町村組合共同漁場カ單ニ漁業營利ヲ目的トスルニアリテ組合内ノ或ル一村ニ屬シ且該漁場ニ對スル漁業稅モ町村組合ノ名義ヲ以テセスシテ其所屬村ノ管理ニ屬スル以上ハ該所屬村ニ於テ組合漁場ヲ他ノ一部人民ノ組合漁業ト同視シ之ニ漁業稅ノ附加稅ヲ賦課スルモ不當ニアラス(二四、三、二四)

▲市町村ノ教育ハ廿三年法律第八十九號同年敕令第二百十五號ニ依リ其行政事務ニ屬スヘ

キモノナレハ之ニ要スル費用モ亦市稅町村稅トシテ徵收スルハ當然ナリ(二六、六、二七)

▲市内ヲ數區ニ分チ又ハ市ノ一部ト村トヲ聯合シ其經濟ヲ異ニスルニ由リテ生スル結果トシテ教育費ノ徵收上稅率ニ不均一ヲ來スコトアルモ本條ノ法意ニ背クモノニアラス(同上)

▲特別稅ハ費途ノ如何ニ關スルモノニアラス而シテ如何ナル場合ニ特別ノ稅目ヲ起シ之ヲ賦課スヘキヤ否ニ付テハ法律中規定アラサルヲ以テ當該町村ニ於テ其必要ヲ認メタル場合ニ相當ノ手續ヲ經テ賦課徵收スルヲ得ルモノトス(二六、一〇、一四)

▲縣稅戶數割ノ均一額ヲ負擔シタル村會ニ於テ縣稅賦課方法ノ許ス所ニ因リ等級ヲ議定スルハ各自ノ貧富ニ應シ公平ヲ求ムルニ外ナラサレハ之カ爲メ各自ノ納稅額ニ多少ヲ生スルハ均一ノ稅率ヲ變更スルモノト云フヲ得ス隨テ之ニ附加スル場合ニ於テ均一ノ稅率ニ基キ議定ノ等級ニ從テ算出シタル各自ノ納稅額ハ本條第二項ニ背反スルモノニ在ラス(二六、一、二五)

▲國稅トシテ徵收スルモノハ間接國稅ナルモ府縣稅トシテ徵收スルモノハ直接府縣稅ナル場合其間接國稅ニ附加スルニ在ラスシテ直接府縣稅ニ町村稅ヲ附加セントスルモノナルトキハ第百二十六條第四號ノ規定ニ據ルヲ要セス(二六、一、三〇)

▲町村内ノ一部一區ニ賦課スル費用モ亦町村稅ナリトス(二九、五、二及同六、三〇)

▲區費タル學校費及工木費ハ即チ町村稅地價割戶數割ニシテ直接町村稅ニ屬ス(同上)

▲土地收用法ニ依リテ土地ヲ收用シタル私立鐵道會社ニ對シ町村税賦課條例中ニ「土地建物ヲ讓受タル者」ト在ル規定ヲ適用シテ町村税(歩一税)ヲ賦課シタルハ不當ニ在ラス(三〇六、三〇)

▲町村税賦課ノ標準ヲ定ムル爲メ土地收用法ニ依リテ土地ノ價格トシテ其登記ヲ爲セシ金高ヲ以テシタルハ不當ニ在ラス(同上)

▲町村税附加税ハ其附加スヘキ租税ノ税率ニ據リ賦課スヘキモノナルニ依リ戸別割ニシテ其主税タル縣稅戶數割ノ税率ニ據ラヌ町村限リ特ニ等級ヲ設ケ一種ノ税率ヲ定メタルモノナルトキハ之ヲ不均一ノ税率ヲ以テ賦課スル附加税ナリト云フヲ得ス(三〇、二、一八)

▲國稅營業稅ハ之ヲ課スル標準タル固定資本運轉資本等ニ依ルト雖モ資本自體ニ課スルニ在ラスシテ營業其モノニ對シ課スルモノナリ之ニ反シ府縣稅雜種稅タル物件稅ノ如キハ營業其モノニ何等ノ關係ナク單ニ物件自體ニ課スルモノニシテ彼此ノ間其性質大ニ異ナル所アレハ之ヲ以テ二重ノ課稅ト云フヲ得ス(府縣稅ノ賦課(三三、九、二八))

第九十一條 此法律ニ規定セル條項ヲ除クノ外使用料手数料(第八十九條)特別稅(第九十條第一項第一及從前ノ町村費ニ關スル細則ハ町村條例ヲ以テ之ヲ規定ス可シ其條例ニハ科料一圓九十五錢以上ノ罰則ヲ設ケルコトヲ得科料ニ處シ及之ヲ徵收スルハ町村長之ヲ掌ル其處分ニ不服アル者ハ令狀交付後十四日以内ニ司法裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第九十二條 三箇月以上町村内ニ滞在スル者ハ其町村税ヲ納ムルモノトス但其課稅ハ滞在ノ初ニ遡リ徵收ス可シ

第九十三條 町村内ニ住居ヲ構ヘス又ハ三箇月以上滞在スルコトナシト雖モ町村内ニ土地家屋ヲ所有シ又ハ營業ヲ

爲ス者(店舗ヲ定メサル行商ヲ除ク)ハ其土地家屋營業者クハ其所得ニ對シテ賦課スル町村税ヲ納ムルモノトス其法人タルトキモ亦同シ但郵便電信及官設鐵道ノ業ハ此限ニ在ラス

▲他府縣ノ者カ其縣内ニ工業受負業ノ出張所ヲ設ケ事務員ヲ置キタル事實明白ナル以上ハ府縣制第五十九條(新府縣制第六六條)ニ所謂店舗ヲ定メテ營業ヲ爲シタルモノト認メサルヲ得ス(二九、二、七)

▲甲町村ハ乙町村ニ居住スル者ハ甲町村内ニ有スル土地ヨリ生スル所得ニ對シテ町村税ヲ賦課スルコトヲ得(三二、二、二五)

▲附加税ヲ賦課スルハ其主税納付者居住地ノ町村ニ限ルトノ規定ナシ(同上)

▲本條ノ規定ハ一定ノ場所ニ於テ營業ヲ爲スモノ(店舗ヲ定メサル)ニハ總テ町村税ヲ賦課シ得ルモノニシテ其營業所ハ營業者ノ本據タルト否ヤトヲ區別スルノ必要ナシ故ニ其町村内ニ於テ停車場ヲ設ケ運送業ヲ營ム會社ハ該町村税ヲ賦課セラレ、ノ義務アルモノトス(三四、二、一三)

▲本條ニハ單ニ所得トアリテ總收入ヨリ資本費用ヲ控除シタル殘額ヲ指シタルモノト云フヲ得サルヲ以テ停車場總收入ニ對シテ課稅スルモ違法ニ在ラス(同上)

第九十四條 所得稅ニ附加税ヲ賦課シ及町村ニ於テ特別ニ所得稅ヲ賦課セントスルトキハ納稅者ノ町村外ニ於ケル所有ノ土地家屋又ハ(營業店舗ヲ定メサル行商ヲ除ク)ヨリ收入スル所得ハ之ヲ控除ス可キモノトス

▲納稅者ノ居住町村外ニ於ケル所得ニ對シテハ其居住地ニ於テ町村税ヲ賦課スルコトヲ得

第四章 町村有財産ノ管理 第一款 町村有財産及町村税 (條九十五、六、七、八九條)百六
ザルモノトス(三三、三二、二五)

▲原告ハ某停車場ノ收入ハ其所在町村内ノミニ於ケル營業ヨリ生スルモノニアラスト云フ
モ該停車場ニ於テ其營業ヨリ收入シタルモノハ總テ該町村内ニ於ケル營業ヨリ收入シタ
ルモノト云ハサルヘカラス隨テ收入總額ニ課税スルモ本條ノ規定ニ背反セス(三四、二二、一
三)

第九十五條

數市町村ニ住居ヲ構ヘ又ハ滞在スル者ニ前條ノ町村税ヲ賦課スルトキハ其所得ヲ各市町村ニ平分シ其
一部分ニノミ課税ス可シ但土地家屋又ハ營業ヨリ收入スル所得ハ此限ニ在ラス

第九十六條

所得税法第三條ニ掲ケル所得ハ町村税ヲ免除ス

第九十七條

- 左ニ掲ケル物件ハ町村税ヲ免除ス
- 一 政府府縣郡市町村及公共組合ニ屬シ直接ノ公用ニ供スル土地、營造物及家屋
- 二 社寺及官立公立學校病院其他學藝、美術及慈善ノ用ニ供スル土地、營造物及家屋
- 三 官有ノ山林又ハ荒蕪地但官有山林又ハ荒蕪地ノ利益ニ係ル事業ヲ起シ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ得テ其費
用ヲ徴收スルハ此限ニ在ラス

新開地及開墾地ハ町村條例ニ依リ年月ヲ限リ免税スルコトヲ得

第九十八條

前二條ノ外町村税ヲ免除ス可キモノハ別段ノ法律勅令ニ定ムル所ニ從フ皇族ニ係ル町村税ノ賦課ハ迫
テ法律勅令ヲ以テ定ムル迄現今ノ例ニ依ル

▲私設鐵道用地ノ收用ニ付キ町村税ヲ免除スルノ法令ナシ(三〇、六、三〇)

第九十九條

數個人ニ於テ專ラ使用スル所ノ營造物アルトキハ其修築及保存ノ費用ハ之ヲ其關係者ニ賦課ス可シ
町村内ノ一部ニ於テ專ラ使用スル營造物アルトキハ其部内ニ住居シ若クハ滞在シ又ハ土地家屋ヲ所有シ營業(店

舖ヲ定メサル行商ヲ除ク)ヲ爲ス者ニ於テ其修築及保存ノ費用ヲ負擔ス可シ但其一部ノ所有財産アルトキハ其收
入ヲ以テ先ツ其費用ニ充ツ可シ

▲大字全體ニ於テモ利益ヲ享受セサル堤防修築費ハ其大字全體ニ賦課スヘキモノニ在ラス
シテ事實利害關係アル其一部ノミニ賦課スヘキモノトス(二五、一、二二)

▲町村ノ某區ニ專屬スル水路營造物ノ維持保存ニ必要ナル費用ハ本項ニ依リ其區ニ於テ
負擔スルハ當然ナリ(二五、六、四)

▲道路カ全村ノ中央ヲ貫キタル要路ニシテ村全部ノ使用ニ供スルモノタル以上ハ單ニ其通
過スル地方ナル大字一部ノ専用ニ屬スルモノト云フヲ得ス既ニ町村内ノ一部ニ於テ専用
スル道路(營造物)ノ費用ニ在ラストスレハ本條ヲ適用スヘキ限ニアラサル也(二五、二二、
九)

▲本條第二項ニ依リ町村内ノ一部ニ賦課スル區費モ亦町村税ナリトス何トナレハ第九十條
ハ町村税ノ原則ヲ示シ本條ハ屬別ヲ示シタルモノナレハ也(二九、五、三二)

▲町村内ノ一區ニ於テ古來某堤防ヲ區全體ノ公共營造物ト爲シ修築保存シ敢テ沿岸土地所
有者ノ隨意修築ニ一任シタルコトナク村費又ハ區費トシテ該堤防費ヲ賦課シ來リタル事
實明瞭ナル以上ハ其區内ニ土地ヲ所有スルモノハ一般該堤防費ノ負擔ニ任スヘキハ勿論
ニシテ自己カ特ニ所有地防禦ノ爲メ自ラ其周圍ニ小堤防ヲ設備シタル等ノ如キハ全ク己
ノ便宜ニ出テタルモノナレハ之ヲ以テ該堤防ニ付キ利益ノ關係ナシト主張シ本條ノ賦課

ヲ拒ムヲ得ス(二九、二二、二八)

▲官有ノ堤塘ニシテ且其修築費モ縣税ノ負擔ニ屬スルモノナルトキハ町村又ハ區ノ營造物ト云フコトヲ得ス故ニ之カ修築保存ノ費用ヲ本條第二項ニ依リ賦課スルコトヲ得ス(三一、二、一九)

▲町村中區内ノ一部ニ於テ専ラ使用スル井筋(營造物)ノ修築保存ノ費用ハ本條第二項ニ依リ其專用ノ一部ニ於テ負擔スヘキモノニシテ之ヲ區民全體ニ賦課スルコトヲ得サルモノトス(三三、二、二七)

▲費用賦課ニ付キ慣行アルモ町村制ノ規定ニ對抗スルコトヲ得ス(同上)

▲村内某部落ノ其沿岸堤塘ノ決潰スルコトアルモ水害地ノ部落ニ及ハサル等ノ事實ナルトキハ其堤塘ハ某部落ニ於テ専ラ使用スル營造物ナリト謂ハサルヲ得ス故ニ其費用ヲ某部落ノミニ對シ賦課スルモ違法ニ在ラス(三三、二、二八)

▲一村全體カ堤防ノ利益ヲ受クルヤ將タ一部落ノミカ其利益ヲ受クルヤハ其目的トシタル通常ノ出水ニ依テ決定スヘク非常ノ供水ヲ以テ決定スヘキモノニ在ラス(同上)

▲堤塘ハ水害豫防ノ爲メ人工ヲ以テ築設シタルモノニシテ即チ町村ノ營造物ナリ(同上)

第百條 (削除)

第百一條 町村公共ノ事業ヲ起シ又ハ公共ノ安寧ヲ維持スルカ爲メニ夫役及現品ヲ以テ納税者ニ賦課スルコトヲ得但學藝美術及手工ニ關スル勞役ヲ課スルコトヲ得ス

夫役及現品ハ急迫ノ場合ヲ除クノ外直接町村税ヲ準率ト爲シ且ツ之ヲ金額ニ算出シテ賦課ス可シ夫役ヲ課セラレタル者ハ其便宜ニ從ヒ本ハ自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得又急迫ノ場合ヲ除クノ外金額ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

▲本條ノ夫役割ハ地方税ノ補助ヲ受クルヲ得サルモノニ在ラス(二五、二、九)

▲本條ハ急迫ナル場合若クハ尋常ナラサル場合ノミニ限リテ適用スヘキモノナリト云フヲ得ス(同上)

▲夫役ハ金額ニ算出シテ賦課徵收スルモ一般町村税ト其性質ヲ異ニスルヲ以テ第十三條ノ直接町村税ノ納額ニ算入スヘキモノニ在ラス(二九、四、四)

▲夫役割ハ即チ町村税ナルヲ以テ其賦課ヲ不當トスルトキハ第十四條及第十五條ニ據ルコトヲ得(三〇、二、一九)

第百二條 町村ニ於テ徵收スル使用料手数料(第八十九條)町村税(第九十條)夫役ニ代フル金額(第百一條)共有物使用料及加入金(第八十四條)其他町村ノ收入ヲ定期内ニ納メサルトキハ町村長ハ之ヲ督促シ猶之ヲ完納セザルトキハ國稅滯納處分法ニ依リ之ヲ徵收ス可シ其督促ヲ爲スニハ町村條例ノ規定ニ依リ手数料ヲ徵收スルコトヲ得納税者中無資力ナル者アルトキハ町村長ノ意見ヲ以テ會計年度内ニ限リ納稅延期ヲ許スコトヲ得其年度ヲ越セル場合ニ於テハ町村會ノ議決ニ依ル

本條ニ記載スル徵收金ノ追徵期滿得免及先取特權ニ付テハ國稅ニ關スル規則ヲ適用ス

▲納稅ノ督促手續ニ關シテ異議ヲ主張スル事件ハ二十三年法律第百六號第二ニ所謂租稅滯納處分ニ關スル事件ニ該當セス(二六、五、四)

▲町村税ノ滞納處分ハ町村長タルモノ自ラ差押ノ手續ヲ爲スヲ以テ足ルモノナレハ國稅滞納處分法第十二條(國稅徵收法第十一條)ニ依リ地方長官ノ命令書ヲ要スルモノニアラス(二六、七、五)

▲質入書入財産ヲ差押ヘ公賣ニ付スル場合ニ於テ各債主ニ對スル通知ノ有無ハ負債主ナル被差押者ノ權利ニ何等ノ影響ヲ及スモノニアラス故ニ該通知ヲ爲サルトノ申立ヲ以テ公賣不當ノ理由トナスヲ得ス(同上)

▲買受望人出場遅刻ノ爲メ公賣時刻遷延シタリトテ違法ノ處置ト云フヲ得ス(同上)

▲國稅滞納處分法第三十二條(國稅徵收法施行規則第三十三條)ノ所謂收入官吏タル町村長ニ於テ物件ノ價格ヲ豫定スルハ其認定ニ依ルモノナレハ被滞納處分者ニ於テ該豫定價額ヲ不當ナリト主張スルヲ得ス(同上)

▲徵稅ノ督促令狀ヲ受ケシノミニシテ未タ滞納處分ヲ受ケサルモノハ廿三年法律第百六號ニ依リ出訴スルヲ得ス(二八、三、五)

▲村長カ財産差押ノ處分ヲ爲シタルヲ縣參事會カ無効ノ處分ナリト裁決シタルニ對シ村長ヨリ行政訴訟ヲ起スコトヲ得ルノ法令ナシ(二八、二、九)

△編者曰ク、本件ハ村長ノ滞納處分ノ結果郡會議員ノ職ヲ失セシ者ヨリ進ンテ郡參事會ニ訴願セシ場合ノ判例ナ

▲租稅賦課ニ關スル事件ニ附帶シテ督促令狀ノ取消ヲ請求スルハ不當ナリ(三〇、三、一六)

▲國稅滞納處分法ニ依リ財産ノ差押ヲ爲スニハ差押調書ヲ作製スルコトヲ要ス(三〇、一〇、一一)

▲町村税滞納處分ニ關シ地方上級行政廳ヘ訴願ノ手續ヲ爲サスシテ直ニ行政訴訟ヲ提起シタルハ手續ヲ誤リタルモノトス(三一、五、九及三二、一一、一五)

▲町村税滞納處分ニ關スル町村長ノ處分ニ對スル訴願ハ訴願法ニ依リ郡長ニ提起スヘキモノトス(三一、七、二、三件)

▲訴願書ノ宛名ニ郡參事會某トアルハ郡參事會ニ提出シタルモノト認ムルヲ相當トス(同上)

▲郡長ニ提起スヘキ訴願ヲ郡參事會ニ提起シタルハ適法ニ訴願ノ手續ヲ盡シタルモノト謂フヲ得ス(同上)

▲郡參事會ト郡長トハ各獨立ノ權限ヲ有ス(同上)

▲差押執行者ハ國稅徵收法第十三條ニ依リ税金ノ外滞納處分費ニ充ツヘキ金額ヲ見積リ差押ヲ爲スノ責任アルモノナレハ其必要ヲ認メテ爲シタル處分ハ之ヲ違法ト云フコトヲ得ス(三四、四、三三)

▲第百三條 地租ノ附加税ハ地租ノ納稅者ニ賦課シ其他土地ニ對シテ賦課スル町村税ハ其所有者又ハ使用者ニ賦課スルコトヲ得

▲第百四條 町村税ノ賦課ニ對スル訴願ハ賦課令狀ノ交付後三箇月以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツ可シ此期限ヲ經過スル

トキハ其年度内減税免稅及償還ヲ請求スルノ權利ヲ失フモノトス

▲町村税ノ賦課ニ關シテハ本條ニ依リ町村長ニ係リ出訴スルヲ得ヘキモ知事カ町村長ニ與ヘタル命令ニ對シテ起訴スルヲ得ス故ニ知事カ戶別割等級割ハ特別税ニ屬シ附加税トシテ徵收ス可キモノニ在ラスト裁決シタルニ拘ハラヌ該納税金ハ償還スルニ及ハスト町村長ニ命令シタリトテ之カ取消ヲ請求スルヲ得サルモノトス(二四三、二七)

▲日ヲ以テスル期限ノ計算ハ初日ヲ算入セサルヲ一般ノ通例トス(二九五、二六)

▲督促手續ノ當否ハ爲メニ租稅賦課ノ當否ニ對シテ影響ヲ及ホスモノニアラサレハ租稅賦課ニ關スル事件ニ附帶シテ督促令狀ノ取消ヲ請求スルヲ得ス(三〇三、一六)

▲現品賦課方法ヲ定メタルマテニシテ事實現品ノ賦課ヲ受クタルニ在ラサル者ハ未タ行政訴訟ヲ提起スルノ訴權ナシ(三〇四、二九)

▲市町村税ノ賦課ニ付テハ本條及第五條ニ依リ訴願訴訟ヲ許サレタリ而シテ同條ニ於テ爭論ノ範圍ヲ賦課ノ方法形式算數等ノ上ニ限ラサル以上ハ賦課ヲ以テ不當ナリトスル者ハ其不當ノ點カ何レニ在ルヤヲ問ハス皆盡ク之ヲ爭フコトヲ得ルモノトス(三一〇、一七、五件)

▲村税ノ賦課ニ關スル村會ノ議決ヲ取消サンコトヲ請求スルニ付行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(三一〇、一〇)

▲村税ノ賦課ニ關スル事件ニ就テハ本條ニ定メタル三ヶ月ノ期限ヲ經過スルトキハ全ク其

訴權ヲ失フモノトス(同上)

▲町村税賦課ニ對スル訴願ハ本條ニ因リ町村長ニ申立ツヘキニ之ヲ爲サスシテ直ニ上級行政廳ニ訴願ヲ提起シタルハ其手續ヲ誤リタルモノトス(三四、四、一七)

▲地方税ノ納稅義務ハ其課目課額ニ依リ定マリ豫算ハ歲計ノ見積リニ過キサレハ其増減ハ納稅義務ノ有無ニ關係ナシ故ニ納稅義務ノ有無ハ課目課額ノ定ムル處ニ依リ之ヲ決スヘキモノトス(舊府縣制)(三三六)

第五條 町村税ノ賦課及町村ノ營造物町村有ノ財産並其所得ヲ使用スル權利ニ關スル訴願ハ町村長之ヲ裁決ス但

民法上ノ權利ニ係ルモノハ此限ニ在ラス

前項ノ裁決ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會

ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルヲ得

本條ノ訴願及訴訟ノ爲メニ其處分ノ執行ヲ停止スルコトヲ得ス

▲村税ノ賦課ニ關シテハ町村制ニ依リ村長ニ係リ出訴スルヲ得ヘキモ縣知事カ町村長ニ與ヘタル命令ニ對シ起訴スルヲ得サルモノトス(二四三、二七)

▲町村税ヲ以テ支出スヘキ警衛費ハ天災事變等非常ノ災害ヲ防禦スルカ爲メ支出スヘキモノトス故ニ選舉競争ノ當時ニ於テ警衛費ヲ支出シ防禦セサルヘカラサル非常ノ災害ヲ生セントスル事實アリタリト認メ得ヘキ證左ナキニ該費用ヲ以テ村税トシ之ヲ賦課徵收シタルハ其當ヲ得タルモノニアラス(二五、二一九)

▲制第六條及第八十二條ニ所謂共用トハ町村住民共同ノ使用權ヲ規定シタルモノナルヲ以

テ共用即チ共同ノ使用權ニ關シテモ第八十三條乃至第八十六條ニ規定セル特定ノ使用權ニ關スル事件ト均シク本條訴願訴訟ヲ許シタル規定以外ニ屬スルモノニ在ラス(二六、一、一七)

▲免租地ニ村税ヲ賦課シタル處分ヲ失當ナリト裁決シタル縣知事ニ對シ村長ヨリ行政訴訟ヲ提起スルヲ許シタル法規ナシ(二六、五、二二)

▲本條ハ町村長ニ訴願シタル者カ其裁決ニ服セサル場合ニ於テ逐次訴願出訴ヲ許シタル規定ニシテ町村長ニ之ヲ許シタル規定ニアラス(二六、一〇、二〇及二八、三、二八及二九、一〇五)

▲本條ノ規定ハ町村有財産並其所得ヲ使用スル權利ニ關スル場合ニ適用ス可キモノニシテ財産ノ賣却讓與ニ關スル場合ニ適用スヘキモノニ在ラス(二八、二八)

▲町村有ノ民築新地々主權賣渡及讓渡ニ關スル區會ノ議決取消ヲ求ムル事件ニ付行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(同上)

▲本條ハ町村税ノ賦課並町村有財産等使用ノ權利ニ關シ出訴ヲ許シタル規定ニシテ區有財産ノ管理方法並其處分ニ關スル議決ノ執行順序ニ付出訴ヲ許シタル規定ニ在ラス(二九、五、二二)

▲新ニ町村ノ基本財産ト爲ル可キ金員ヲ第八條第二項ニ依リ町村長カ提出スル豫算表報告書及財産明細表ニ掲ケザリシトノコトハ町村有財産ヲ使用スル權利ヲ主張スルモノニ在ラサルヲ以テ本條ニ依リ出訴スルコトヲ得ス其他法律勅令中行政訴訟ヲ許スノ規定ナ

キモノナレハ出訴スルヲ得ス(二九、一〇、八)

▲市町村税ノ賦課ニ關スル出訴期限ハ市制第十六條第三項町村制第二十條第三項ヲ適用ス(三〇、六、八)

▲土地ヲ收用シタル私立鐵道會社ニ對シ町村條例ノ定ムル所ニ依リ町村税ヲ賦課スルコトヲ得(三〇、六、三〇)

▲夫役割ハ町税ナルヲ以テ本條ニ依リ出訴スルコトヲ得(三〇、一一、一九)

▲町村税ノ賦課ニ關シ縣參事會ニ訴願シタルニ手續違背ノ點ヲ以テ却下ノ裁決ヲ受ケ其裁決ニ對シ縣參事會ヲ對手トシテ出訴シタルハ該町村税賦課ノ處分ヲ爲シタル町村長ヲ相手取り處分取消ノ行政訴訟ヲ提起スルノ妨トナラス(同上)

▲町費ヲ不正ニ支出シタリト主張シ之カ割戻ヲ請求スル件ニ關シ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(三二、五、一〇)

▲町村ノ豫算ニ違法ノ費額アリタルモ監督官廳ノ指揮ニ依リ其費額ヲ他ノ適法ナル必要科目ニ組換ヘタル以上ハ該費額ヲ不法ノ課税ナリト主張スル訴訟ノ目的ハ消滅ニ歸シタルモノトス(三二、一一、六)

▲村税豫算中ニ村會議員實費辨償額ノ項目アルコトヲ不當トシ之カ取消ヲ請求スル事件ニ關シ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(三二、二二、二五)

▲訴願書提出ニ經由スヘキ行政廳ヲ誤リタルハ期限中斷ノ理由ト爲ラス(三三、三、一四)

- ▲ 多人數ノ訴願ハ三名以下ノ總代人ニ因リテ提出スルヲ要ス(三三、六、二七)
- ▲ 町村長カ小學校設置ニ關スル負擔區域廢止以前ニ於テ郡參事會ノ許可ヲ受ケ校舍増築費ヲ賦課シタル處置ハ負擔區域廢止ノ爲メニ不法ト爲ルモノニ在ラス(三四、五、三)
- ▲ 法定ノ期限内ニ提起シタル訴願ニ就キ口頭審論ヲ爲セシ後書面ヲ附シテ訴願ヲ返戻シタルハ即チ之ヲ却下セルモノニシテ訴願ニ對スル裁決ト認ム可キモノトス(同上)
- ▲ 村長カ工事豫算額ニ付キ村會ノ認定ヲ受ケ村稅戶別割トシテ之ヲ賦課シタル處分ヲ不法トスル訴願ニ對シ縣參事會ノ與ヘタル裁決ニ付テハ村會ニ行政訴訟ヲ許シタル法令ナシ(三四、五、二三)

▲ 某年度内ニ於テ議決シ且許可ヲ受ケタル町村税ハ之ヲ其年度經過後ニ至リ賦課スルモ未タ決算決了前ナルトキハ違法ノ賦課ト云フコトヲ得ス(三四、六、六)

第百六條 町村ニ於テ公債ヲ募集スルハ從前ノ公債元額ヲ償還スル爲メ又ハ天災時變等已ムヲ得サル支出若クハ町村永久ノ利益トナル可キ支出ヲ要スルニ方リ通常ノ歳入ヲ増加スルトキハ其町村住民ノ負擔ニ堪ヘサルノ場合ニ限ルモノトス

町村會ニ於テ公債募集ノ事ヲ議決スルトキハ併セテ其募集ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定ム可シ償還ノ初期ハ三年以内ト爲シ年々償還ノ割合ヲ定メ募集ノ時ヨリ三十年以内ニ還了ス可シ
定額豫算内ノ支出ヲ爲スガ爲メ必要ナル一時ノ借入金ハ本條ノ例ニ依ラス其年度内ノ收入ヲ以テ償還ス可キモノトス

▲ 市制第百六條一項ハ公債募集ノ目的ヲ掲ケテ其範圍ヲ定メ第百二十二條ノ一ハ第百六條

二項規定ノ負債中特ニ官許ヲ受ケヘキ場合ヲ列記シタルヲ以テ見レハ其之ヲ受クルヲ要セサルモノアリト解セザル可ラス而シテ第百二十二條ニ所謂新ニ市ノ負債ヲ起ストハ起債ノ當時負債ナキ市ニ於テ負債ヲ起ス場合ヲ云フニ止マリ舊債償還ノ爲ニスル負債ノ如キハ官許ヲ要セザルモノト謂ハサルヲ得ス(二八、五、一八)

▲ 市制第百六條二項ハ公債募集ヲ議決スルト同時ニ豫メ募集ノ方法等ヲ定ムヘシト規定シタルノミニシテ其方法如何ハ市會ノ議決權内ニ屬セシメタルモノナレハ既ニ官許ヲ經タル起債ノ方法ヲ變更スルモ償還ノ初期及終期ニシテ同條規定ノ範圍ヲ出サル限りハ官許ヲ要スヘキモノニアラズ(同上)

▲ 内務大臣兩大臣ノ許可ヲ得タル町債ノ償還年次ヲ擅ニ繰下ケタルハ兩大臣許可ノ精神ニ背キタルモノニシテ違法ノ處置也(三〇、一二、二五)

▲ 一時ノ借入金ハ其年度内ノ收入ヲ以テ償還スヘキモノトス(三二、二、六)

第二款 町村ノ歳入出豫算及決算

第百七條 町村長ハ毎會計年度歳入支出ノ豫知シ得可キ金額ヲ見積リ年度前二箇月ヲ限リ歳入出豫算表ヲ調製スヘシ但町村ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

内務大臣ハ省令ヲ以テ豫算表調製ノ式ヲ定ムルコトヲ得

- ▲ 收入役欠員中監督官廳ノ許可ヲ受ケ一時助役ヲシテ之ヲ兼掌セシメタル場合ハ何時專任
- ▲ 收入役ヲ置クモ知ルヘカラサルヲ以テ豫算中ニ收入役ノ給料ヲ設ケ置クハ必要ノ豫算科

目ニシテ不當ノ歳出ト云フヘカラス(二八、九、三〇)

▲豫算ハ歳計ノ見積ニ過キサルモノトス(三三、一、二六)

▲某年度内ニ於テ議決シ且許可ヲ受ケタル町村税ハ之ヲ其年度經過後ニ至リ賦課スルモ未
タ決算終了以前ナルトキハ違法ノ賦課ト云フコトヲ得ス(三四、六、六)

▲會計法ハ政府ノ會計ニ關スル法規ニシテ町村行政ニ關スル場合ニ適用ス可キモノニ在ラ
ス(同上)

▲町村長ハ本條ノ規定ニ依リ年度前二ヶ月ヲ限り豫算表ヲ調製スヘキモノニシテ不得止事
情ニ依ルニアラサレハ此手續ヲ遷延スルコトヲ得ス(三四、七、八)

第百八條 豫算表ハ會計年度前町村會ノ議決ヲ取リ之ヲ郡長ニ報告シ並地方慣行ノ方式ヲ以テ其要領ヲ公告ス可シ
豫算表ヲ町村會ニ提出スルトキハ町村長ハ併セテ其町村事務報告書及財産明細表ヲ提出ス可シ

▲新ニ基本財産ト爲ルヘキ金員ヲ本條第二項ニ依リ町村長カ提出シタル豫算表、報告書財
産明細表ニ掲ケストノ事件ニ對シ行政訴訟ヲ許スノ法規ナシ(二九、一〇、八)

▲町村ノ歳入出豫算ニ前年度繰越金ヲ編入セサルハ不當ナリト主張スル事件ニ付行政訴訟
ヲ許スノ法令ナシ(三〇、一、二、一八)

▲町村長ハ制第七條ニ依リ年度前二ヶ月ヲ限り豫算表調製シ又本條ニ依リ會計年度前町
村會ノ決議ヲ採ルヘキモノニシテ村内ノ紛紜和解ノ爲メニ此義務ノ執行ヲ遷延スルコト
ヲ得ス(三四、七、八)

第百九條 定額豫算外ノ費用又ハ豫算ノ不足アルトキハ町村會ノ認定ヲ得テ之ヲ支出スルコトヲ得
定額豫算中臨時ノ場合ニ支出スルカ爲メニ豫備費ヲ置キ町村長ハ豫メ町村會ノ認定ヲ受ケスシテ豫算外ノ費用又
ハ豫算超過ノ費用ニ充ツルコトヲ得但町村會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

▲會計年度ヲ異ニスル收入ヨリ支出シタルハ、款項ノ流用ト謂フヲ得サルヲ以テ違法ノ處置
タルヲ免カレス(三三、七、一〇)

第百十條 町村會ニ於テ豫算表ヲ議決シタルトキハ町村長ヨリ其謄寫ヲ以テ之ヲ收入役ニ交付ス可シ其豫算表中監
督官廳若クハ參事會ノ許可ヲ受ク可キ事項アルトキハ(第百二十五條ヨリ第百二十七條ニ至ル)先ツ其許可ヲ受ク
可シ

收入役ハ町村長(第六十八條第二項第三)又ハ監督官廳ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコト得ス又收入役ハ町村
長ノ命令ヲ受クルモ其支出豫算表中ニ豫定ナキカ又ハ其命令第百九條ノ規定ニ依ラサルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ
得ス
前項ノ規定ニ背キタル支拂ハ總テ收入役ノ責任ニ歸ス

▲收入法カ職務ヲ重セス其職務ヲ他者ニ代務セシメタルニ基因シ町村ニ損害ヲ與ヘタルト
キハ收入役ハ之ヲ賠償スルノ義務アリ(二八、五、一四)

第百十一條 町村ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ検査シ及毎年少クモ一回臨時検査ヲ爲ス可シ例月検査ハ町村長又ハ其
代理者之ヲ爲シ臨時検査ハ町村長又ハ其代理者ノ外町村會ノ互選シタル職員一名以上ノ立會ヲ要ス
第百十二條 決算ハ會計年度ノ終ヨリ三箇月以内ニ之ヲ結了シ證書類ヲ併テ收入役ヨリ之ヲ町村長ニ提出シ町村長
ハ之ヲ審査シ意見ヲ附シテ之ヲ町村會ノ認定ニ付ス可シ第六十二條第六項ノ場合ニ於テハ前例ニ依リ町村長ヨリ
直チニ之ヲ町村會ニ提出ス可シ其町村會ノ認定ヲ經タルトキハ町村長ハ之ヲ郡長ニ報告ス可シ

▲決算報告ハ正式ニ之ヲ報告スヘク畧式ノ表ヲ呈出スル如キハ本條ノ規定ニ違フモノトス (二五、二、一八)

第百十三條 決算報告ヲ爲ストキハ第四十條ノ例ニ準シテ議長代理者共ニ故障アルモノトス

第五章 町村内各部ノ行政

第百十四條 町村内ノ區(第六十四條)又ハ町村内ノ一部若クハ合併町村(第四條)ニシテ別ニ其區域ヲ存シテ一區ヲ爲スモノ特別ニ財産ヲ所有シ若クハ營造物ヲ設ケ其一區限リ特ニ其費用(第九十九條)ヲ負擔スルトキハ郡參事會ハ其町村會ノ意見ヲ聞キ條例ヲ發行シ財産及營造物ニ關スル事務ノ爲メ區會又ハ區總會ヲ設クルコトヲ得其會職ハ町村會ノ例ヲ適用スルコトヲ得

▲本條ハ區會條例ノ發行ノ權ヲ特ニ郡參事會ニ付シタルマテニシテ該條例ハ即チ其町村ノ區會條例ナレハ町村條例中ノ一種ニ屬ス故ニ制第二百二十五條ニ依リ内務大臣ノ許可ヲ受ケサルヲ得ス(二五、二、二六)

▲區會ニ於テ市參事會カ提出シタル學務委員數ニ關スル議案ヲ議スルニ方リ其員數ノ外尙ホ委員ノ資格消滅ニ關スル議決ヲ爲シタルハ職權外ニ涉リタルモノトス(二五、三、三一)

▲市制町村制中ニ其規定ナキヲ以テ區會ハ區會議員ノ進退及資格ニ關シテ議決權ヲ有セス(二六、一、一八)

▲區會ノ議決權限ヲ越ヘタル場合ニ市制其他ノ法律勅令ニ於テ市長ヨリ行政訴訟ヲ提起シ得ルノ規定ナシ(二七、一〇、一一)

▲制第三十七條ハ區會議員選舉人名簿ノ正否ニ關シ適用スル條項ニ在ラス(二七、一〇、一六)

▲區會議員選舉人名簿ノ正否ニ關シ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(同上)

▲私人ヨリ區會ノ議決取消ヲ求ムル事件ニ付行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(二八、二、一八)

▲法律勅令中區會ニ行政訴訟ヲ許シタル規定ナシ(二八、二、二六及同三、二)

▲市制第三十五條一項ハ市會議員選舉效力ニ關スル訴訟ノ裁決ノミヲ規定シタルモノナシハ區會議員ノ選舉效力ニ關スル訴訟ニ適用スルヲ得ス(二八、六、六)

▲區會議員ノ選舉效力ニ關スル訴訟ノ裁決ハ市制ニ於テハ其權限ヲ規定セサルニ依リ區會ニ於テ該訴訟ヲ裁決スルヲ得ス(同上)

▲區會ハ區有財産及營造物ニ關スル事務ノ爲メ設クルモノニシテ他ニ議決ノ權アルモノニアラサレハ區會ニ於テ御還幸奉迎費及犒軍費ニ關シ議決セシハ權限ヲ越ヘタルモノト云ハサルヲ得ス(二八、一〇、五、二件)

▲市制第六十四條町村制第六十八條第二項一ハ市町村會ノ議決ニ適用スヘキ規定ニシテ區會ノ議決ニ適用ス可キモノニ在ラス(同上)

▲村ノ負擔ニ屬スル土木工事ヲ區ノ受負ト爲スヘシトノ村會ノ議決ハ違法ナリ(二九、四、二四)

▲本件土木工事ト區ノ營造物ノ管理方法トハ別箇ノ事務ナレハ單ニ經濟上ノ利益アルノ故ヲ以テ受負土木工事ヲシテ區ノ營造物ノ管理方法ニ關スルモノト云フヲ得ス(同上)

▲本條ハ町村内ノ一區ニ於テ特別ニ財産ヲ有シ營造物ヲ設クル場合ニ於テ區會ノ設置ヲ許

シタル迄ニシテ之ヲ以テ區ハ町村ノ外ニ獨立シテ町村ト併立スル法人ナリト規定シタルモノニ在ラス(二九、五、二二)

▲區有財産ノ管理方法並其處分ニ關スル議決ノ執行順序ニ付行政訴訟ヲ許スノ法規ナシ(二九、五、二二)

▲區會議員選舉ノ效力ニ關シ法律勅令中行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ(二九、九、一八及三〇、五、一七及三三、一一、五)

▲區會カ其區全體ノ利害ニ關スル堤防ノ修築費ヲ議決シ之ヲ同區内土地所有者ニ賦課シタルハ違法ニアラス(二九、一一、二八)

▲小學校令第三十條(新小學校令第十一條)ノ區ノ意見ヲ聞クトノ規定ハ其區ニ區會ノ設クナキ場合ニハ之ヲ適用セス(三三、七、一〇)

第百十五條 前條ニ記載スル事務ハ町村ノ行政ニ關スル規則ニ依リ町村長之ヲ管理ス可シ但區ノ出納及會計ノ事務ハ之ヲ分別ス可シ

▲町村内ノ一部ニシテ特別ニ財産ヲ所有スル場合ハ本條ノ規定ニ因リ其町村長ニ於テ之カ管理ヲ爲スヘキモノトス(二九、七、四及三四、一一)

▲町村長ノ管理ニ屬スル財産ニ關シ人民總代ノ名義ヲ以テ爲シタル出願ハ無效也(三一、四、一一)

法律上區總代ナル資格ヲ認メス(三三、三、二九)

第六章 町村組合

第百十六條 數町村ノ事務ヲ共同處分スル爲メ其ノ協議ニ依リ監督官廳ノ許可ヲ得テ其町村ノ組合ヲ設クルコトヲ得

得

法律上ノ義務ヲ負擔スルニ堪フ可キ資力ヲ有セサル町村ニシテ他ノ町村ト合併(第四條)スルノ協議整ハス又ハ其事情ニ依リ合併ヲ不便ト爲ストキハ郡參事會ノ議決ヲ以テ數町村ノ組合ヲ設ケシムルコトヲ得

▲本條一項ニ依リ町村組合ヲ設クルニ方リ村會ニ諮問セスシテ組合協議員ヲ選定シ組合規則ヲ議決セシメタルヲ不當トスル件ハ行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ(二三、一一、一八)

▲二十二年法律第十一號ハ水利土功ニ關スル町村聯合會ヲシテ町村制施行後ト雖モ別ニ規定ヲ設クルマテ舊區町村會法ニ依リ存續セシムルノ特別法ナルヲ以テ道路ニ關スル聯合村會ノ事務ノ如キハ町村制第百十六條ノ規定ヲ適用シ町村ニ引繼クヘキモノニアラス(二五、七、四)

▲從來地方稅ヲ以テ支辨シ來レル水防事業ノ爲メ水防組合ヲ設クル場合ハ本條ニ據リ得ヘキモ水利組合條例第一條ニ據ルヲ得ズ(二六、三、二四)

▲漁業ハ一種ノ營業ニシテ當初ヨリ營利ヲ目的トナスモノナレバ之ニ關スル事務ハ町村事務ト云フヲ得ス從テ該事務ヲ處分スル爲メ本條ノ組合ヲ設クルコトヲ得ザルモノトス(二六、一〇、三〇)

▲本條二項ハ場合ニ依リ町村組合ヲ設クルヲ得セシメタルマテニシテ該項ニ依リ成立シタル組合村ハ組合内一村限り特別ノ事業ニ係ルモノ、外一切ノ事務ヲ共同處分スベキヲ命

シタルニアラズ(二七、一、一五)

▲故ニ本條二項ニ依リ成立シタル組合村ナルモ教育事務ニ關シテハ其經濟ヲ共通セス又各村ニ小學校設置ノコトヲ協議決定シタル以上ハ小學校令第二十五條第二項ヲ適用スヘキ限リニアラサルヲ以テ組合村内ノ一村ニ學務委員ヲ設置スルモ違法ニアラス(同上)

▲漁業權回復ノ如キハ其事業タル單ニ營利ヲ目的トスルモノニシテ公共事務ト云フベカラサルヲ以テ該處分ニ對シ町村組合ハ出訴スルノ權ナキモトス(二八、六、二八)

▲町村組合常設委員長ノ資格ヲ以テ行政訴訟ヲ提起シタル例アリ(同上)

▲町村組合ノ權限ハ其協議規定ノ範圍内ニ限ルモノトス(二九、一、一一)

▲町村組合ガ其協議規定外ニ涉リテ組合分離ノ決議ヲ爲シタルハ越權ナリ(同上)

第百十七條 町村組合ヲ設クルノ協議ヲ爲ストキハ(第百十六條第一項)組合會議ノ組織事務ノ管理方法並其費用ノ

支辨方法ヲ併セテ規定ス可シ

前條第二項ノ場合ニ於テハ其關係町村ノ協議ヲ以テ組合費用ノ分擔法等其他必要ノ事項ヲ規定ス可シ若シ其協議

整ハサルトキハ郡縣事會ニ於テ之ヲ定ム可シ

▲町村制ニ組合長ノ被選資格ニ關スル規定ナシ(二七、一、一四)

▲組合會ハ關係町村ノ協議ヲ以テ定メタル組合規定ヲ執行スルニ必要ノ事項若クハ該規定ニ依リ與ヘタル權限内ノ事項ヲ議決スルヲ得ルハ當然ナルモ該規定ノ範圍外ニ涉リ若クハ之ニ矛盾スルカ如キ議決ヲ爲スヲ得ス(二八、五、一五)

▲組合規定タル共有財産管理規程ニ「組合内非常ノ荒兎及一般恐慌ノ救濟ニ供スル外平時ハ増殖ヲ圖リ永久ニ維持保存スヘキコトヲ定メタル場合ニ於テ組合會カ時機ニ依リ基本財産ノ幾分ヲ各町村ヘ分割シテ保存セシムルヲ得」トノ但書ヲ追加スルノ議決ヲ爲シタルハ權限外ニ涉リタルモノトス(同上)

▲組合規程ニ組合區域ノ規程アルニ正當ノ理由ナクシテ共有財産ノ所有區域ヲ變更減縮スルモノト認ムヘキ組合會ノ爲シタル議決ノ執行ヲ停止シタルハ失當ニアラス(同上)

▲本條ニ所謂組合會議ノ組織ニハ議員選舉ノ方法及ヒ其資格任期ノコトヲ包含ス(三〇、七、五)

▲町村組合ニ關スル事項ハ本條ノ規定ニ從ヒ組合規則ニ因リテ決スヘキモノトス(三二、一〇、三〇)

▲町村組合規則ニ組合費ノ收支及會計事務ハ管理者總テ之ヲ掌ルトアル場合ニ於テ收入役カ管理者タル町村長ノ命ニ依リテ組合ノ會計事務ヲ掌リタルコトアルモ組合ニ對シテ其給料ヲ請求スルノ權利ナシ(同上)

▲町村組合規則ニ手當ヲ支給ストアルモ給料ヲ請求スルノ理由トナラス(同上)

第百十八條 町村組合ハ監督官廳ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ解クコトヲ得ス

第七章 町村行政ノ監督

第百十九條 町村ノ行政ハ第一次ニ於テ郡長之ヲ監督シ第二次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第三次ニ於テ内務大臣之

第七章 町村行政ノ監督 (第百十八、九條)

ヲ監督ス但法律ニ指定シタル場合ニ於テ郡參事會及府縣參事會ノ參與スルハ別段ナリトス
町村ノ行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スヘキ事項中其輕易ナルモノハ勅令ノ規定ニ依リ其許可ノ職權ヲ府縣知事
ニ委任スルコトヲ得

第二百十條 此法律中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外凡町村ノ行政ニ關スル郡長若クハ郡參事會ノ處分若クハ裁決
ニ不服アル者ハ府縣知事若クハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣知事若クハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ内務大臣
ニ訴願スルコトヲ得

町村ノ行政ニ關スル訴願ハ處分書若クハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ十四日以内ニ其理由ヲ附シテ
之ヲ提出ス可シ但此法律中別ニ期限ヲ定ムルモノハ此限ニ在ラス

此法律中ニ指定スル場合ニ於テ府縣知事若クハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アリテ行政裁判所ニ出訴セントスル者ハ
裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ二十一日以内ニ出訴ス可シ

行政裁判所ニ出訴スルコトヲ許シタル場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

訴願及訴訟ヲ提出スルトキハ處分又ハ裁決ノ執行ヲ停止ス但此法律中別ニ規定アリ又ハ當該官廳ノ意見ニ依リ其
停止ノ爲メニ町村ノ公益ニ害アリト爲ストキハ此限ニ在ラス

▲本條三項ノ出訴期限ハ行政裁判法第二十二條ニ依リ民事訴訟法(第六十七條)ヲ適用シ
裁決書ノ交付ヲ受タル翌日ヨリ起算シ里程ニ對スル伸張日數(陸路八里毎ニ一日ヲ伸張
ス)ヲ加算スヘキモノトス(二三、一二、九及二六、三一八)

▲市制町村制ノ規定ニ基ク行政訴訟ハ本條第三項ノ期限内ニ提起スルヲ要ス(三四、三、一二及
一二、二五及二九、四、一二及三三、一二、一七、三三、一二、二〇)
及同五、一〇及同二二、二及三三、一二、一四及三四、一、二八)

▲當初一個人ノ資格ヲ以テ村長ニ訴願シタルモノ更ニ大字人民ノ總代タル資格ヲ以テ行政

訴訟ヲ提起シタルトキハ總代トシテ訴權ヲキモ一個人ノ資格ニ於テハ訴訟ヲ提起スルヲ
得ルモノナリ(二四、三三、三三)

▲本訴ノ主意ヲ敷衍シタルハ訴訟ノ目的ノ變更ニ在ラス(二四、四、二四)

▲本條第一項ハ府縣知事若クハ府縣參事會ノ裁決ニ對シ内務大臣ニ訴願スルヲ許シタルモノ
ノニシテ行政訴訟ヲ許スノ規定ニ在ラス(二四、六、一六)

▲町村ノ行政事項ニ關スル訴願ニ付縣知事ノ爲シタル裁決ニ對シテ不服アルトキハ町村制
ニ行政訴訟ヲ許スノ明文アルモノヲ除クノ外同制第百二十條第一項ニ依リ内務大臣ニ訴
願スヘキモノトス(二四、七、一〇)

▲郡參事會ノ議決處分ヲ不當トスル場合ハ本條第一項ニ依リ内務大臣ニ訴願ヲ爲スヲ得ヘ
キモ行政訴訟ヲ爲スヲ許シタル法規ナシ(同上)

▲或ル村ヲ用水區域ニ編入ノ手續ニ關スル同書ニ對シ其手續ヲ示シタル指令書ハ行政廳ノ
爲シタル處分書裁決書又ハ告知書ト云フヲ得ス(二四、九、二二)

▲訴願ノ却下トハ訴願ニ對スル裁決ナリ(二五、七、七)

▲法律敕令ニ於テ許サル所ノ訴願ヲ爲シタルノ故ヲ以テ同一事件ニ付行政訴訟ヲ提起スル
ノ妨トナラス(同上)

▲訴願法上々級行政廳ノ爲シタル裁決ハ下級行政廳ヲ羈束スルニ依リ法律敕令中特ニ規定
アル場合ノ外町村長ハ府縣參事會ノ裁決ヲ不服トシテ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

(二五、一一、四)

△編者曰ク本件ハ制第五條ニ基因シタル訴訟ナリ

▲選舉ノ全部ヲ取消ス可シトノ請求ヲ改メテ投票一部ノ取消ヲ請求スルハ訴訟ノ目的ヲ變更シタルモノトス(二五、一一、三四)

▲訴訟ヲ經テ適法ニ提起シタル訴訟ノ目的ヲ變更シタルトキ其新ナル請求ニ付キ更ニ訴訟ヲ經テ訴訟ヲ提起スヘキモノトス(同上)

▲選舉ノ效力ヲ争フニ在ラスシテ單ニ縣參事會ノ裁決ヲ取消シ自己ニ訴訟權アリトノ件ニ關シテハ行政訴訟ヲ許シタル法令ナシ(二五、一一、三三)

▲選舉會取消ノ請求ヲ改メテ該會ニ關スル縣知事ノ裁決ヲ取消サノコトヲ請求スルハ訴ノ原因ヲ變更スルモノトス(二五、一一、二六)

▲裁決ハ訴訟期限ノ經過ニ依リテ確定ス(二六、二、一七)

▲自己ノ權利ニ消長ヲ來スコトナキ裁決ニ對シ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス(同上)

▲行政訴訟ハ行政上ノ處分ニ對シ之ヲ救正ヲ求ムル爲メ提起シ得ヘキモノナルヲ以テ處分又ハ裁決ヲ爲シタル行政廳ヲ對手トセスシテ一個人ヲ對手トシ行政訴訟ヲ提起スルハ訴訟ノ對手ヲ誤リタルモノトス(二六、三、一三及三一、一一、二八及三二、一一、一六)

▲訴訟ヲ經タル後ニ在ラザレハ出訴ヲ許サル事件ハ訴訟期限ヲ經過シタルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得サルモノトス(二六、三、一五及同月二五)

▲原訴願人ノ訴願ハ他人ノ訴願ニ要スル日數ニ關係ナキモノナレハ原訴願人カ縣參事會ニ訴願シテ裁決ヲ受クルマテノ日數ハ同一事件ニ關シ他人ノ爲ス訴願期間ヲ中斷スト云フヲ得ス(同上)

▲訴狀ニ一定ノ申立トシテ記載シアル項中執行停止命令ノ取消ヲ請フト在ルヲ改メテ町會ノ議決ヲ不法ナリトスル裁決ノ取消ヲ請フト爲スモ議決ヲ不法ナリトスル裁決ノ取消ヲ請フトハ間接ニ其議決ニ對スル執行停止命令ノ取消ヲ請フモノナレハ即チ其訴旨ノ在ル所ハ同一ニシテ之ヲ以テ訴訟ノ目的ヲ變更シタルモノト云フヲ得ス(二六、三、一八)

▲適法ニ裁決書ヲ交付セス又ハ其告知ヲ爲サレハ裁決ノ效果ヲ生セス(二六、四、二九)

▲裁決書ハ利害ノ關係者ニ交付スヘキモノトス(同上)

▲原狀回復ハ天災其他避ク可ラサル事實ノ爲メニ不變期間ヲ遵守スルコトヲ爲サル場合ニ於テ許ス可キモノニシテ司法裁判ノ結果ヲ待チタル爲メ行政訴訟ノ期間ヲ經過シタルハ原狀回復ノ理由ト爲ラス(二六、一〇、九)

▲初メ郡參事會ニ於テ訴願權ナシト裁決シ後縣參事會ニ於テ訴訟權アリト裁決ヲ受ケタル件ハ郡參事會ニ立戻リ更ニ村會裁決ノ當否ヲ訴願スルモ一事再望ニ在ラス(二六、一〇、一九)

▲訴願權ノ有無ニ付裁決ヲ受ケタル後更ニ本案ノ當否ニ對シ訴願ヲ爲シタル場合ニ於ケル訴願期限ハ前訴願ノ時ヨリ繼續ス(同上)

▲町村會ノ裁決ニ對スル訴願ハ町村役場ヲ經由シテ郡參事會ニ提出スヘキモノトス(二六、一

- 一四) ▲期限經過後ニ提出シタル訴願ヲ受理スヘキ宥恕ノ事由アリヤ否ヤヲ定ムルハ該行政廳ノ職權ニ屬ス(二六、一一、四及三三、五、九)
- ▲出訴期限ハ一定不變ノモノニシテ之ヲ經過シタル以上ハ出訴ヲ爲スヲ得ス(二七、二、二四)
- ▲一定ノ申立ヲ變更スルモ其趣旨ニ於テ變更スルコトナクハ訴ノ原因ノ變更ニ在ラス(二七、五、二四)
- 法律上處分ヲ爲シタル者又ハ裁決ヲ與ヘタル者ニ限り行政訴訟ノ對手人ト爲ス可シトノ規定ナシ故ニ郡參事會ノ裁決ニ基キテ町村長カ命令ヲ發シタル場合ニ在リテハ該命令ノ取消ヲ請求スル事件ニ於テ町村長ハ之カ對手トシテ答辯ヲ拒ムヲ爲ス(二七、一〇、一六)
- ▲町村長若クハ助役カ滯納處分ヲ行ヒ財產差押ヲ決行シタルニ郡長又ハ郡參事會ハ之カ取消ヲ命令若クハ裁決シタル處此命令又ハ裁決ノ取消ヲ請求スル事件ニ對シ町村長又ハ助役ニ行政訴訟ヲ許スノ規定ナシ(二八、四、二及同一、九)
- ▲行政裁判所ニ於テハ再審ノ訴ヲ受理ヒス(二八、五、一五、及三一、四、一九及同一、四及三二、四、一及三三、一、一九)
- ▲訴願人ヨリ法律違犯ノ事ヲ申立テサルモ受訴審理ノ際其事項カ法令ニ違背シタルコトヲ發見シ之ニ依テ裁決ヲ爲シタルモノハ訴願ノ範圍外ナリト云フヲ得ス(二八、六、四)
- ▲行政裁判所ハ行政廳ニ於テ訴願ヲ却下シタルニ止マリ未タ本案ノ裁決ヲ爲サル事件ト雖モ訴願ノ順序ヲ履ミテ提起シタル以上ハ直ニ本案ノ判決ヲ爲スコトヲ得(二八、一、一九及三〇、五、二五)

及同一、一九
及三二、一、一六

- ▲行政裁判法第三十一條ハ主參加ト從參加トヲ區別セス汎ク訴訟ニ付キ利害關係ヲ有スル者ニハ參加ヲ許スノ規定ナリ(二九、二、四)
- ▲原告ノ主張カ參加人ノ當選ヲ無効トスルニ在ルトキハ參加人ハ原被兩造ヲ對手トシテ選舉ノ效力ヲ爭フコトヲ得(同上)
- ▲裁決書ノ交付又ハ告知ノ日ヨリ起算シ本條ノ期限内ニ提出シタル訴願ニ對シ裁決ヲ爲スモ違法ニアラス(二九、四、四)
- ▲日ヲ以テスル期限ノ計算ハ初日ヲ算入セサルヲ一般ノ通則トスルモノナレハ訴願期限ニ付テモ此通則ニ依ルヲ相當トス(二九、五、二六及三一、六、四)
- ▲縣參事會ニ訴願ノ場合ニ主張セザリシ理由ト雖モ其請求ノ目的ヲ達センカ爲メ更ニ行政裁判所ニ於テ追加主張スルコトヲ得(二九、六、三及同月一〇)
- ▲故ニ訴願訴訟ノ目的ヲ達セン爲メ新ナル理由ヲ増加スルモ其相手方ハ未タ訴願ヲ經サルノ故ヲ以テ答辯ヲ拒ムヲ得ス(二九、六、三)
- ▲行政訴訟ハ裁決者處分者何レヲ對手ト爲スモ原告ノ選擇ニ任スルモノトス(二九、九、二四)
- ▲市ノ行政ニ關スル訴願ハ市制中別ニ期限ヲ定ムルモノヲ除ク外處分書若クハ裁決書ヲ交付シ又ハ告知シタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ提出スヘキモノトス(二九、一〇、一五)
- ▲本條第二項ハ同條第一項ノ場合ノミニ適用スヘキ規定ニアラス(同上及三一、六、二)

- ▲選舉全部取消ノ訴願ニ對スル裁決カ其一部ノ效力ニ止マルトキト雖モ行政訴訟ニ於テ全部無効ノ請求ヲ爲スコトヲ得(二九、二二、四)
- ▲訴願ハ代人ヲ以テ提出スルコトヲ得(二九、二二、二五、四件)
- ▲訴願書提出ニ付經由スヘキ行政廳ヲ誤リタルハ訴願期限中斷ノ理由ト爲ラス(三〇、一、二六、三三、三四)
- ▲市税ノ賦課ニ關スル事件ノ出訴期限ハ本條第三項ヲ適用ス(三〇、六、八)
- ▲訴願法第九條第二項ニ依リ還付セラレタル訴願書ヲ再ヒ提出スルニハ同法第二條ニ定メタル手續ニ據ルコトヲ要ス(三〇、一一、一九)
- ▲適法ノ手續ヲ了シテ提出シタル訴願書ヲ還付セラレ再ヒ提出スルニ當リ年月日ヲ改ムルモ當初手續ニ影響ヲ及ボサルヲ以テ此一事ヲ以テ新ナル訴願ト認ムルヲ得ス(同上)
- ▲町村會議員ノ選舉人名簿ニ對シ選舉人ノ一人ヨリ異議申立ヲ爲シ町村會カ裁決ヲ與ヘタルニ他ノ選舉人ヨリ該裁決ニ不服ノ訴願ヲ提起スルニハ本條第二項ノ訴願期限ニ依ルヘキモノニシテ第十八條第二項ノ名簿縱覽期間ニノミ申立テ得ヘキモノニ在ラス(三一、四、六)
- ▲請求ノ目的タル選舉ノ效力カ行政裁判所ニ於ケル他ノ裁決ニ依リ無効ト確定シタルトキハ訴訟ノ目的物消滅シタルモノトス(三一、六、二五及同二〇、二四)
- ▲町村會ノ議決ニ對スル訴願ノ裁決者タル郡參事會ガ其裁決ヲ與ヘタル事件ニ付キ府縣參事會ノ裁決ヲ不服トシ自身當事者ト爲リ行政訴訟ヲ提起スルヲ許シタル法令ナシ(三一、一〇三)

- ▲郡長ヲ對手トスヘキ訴狀ニ郡參事會ノ文字ヲ記入スルモ全ク誤寫タル事ヲ確認シ得ヘキ場合ニ於テハ郡長ハ之ヲ理由トシテ答辯ヲ拒ムヲ得ス(三一、二二、二八)
- ▲行政裁判所ノ判決ニ對スル故障ノ申立ハ受理セス(三一、二二、二九)
- ▲訴願書ニ其據ルヘキ法條ノ引用ヲ誤リタルカ爲メ其訴願力無効トナルコトナシ(三一、二五、二九)
- ▲町村制ノ規定ニ基ク訴願ニハ總テ本條第二項ノ訴願期限ヲ適用スヘキモノニシテ訴願法第八條ノ期限ニ依ルヘキモノニアラス(三一、二六、二二、三件及三一、二二、二五)
- ▲一ノ選舉ニ關シ甲乙二個ノ訴願起リ甲訴願ノ裁決ニ對シ不服ヲ申立ツル者ナク法定ノ期間ヲ經過シ乙訴願ノ裁決ニ對シテハ更ニ上級行政廳ニ訴願ノ提起アリタル場合ニ於テハ該選舉ノ效力ハ何人ニ對シテモ未タ確定セサルモノトス(三一、一〇、三三)
- ▲町村會議員ノ選舉效力(假令郡長ノ取消處分ニ基クモ)ニ關スル訴願ニハ訴願法第二條第一項及本條第一項ノ手續ヲ適用セス(三一、二二、四)
- ▲町村制第二百十條第五項ハ同條第二項ニ照シ考フルニ廣汎ノ法意ニシテ郡長又ハ郡參事會以上ノ處分裁決ニ限ラス特ニ執行ヲ停止セストノ明文ナキモノハ總テ第五項ニ依ルヘキモノト解釋セサルヲ得ス故ニ公民權停止ノ村會ノ議決ニ對シ訴願ノ提起アリタルトキ

- ▲ 其議決ノ執行ヲ停止スヘキモノトス(三三、二二、一一)
- ▲ 訴願人ハ裁決前ニ在リテハ何時ニテモ訴願ノ理由ノ追加ヲ爲スコトヲ得(三三、二二、一一)
- ▲ 裁決中ニ援用シタル法條ニ誤記アルヲ以テ其裁決ハ無効ナリト云フヲ得ス(同上)
- ▲ 適法ニ訴願ヲ經由セサル行政訴訟ハ受理セス(三三、三、一四)
- ▲ 訴願法第九條第二項ニ依リ指定スル期限ハ日ヲ以テ定ムルモ時ヲ以テ定ムルモノニ行政應ノ便宜ニ從フヘキモノトス(三三、五、九)
- ▲ 懲戒處分ニ對スル行政訴訟ハ本條第三項ノ期限内ニ提起スルヲ要ス(三四、二二、八)
- ▲ 縣參事會ノ裁決ニ對手スル不服ノ訴訟ニ縣知事ヲ對トシテ表示シ縣參事會ノ肩書ヲ記載セサルモ縣參事會ヲ對手トスルノ意思ヲ確認シ得ルニ於テハ縣知事ハ縣參事會ノ資格ヲ以テ答辯スルノ義務アルモノトス(三四、三、一〇)
- ▲ 行政訴訟費用ノ計算ヲ不當ナリトシテ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(三四、三、二九)
- ▲ 法定ノ期限内ニ提起シタル訴願ニ就キ口頭審問ヲ爲セシ後書面ヲ附シテ訴願ヲ返戻シタルハ即チ之ヲ却下セルモノニシテ訴願ニ對スル裁決ト認ム可キモノトス(三四、五、三)
- 第二百一十一條 監督官廳ハ町村行政ノ法律命令ニ背戾セサルヤ其事務錯亂滯滞セサルヤ否ヲ監視ス可シ監督官廳ハ之カ爲メニ行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ豫算及決算等ノ書類帳簿ヲ徴シ並實地ニ就テ事務ノ現況ヲ視察シ出納ヲ檢閲スルノ權ヲ有ス
- ▲ 郡長カ町村長ニ對シテ發シタル訓示ハ其監督權上ノ命令ニ屬ス(二六、三、二八)

▲ 本條ハ町村行政監視ノ方法ハ事後ニ施スヘシト限リタルモノニアラサレハ村役場會計規程及諸帳簿様式ニ係ル訓令ヲ發スルカ如キ監督ヲ行フニ必要ナル方法ヲ命スルハ監督權ヲ妄用シタルモノニアラス(二六、五、二七)

第二百一十二條 町村又ハ其組合ニ於テ法律勅令ニ依テ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依テ命令スル所ノ支出ヲ定額豫算ニ載セス又ハ臨時之ヲ承認セス又ハ實行セサルトキハ郡長ハ理由ヲ示シテ其支出額ヲ定額豫算表ニ加ヘ又ハ臨時支出セシム可シ

町村又ハ其組合ニ於テ前項ノ處分ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

- ▲ 地方稅亡失金ハ村ノ怠慢ニ基キタルニアラサル場合ト雖トモ二十三年法律第八十八號府縣稅徵收法第八條第二項ノ手續ヲ了ヘサル以上ハ府縣稅納付ノ義務ハ猶存スルモノナルヲ以テ郡長ヨリ該亡失金支出ニ付強制豫算ノ命令ヲ發スルモ不當ニアラス(二七、二、二四)
- ▲ 村會カ法律勅令ニ依リ負擔スヘキ支出ヲ拒ムトキハ之カ監督官廳ハ本條ノ規定ニ從ヒ強制豫算ヲ命スヘシ強制第六十八條ヲ適用シ再議ニ付スヘキモノニアラス(二九、六、五)
- ▲ 監督官廳カ町村制第六十一條ヲ適用シ其職權ヲ以テ選任シタル村長代理者ノ給料及ヒ費用ハ本條ニ所謂當該官廳ノ職權ニ依テ命令スル所ノ支出ニ該當スルモノナルニ依リ村會カ之ヲ否決シタル場合ニ當リ郡長カ強制命令ヲ發シタルハ正當也(二九、七、九)
- ▲ 甲乙兩村會々同シテ郡會議員ノ選舉ヲ行フ爲メニ要スル費用ノ支出方法ニ付テハ法律勅令中ニ規定スル所ナキカ故ニ本條ニ所謂法律ニ依テ負擔スヘキモノナリト云フヲ得ス此

費用支出ニ關シテハ郡長ハ其職權ニ依リ命令ヲ以テ該支出ヲ町村ノ定額豫算ニ載セ又ハ臨時之カ承認ヲ求ム可キ順序ナルニ此手續ヲ經ス直ニ臨時支出命令ヲ發シタルハ違法ノ處置ナリトス(三〇、二二、二〇)

▲本條ノ規定ニ基キ郡長ヨリ命セラレタル追加豫算案ヲ町村會ニ於テ否決シタル場合ニ於テ町村長カ本條第二項ノ規定ニ依リ町村ヲ代表シテ訴願訴訟ヲ提起スルハ格別第六十八條ノ規定ヲ適用シテ之ヲ再議ニ付シタルハ違法也(三一、三一、一四)

▲學校ノ基本財産ヨリ生スル收入ノ處分方法ノ違法ナルコトヲ主張シテ該基本財産積立ノ爲メ違法ニ郡費ヲ分賦セラレタル負擔ニ對スル強制豫算命令ヲ拒ムノ理由ト爲ラス(三二、一〇、二三、五件)

▲小學校令第二十六條(新小學校令第九條)ノ規定ハ府縣知事ノ許可ヲ受ケタルコトヲ公示スヘキ意義ヲ含マス又他ノ法令ニ於テモ公示スヘキ規定ナキヲ以テ郡長カ之ヲ示サ、ルモ違法ニアラス故ニ郡長カ府縣知事ノ認可ヲ得テ小學校ノ校數及設置ヲ指定シタル以上ハ當該町村ハ其設置ノ費用ヲ負擔セサルヲ得サルモノナルヲ以テ其町村會ニ於テ其費用ヲ否決シタルトキハ即チ本條ノ所謂勅令ニ依リ負擔スヘキ支出ヲ定額豫算ニ載セサル不當ノ議決ナルヲ以テ之カ強制豫算ヲ命シタルハ至當ナリ(三三、一二、二四)

▲本條第二項ノ規定ハ第一項ノ處分即チ郡長ニ於テ支出額ヲ定額豫算表ニ加ヘ又ハ臨時支出セシメタル處分ニ對シ其ノ處分ヲ受ケタル町村又ハ組合ニ訴權ヲ與ヘタル者トス(三四

六二四)

第二百二十三條 凡町村會ニ於テ議決ス可キ事件ヲ議決セサルトキハ郡參事會代テ之ヲ議決ス可シ

▲郡參事會ノ代決處分ニ對シテハ第二百二十條第一項ニ依リ内務大臣ニ訴願ヲ爲シ得ヘキモ行政訴訟ヲ提起シ得ヘキ規定ナシ(二四、七、一〇及三〇、五、四)

▲區會議員ハ市制町村制中ノ名譽職ニ在ラス故ニ其退職及就職後資格ノ要件ノ有無ニ關シ市町村會ハ之ヲ議決スルヲ得ス從テ本條ニ依リ府縣參事會又ハ郡參事會ニ於テ市町村會ニ代リ之ヲ議決スルコトヲ得サルモノトス(二六、一一、一八)

▲本條ハ議決ヲ爲スモノト其議決ノ效力トヲ區別スルコトヲ要ス町村會ニ代テ議決ヲ爲スモノハ固ヨリ郡參事會ナリト雖モ其議決ノ效力ニ付テハ別段ノ規定ナキヲ以テ町村會ノ議決ト同視スヘシ故ニ町村會ノ議決ニ對シ行政訴訟ヲ許セル場合ハ郡參事會ノ代決ニ對シテモ行政訴訟ヲ爲スコトヲ得ヘシ(三四、六、一)

▲町村會ノ議決ト均シキ郡參事會ノ代決ニ對シ不服ナル者ハ直ニ府縣參事會ニ訴願ヲ提起スヘキモノトス(同上)

▲本條ニ町村會ニ於テ議決ス可キ事件ト在ルハ町村會ノ權限ニ屬スル事件ト云フニ同シ故ニ町村會ノ權限ニ屬スル事件タル以上ハ其事件カ町村會ニ於テ必ス議決スヘキモノナルト將タ議決スルト否ト任意的ノモノナルトヲ問ハス總テ郡參事會ニ於テ議決スルコトヲ得ヘキモノトス(同上)

▲本條ハ町村議決機關ノ曠闕ヲ補充スル規定ニ別ナラサレハ「議決スヘキ事件ヲ議決セザルトキ」ト在ルハ單ニ町村會存立シテ議決ヲ爲サハルトキノミヲ謂フニ在ラスシテ議決スヘキ町村會ナキ場合ヲモ包括シタル規定ナリトス(同上)

第百二十四條 内務大臣ハ町村會ヲ解散セシムルコトヲ得解散ヲ命シタル場合ニ於テハ同時ニ三箇月以内更ニ議員ヲ改選ス可キコトヲ命ス可シ但改選町村會ノ集會スル迄ハ郡參事會町村會ニ代テ一切ノ事件ヲ議決ス

第百二十五條 左ノ事件ニ關スル町村會ノ議決ハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一 町村條例ヲ設ケ並改正スル事

二 學藝、美術ニ關シ又ハ歴史上貴重ナル物品ノ賣却讓與買入書入交換若クハ大ナル變更ヲ爲ス事

▲第百十四條ニ依リ郡參事會ノ發行シタル區會條例モ亦町村條例中ノ一種ニ屬スルヲ以テ本條ニ依リ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス(二五、二二六)

第百二十六條 左ノ事件ニ關スル町村會ノ議決ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一 新ニ町村ノ負債ヲ起シ又ハ負債額ヲ増加シ及第百六條第二項ノ例ニ違フモノ但償還期限三年以内ノモノハ此限ニ在ラス

二 町村特別稅並使用料 手数料ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事

三 地租五分ノ一其他直接國稅百分ノ五十ヲ超過スル附加稅ヲ賦課スル事

四 間接國稅ニ附加稅ヲ賦課スル事

五 法律勅令ノ規定ニ依リ官廳ヨリ補助スル歩合金ニ對シ支出金額ヲ定ムル事

▲地租制限超過ノ町村賦課ニ關スル町會ノ議決ニ付内務大藏兩大臣ノ許シタル許可ニ對シ行政訴訟ヲ許スノ法令ナシ(二五、二二〇)

▲本條ニ所謂新タニ市町村ノ負債ヲ起ストハ起債ノ當時負債ナキ市ニ於テ負債ヲ起ス場合ヲ云フニ止マレハ舊債償還ノ爲メニスル負債ノ如キハ許可ヲ要セス(二八、五、一八)

▲市町村債募集ノ方法ヲ定ムルハ第百六條第二項ニ依リ市町村會ノ議決權内ニ屬スレハ前後起債ノ方法ニ異動アルモ同條ノ範圍ヲ出テサル限りハ許可ヲ要スヘキモノニ在ラス(同上)

第百二十七條 左ノ事件ニ關スル町村會ノ議決ハ郡參事會ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一 町村ノ營造物ニ關スル規則ヲ設ケ並改正スル事

二 基本財産ノ處分ニ關スル事(第八十一條)

三 町村有不動産ノ賣却讓與並買入書入ヲ爲ス事

四 各個人特ニ使用スル町村有土地使川法ノ變更ヲ爲ス事(第八十六條)

五 各種ノ保證ヲ與フル事

六 法律勅令ニ依テ負擔スル義務ニ非スシテ向五箇年以上ニ亘リ新ニ町團住民ニ負擔ヲ課スル事

七 均一ノ稅率ニ據ラスシテ國稅府縣稅ニ附加稅ヲ賦課スル事(第九十條第二項)

八 第九十九條ニ從ヒ數個人又ハ町村内ノ一部ニ費用ヲ賦課スル事

九 第百一條ノ準率ニ據ラスシテ夫役及現品ヲ賦課スル事

▲町村有不動産ノ讓與ヲ郡長カ許可セサル處分ノ取消ヲ求ムル事件ニ關シ行政訴訟ヲ許シタル法令ナシ(二四、九二八)

▲基本財産支出ニ係ル村會ノ決議ニ對シ監督廳カ不認可シタル場合ニ於テ行政訴訟ヲ提起シ得ルノ規定ナシ(二五、二二六)

▲基本財産ノ處分ニ關スル村會ノ決議ヲ郡參事會ノ許可ヲ受スシテ執行シタルハ本條ノ規定ニ違フモノナレハ該執行ハ取消スヘキモノトス(二六、三、二七)

▲議決ノ執行ニ付監督官廳ノ許可ヲ受クルト否トハ村長タル執行者ノ職務ニ屬シ村會ハ之ヲ論スルノ權ナキモノトス(二七、二、二八)

▲主税タル縣稅戶數割ノ稅率ニ據ラス其町村限リ特ニ等級ヲ設ケ一種ノ稅率ヲ定メタル戶數割ハ附加稅ニ在ラサルカ故ニ郡參事會ニ於テ之レヲ不均一ノ稅率ヲ以テ賦課スル附加稅ト認メテ許可ノ議決ヲ爲シタルハ違法ノ所爲トス(三〇、二、一八)

第二百二十八條 府縣知事郡長ハ町村長、助役、委員、區長其他町村吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得其懲戒處分ハ職責及過怠金トス郡長ノ處分ニ係ル過怠金ハ十圓以下府縣知事ノ處分ニ係ルモノハ二十五圓以下トス

追テ町村吏員ノ懲戒法ヲ設ケル迄ハ左ノ區別ニ從ヒ官吏懲戒例ヲ適用ス可シ

- 一 町村長ノ懲戒處分(第六十八條第二項第五)ニ不服アル者ハ郡長ニ訴願シ其郡長ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ其府縣知事ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
 - 二 郡長ノ懲戒處分ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ府縣知事ノ懲戒處分及其裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
 - 三 本條第一項ニ掲載スル町村吏員職務ニ違フコト再三ニ及ヒ又ハ其情狀重キ者又ハ行狀ヲ亂リ廉耻ヲ失フ者、財産ヲ浪費シ其分ヲ守ラサル者又ハ職務ヲサレサル者ハ懲戒裁判ヲ以テ其職ヲ解クコトヲ得其隨時解職スルコトヲ得可キ者ハ(第六十七條)懲戒裁判ヲ以テスルノ限ニ在ラス
- 總テ解職セラレタル者ハ自己ノ所爲ニ非スシテ職務ヲ執ルニ堪ヘサルガ爲メ解職セラレタル場合ヲ除クノ外退職料ヲ受クルノ權ヲ失フモノトス

四 懲戒裁判ハ郡長其審問ヲ爲シ郡參事會之ヲ裁決ス其裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

監督官廳ハ懲戒裁判ノ裁決前吏員ノ停職ヲ命シ並給料ヲ停止スルコトヲ得

▲郡長ハ地方官ニ依リ行政事務ニ付テハ其部内町村ノ町村長ヲ指揮スルコトヲ得ルモノナレハ郡長ノ發シタル町村役場ニ揭示スヘキ命令ニ應セサル爲メ受ケタル町村長ノ懲戒處分ハ取消スヘキ理由ナシ(二四、二、二九)

▲村長ノ職ニ當ル者ハ何等事情アリテ村治上ニ困難ヲ見ルコト在ルモ法律命令ノ範圍ヲ守リ其職務ヲ盡サ、ル可ラス故ニ既ニ職務舉ラサル事實アル以上ハ懲戒處分ヲ免カル、コトヲ得ス(二四、四、二一)

▲町村制實施ニ當リ舊事務結了セサル際ニ就職シタル村長ハ其職務ヲ整理セサル可ラス然ルニ之ヲ等閑ニ付シ屢々郡長ノ諭示ヲ受クルモ尙ホ其事務ヲ處理セサルトキハ懲戒處分ヲ免カレス(二四、二、一〇)

▲市制第六十四條第二項五ニ依リ市吏員ノ職務ヲ監督スルハ市參事會ノ擔任ナルヲ以テ參事會ニ於テ此職務ヲ怠ルトキハ上司ニ對シ其責任ヲ負フハ參事會ナリ然ルニ團體ナルヲ以テ參事會ヲ懲戒スルヲ得サルニ依リ其代表者タル市長其人ヲ懲戒スヘキハ當然ナリ(二五、二、五)

▲村會ノ際議員ノ一人ヲ招集セズ選舉人名簿調製ヲ緩慢ニ付シ、自己ノ意見ヲ以テ徵收金

▲郡長ニ送納セス及決算報告ニ當リ畧表ヲ提出シ正式ノ報告ヲ爲サスシテ制百十二條ノ規定ニ違ヒシ村長ノ懲戒處分ハ正當ナリ(二五、二、一八)

▲町村長ノ資格ヲ以テ衆議院議員ニ感謝狀ヲ發シタルハ職務ニ違背シタルモノトス(二六、三、二八)

▲郡書記カ知事又ハ郡長ノ命令ヲ受ケ衆議院議員選舉投票所ニ臨監シタルモノ法律ノ解釋ヲ異ニスルト其入場ヲ拒ミ尙ホ立會ノ巡查ヲシテ強制退場セシメタル村長ノ所爲ハ違法ニシテ其情狀甚キモノルニ依リ郡長ニ於テ之ヲ解職セシハ不當ニアラス(二六、五、五)

▲府縣知事ノ訓令ハ其監督權ニ基キ下級行政廳ニ對スル命令ニ外ナラサルヲ以テ町村長カ府縣知事ノ發シタル訓令ニ從ハサルハ其義務ニ違フモノトス(二六、五、二七)

▲法律敕令中郡長カ町村長ニ對シテ爲ス懲戒裁判審問ニ關スル申供書ニ捺印ヲ爲サシムヘキ規定ナシ(二六、六、二四)

▲町村吏員カ常例ノ手續ヲ盡シテ其事務ヲ行フタル以上ハ職務上爲スヘキ注意ヲ缺キタルモノニ在ラス故ニ之ヲ懲戒處分ス可キモノニ在ラス(二七、二、二四)

△編者曰ク、本件ハ收入役カ役場金庫ノ容器タル金庫ニ錠ヲ施シ退場ヤシニ金庫ヲ開キ金員ヲ盜取セラレタル場合ノ判例也

▲町村長ハ會計及出納ヲ監視スヘキ職責ヲ有スルヲ以テ吏員(收入役ノ代務ヲ爲セシモノ)カ委托金ヲ費消セシニ心付サル如キハ其義務ヲ盡シタルモノニ非ス故ニ懲戒處分ヲ免カル、コトヲ得

ザルモノトス(二八、五、一四)

▲町村吏員ヲ監督スヘキ責任アル組合村長ハ假ニ役場處務手續ノ結果ニ依リ雇員カ監督官應ニ差出シタル原議ヲ變更シタル事實アリトスルモ其責ニ任セサルヲ得ス(同上)

▲收入役ノ代務ヲ爲セシ者カ其受領ノ金圓ヲ費消シタルトキハ收入役ハ其責任ヲ免カル、コトヲ得ス故ニ懲戒處分ハ相當ナリ(同上)

▲學校組合長タル町長カ漁裝ノ儘自ラ管理スル小學校ニ立寄り行厨ヲ開キ飲酒シツ、當直ノ教員ヲ叱責シ同夜烹店ニ至リ該教員ト同席セシモ其宿直ヲ離ル、ヲ問ハス却テ職外人ト共ニ其職務ニ關スル事項ヲ論難シ又職外人ト共ニ校長ノ寓所ニ至リ其職務ニ關スル行爲ヲ責問シタル行爲ハ訓戒ヲ加フルノ方法ヲ誤リタルモノニシテ正當ニ職務ヲ盡クシタルモノニ在ラサルヲ以テ之カ爲メ懲戒處分セラル、モ不當ナリト謂フヲ得ス(二八、六、一)

▲郡長カ村會ヲ經由スヘキ訴願ヲ進達スヘキ旨ノ命令ヲ發シタルトキハ村長ハ之ニ從フヘキハ勿論ナルニ之ヲ越權ノ命令ナリトシ遵守セサルハ其職務ニ違フモノトス故ニ懲戒處分ハ相當ナリ(二九、六、二五)

▲郡參事會宛ノ訴願ヲ其經由ノ途ニ當レル村長代理タル助役ニ於テ直ニ却下セシハ專斷ノ行爲ナリ故ニ懲戒處分ヲ受クルモ不當ト云フヲ得ス(二九、七、九)

▲特ニ事務ノ報告ヲ爲スヘシトノ命令訓示等ナキカ故ニ其報告ヲ爲サス及適法ノ召集手續ヲ盡シタルモ出席議員ナキカ爲メニ村會ヲ開會スルニ至ラサル村長ノ所爲ハ職務ノ怠慢

ニ在ラス(三〇、五、三)

▲官許ヲ得タル町費ノ償還年次ヲ擅ニ繰下ケタルハ町長ノ職務ニ違ヒタルモノトス又前任町長ノ不都合ハ後任町長ニ於テ之ヲ改ムルノ職務アルカ故ニ前任町長ノ失錯ナリトテ其責ヲ免カル、コトヲ得サルヲ以テ知事カ之ヲ譴責セシハ不當ニ在ラス(三〇、一二、二五)

▲町村長ハ町長役場ノ事務多忙ノ故ヲ以テ其職務怠慢ノ責ヲ免カル、コトヲ得ス(三一、二、一九)

▲町村役場ノ處務規程ニ學事ニ關スル事務ハ助役ノ管理スヘキコトヲ定ムルモ之ヲ以テ該事務ニ關シテ町村長ニ其責任ナシト云フヲ得ス(同上)

▲適法ニ其職務ヲ解除セラレタル町村長助役ニ對シ郡長カ在職者ト認メテ懲戒處分ヲ行フタルハ不當ナリ(三一、四、二三及同二、一六及三二、三二、三三)

▲村會ノ權限ニ屬セサル事件ヲ會議ノ議題トシ又不實ノ報告ヲ郡長ニ爲ス如キハ村長タルノ職務ニ違フモノナルヲ以テ懲戒處分ヲ免カレス(三一、二、二八)

▲町村會ニ對スル懲戒裁判ノ審問ハ口頭ニ限ラス書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得(同上)

▲懲戒處分取消ノ請求ハ郡長ヲ對手トスヘキモノナルニ其訴狀ニ郡參事會ノ文字ヲ記入スルモ全ク誤寫タルコトヲ確認シ得ヘキ場合ハ郡長其答辯ヲ拒ムコトヲ得ズ(三一、二、二八)

▲郡長ハ教育事務ニ關シテ何時ニテモ町村長ニ對シ報告ヲ命スルノ職權ヲ異ニス此命令ヲ郡長ハ郡書記ヲシテ町村長ニ發セシムルコトヲ得ルモノナルヲ以テ其命令ニ服從セサル

トキハ町村長ハ懲戒處分ヲ免カル、コトヲ得ス(三二、二、二三)

▲郡制第二十三條第二項ニ依リ郡長ニ於テ選舉若クハ當選ノ效力ニ關スル異議ニ付郡參事會ノ決定ニ附スルニハ之カ必要ナル投票及關係書類ヲ選舉長タル村長ヨリ提出セシムルノ職權アルモノナルニ依リ村長カ之ヲ拒ムカ如キハ其職責ニ背クモノトス(三三、六、二七)

▲村長カ滯納處分ノ誤解ニ依リ村會議員ニ招集ノ通知ヲ爲サ、ルニ對シ懲戒處分トシテ過怠金ヲ科シタルハ不當ニ在ラス(三三、七、九)

▲款項ノ流用ナリトシテ會計年度ヲ異ニスル收入ヨリ支出シ豫算金額以外ニ村會ノ議決ヲ經ス後年度ノ收入ヲ繰入レ支出シ、村會招集ノ違ナキヲ理由トシテ村費ヲ各自任意ニ賦出スル協議費ヲ以テ支辯シ、寄附金ノ受否及收支ニ付村會ノ議決ヲ經サル等ノ村長ノ所爲ハ專斷ノ責ヲ免カレス既ニ之ヲ解職セシハ相當ナリ(三三、七、一〇)

▲市制第二百二十四條ニ基キテ府縣知事ノ行ハタル懲戒處分ニ對スル行政訴訟ハ市制第一百六條第三項ニ定メタル二十一日ノ期限内ニ提起スルコトヲ要スルモノトス(三四、一、二八)

▲郡會議員選舉立會人ト選舉監視官吏トノ間ニ法律上ノ解釋ニ付爭議ヲ生シタルニ依リ之カ當否ヲ府縣知事ニ質サントシテ選舉ヲ中止シタル場合ノ如キハ未タ以テ不已得事情ニ基クモノト認ムルコトヲ得ス故ニ村長代理タル助役カ監督官吏ノ命ニ應セス徒ニ選舉ヲ中止シタルハ其職務ニ違フノ情狀重キモノトス(三四、五、一三)

▲村長カ官吏ノ任免職責ニ關シ是非ノ言議ヲ挿ムカ如キハ職權ノ在ル所ヲ願ミサル所爲ナ

リトシテ之ヲ訓戒スルハ郡長ノ職權ニ屬ス(三四、五、二八、三件)

▲村長カ適法ナル郡長ノ訓戒書ヲ不當ナリトシテ返戻シタルハ職務上遵守ノ義務ニ背クモノトシ町村制第二百二十八條ニ依リ郡長ニ於テ之ヲ譴責シタル處分ハ違法ニ在ラス(同上)

▲郡長ノ訓令ヲ違法トシ事務ノ報告ヲ拒ミ又獨斷村會議事録ヲ塗抹シ虚偽ノ報告ヲ郡長ニ爲シ及ヒ不得止事情ニ依ルニアラスシテ制第一百七條及第百八條ノ規定ニ違ヒ年度前二ヶ月ヲ限リ豫算表ヲ調製シ會計年度前町村會ノ決議ヲ採ルノ手續ヲ爲サ、ルハ其職務ニ違背シタル所爲ナリトス(三四、七、八)

第二百二十九條 町村吏員及使丁其職務ヲ盡サス又ハ權限ヲ越エタル事アルカ爲メ町村ニ對シテ賠償ス可キコトアルトキハ郡參事會之ヲ裁決ス其裁決ニ不服アル者ハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル日ヨリ七日以内ニ府縣參事會ニ訴願シ其府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但訴願ヲ爲シタルトキハ郡參事會ハ假ニ其財産ヲ差押フルコトヲ得

▲亡失國稅ノ如キハ町村ニ於テ先ツ國庫ニ對シ之ヲ辨償シタル上ニアラサレハ未タ本條ニヨリ賠償義務ノ有無ヲ争ヒ得ヘキモノニアラス(三五、四、六)

▲行政裁判法第十六條ハ行政廳ノ違法處分ニ因ル損害賠償ヲ云フモノニシテ町村制ハ町村自治ニ關スル法律ナレハ同制第二百二十九條ハ特別ノ規定ニ屬シ相互ニ抵觸スル所ナキモノナリ(二五六、二二)

▲學校建物ノ大破損ニ至リシ場合ニ於テ村長ノ怠慢ニ起因シタル損害ナリトノ證據明瞭ナ

ラサル以上ハ該村長ニ辨償ノ責アリト爲スヲ得ス(三五、一〇、一八)

▲收入役管理中役場ニ於テ税金ヲ窃取セラレ該收入役ハ當時執務中接近ノ場所ニ在テ之ヲ知ラス而シテ相當ノ注意ヲ加ヘテ管理シタルノ證據ナキ以上ハ怠慢ニアラスト云フヲ得ス(三五、一〇、一〇)

▲府縣稅徵收法第八條ニ各納稅人ハ税金ヲ市町村ノ收入役ニ拂込ミ云々トアルヲ以テ其拂込タル税金ヲ管理スルハ收入役ノ任務ニ屬ス故ニ該税金ヲ亡失シタル場合ニ於テ本條ヲ適用スルモ不當ニ非ス(同上)

▲本條ハ町村吏員ノ資格ヲ以テ町村ニ損害ヲ與ヘタル場合ニ裁決ヲ爲スノ規定ナレハ假令其職ヲ去リタル後ト雖モ之ヲ適用スルヲ得ルモノトス(二七、一一、二八)

▲町村ヨリ國庫ニ納付スヘキ税金ヲ亡失シ町村ニ損害ヲ與ヘタルモノナル以上ハ本條ニ依リ裁決スヘキモノト云ハサルヘカラス(同上)

▲村會ニ於テ或ル村吏員ノ責任免除ヲ大藏大臣ニ出願スルコトヲ議決シタルノ故ヲ以テ該議決ニ依リ責任ヲ免除セラレタルモノト云フヲ得ス(同上)

▲組合町村内ノ某村長ヨリ組合役場ヘ納入スル金員ヲ組合役場雇員ニ於テ假ニ領收シタル場合ト雖モ該雇員カ收入役代務者タル資格ヲ以テ組合役場ニ收入シタリト認ムヘキ證據アル以上ハ右雇員カ該金ヲ費消セシハ組合内ノ某村長ニ損害ヲ與ヘタルニアラスシテ組合町村ニ損害ヲ與ヘタルモノト云フヘク而シテ其損害ハ組合町村ノ收入役カ職務ヲ放棄

シ雇員ヲシテ專行セシメタルヨリ生シタルモノナル上ハ該收入役ハ組合町村ニ對シ賠償ノ義務アルモノト云ハサルヲ得ス(二八、五、二四)

▲町村長ハ町村ニ對シ其職務ノ怠慢又ハ越權ノ行爲ヨリ生シタル損害ヲ賠償スルノ義務ヲ有ス(三一、五、二四)

第八章 附則

第三百十條 郡參事會府縣參事會及行政裁判所ヲ開設スル迄ノ間郡參事會ノ職務ハ郡長、府縣參事會ノ職務ハ府縣知事行政裁判所ノ職務ハ内閣ニ於テ之ヲ行フ可シ

第三百十一條 此法律ニ依リ初テ議員ヲ選舉スルニ付町村長及町村會ノ職務並町村條例ヲ以テ定ム可キ事項ハ郡長又ハ其指命スル官吏ニ於テ之ヲ施行ス可シ

第三百十二條 此法律ハ北海道、沖繩縣其他勅令ヲ以テ指定スル島嶼ニ之ヲ施行セス別ニ勅令ヲ以テ其制ヲ定ム

第三百十三條 前條ノ外特別ノ事情アル地方ニ於テハ町村會及町村長ノ具申又ハ郡參事會ノ具申ニ依リ勅令ヲ以テ此法律中ノ條規ヲ中止スルコトアル可シ

第三百十四條 社寺宗教ノ組合ニ關シテハ此法律ヲ適用セス現行ノ例規及其他ノ習慣ニ從フ

第三百十五條 此法律中ニ記載セル人口ハ最終ノ人口調査ニ依リ現役軍人ヲ除キタル數ヲ云フ

第三百十六條 現行ノ租稅中此法律ニ於テ直接稅又ハ間接稅トス可キ類別ハ内務大臣及大藏大臣之ヲ告示ス

第三百十七條 此法律ハ明治二十二年四月一日ヨリ地方ノ情況ヲ裁酌シ府縣知事ノ具申ニ依リ内務大臣ノ指揮ヲ以テ之ヲ施行ス可シ

第三百十八條 明治九年十月第三百三十號布告各區町村金穀公借共有物取扱土木起功規則、明治十一年七月第十七號布告郡區町村編制法第六條及第九條但書、明治十七年五月第十四號布告區町村會法、明治十七年五月第十五號布

告、明治十七年七月第二十三號布告、明治十八年八月第二十五號布告其他此法律ニ抵觸スル成規ハ此法律施行ノ日ヨリ總テ之ヲ廢止ス

第三百十九條 内務大臣ハ此法律實行ノ責ニ任シ之カ爲メ必要ナル命令及訓令ヲ發布ス可シ

摘要 行政判決例 (終)

行政訴答書式

行政裁判所告示第一號 明治二十四年七月四日
行政訴答書々式左ノ通相定ム

○何々訴狀

住所身分職業若クハ何府(縣)何郡(市)何町(村)何職

原告

氏

年

名

住居ノ地行政裁判所ヨリ八里以上ニアルトキハ其里程

(訴訟代理人アルトキハ此處へ住所身分職業ヲ肩書シ氏名ヲ記シ頭ニ訴訟代理人ト記スヘシ辯護人アルトキモ亦之ニ準ス)

被告

官 氏

名

(被告官廳ニアラサルトキハ何府縣何郡市何町村何職氏名若クハ住所身分職業氏名)

一定ノ申立

何……………

事實

何……………

理由

何……………
立 證

何……………

行政應ヨリ處分書若クハ裁決書ヲ交付シタル年月日

何……………

年 月 日

原告

氏

名印

(訴訟代理人ナルトキハ代理人署名捺印スヘシ)

行政裁判所長官宛

○何々答書

(訴狀ハ正副兩通ヲ出ス可シ被告數名ニシテ其住居各八里以上ニ離隔スルトキハ其數ニ應シテ差出ス可シ)

被告

何官 氏

名

(被告官廳ニアラサルトキハ何府縣何郡市何町村何職氏名若クハ住所身分職業氏名ヲ記シ又訴訟代理人又ハ辯護人アルトキハ訴狀署名ノ例ニ倣フ)

原告

氏

名

(訴訟代理人又ハ辯護人アルトキハ訴狀署名ノ例ニ倣フ)

一定ノ申立

何……………

事實

附錄 行政訴答書式

何……………

理由

何……………

立證

何……………

年 月 日

被告

氏

名印

行政裁判所長官宛

(答書ハ正副兩通ヲ出ス可シ)

○證據物寫

何……………

右相違無之候也

年 月 日

原告(被告)

氏

名印

行政裁判所長官宛

(證據物寫ハ正副兩通ヲ出ス可シ若シ被告數名ニシテ其住居八里以上ヲ離隔スルトキハ其數ニ應シテ差出ス可シ)

(訴訟代理人ナルトキハ代理人署名捺印スヘシ)

▲參照 (行政裁判法)

第二十五條 訴狀ニハ左ノ事項ヲ記載シ原告署名捺印ス可シ

- 一 原告ノ身分、職業、住所、年齢
- 二 被告ノ行政廳又ハ其他ノ被告
- 三 要求ノ事件及其理由
- 四 立證
- 五 年月日

訴狀ニハ原告ノ經歷シタル訴願書裁決書並ニ證據書類ヲ添フ可シ

第二十六條 訴狀ニハ被告ニ送付スル爲メニ必要文書ノ副本ヲ添フ可シ

第二十八條二項 答辯書ニハ原告ニ送付スル爲メ必要文書ノ副本ヲ添フ可シ

●行政訴訟要項 (編者識ス)

(一) 行政裁判所ニ第一第二ノ二部ヲ置ク(卅四年四月勅令第七十二號第一條)

(イ) 第一部

開廷日 毎週月、水、金曜日

所 管 第二部ニ屬セサル一切ノ事件

(ロ) 第二部

開廷日 毎週火、木、土曜日

附錄 行政訴答書式

所 管 土地森林原野下戻及官有林野境界査定ニ關スル事件
 行政訴狀ハ郵便ニテ提出スルコトヲ得
 行政訴訟豫納金(貳圓)ハ郵便爲替又ハ其他ノ方法ヲ以テ送納スルコトヲ得
 訴訟當事者及參加人ハ東京市ニ假住所ヲ設クルニ及ハス訴訟ニ關セシ書願ハ其本住所
 ニ向ケ發送セラル、モノトス

毎月一回發兌 **市町村雜誌**

- 市町村雜誌 ハ自治體ノ發達ヲ期圖スルヲ以テ目的トス
- 市町村雜誌 ハ市町村行政事務ニ必要ナル事項ハ勿論國府縣郡ノ行政事務ニ關スル事項ヲモ掲載ス
- 市町村雜誌 ハ自治行政及國家行政上即答ヲ要スル事項ニ對シテハ讀者ノ便利ヲ計リ特別質問トシテ本誌ノ發行ヲ俟タス直ニ解答ス
- 市町村雜誌 ハ今ヤ既ニ第百五號ヲ發刊シ讀者ノ夥シキト記事ノ精確ナルトニ至テハ雜誌社會ノ泰斗ナリ
- 市町村雜誌 ハ全國自治體ノ一大機關ニシテ官吏、公史、議員、委員、教師其他有志者必讀ノ雜誌也

定價
 一冊 金拾錢
 六冊 金五拾五錢
 十二冊 金壹圓
 半年分 金壹圓
 一年分 金壹圓
 (全國無遞送料)

定價金四拾五錢

明治三十五年二月十五日印刷
 明治三十五年二月十八日發行
 明治三十五年七月十二日再版
 同 年七月十九日發行
 發行人 谷島作太郎
東京市麹町區平河町五丁目三十五番地

編纂人 野元友三郎
東京市京橋區弓町三番地

印刷人 島連太郎
東京市神田區美土代町二丁目一番地

印刷所 三秀舎活版所
東京市神田區美土代町二丁目一番地

發行所 市町村雜誌社
東京市京橋區弓町三番地

市町村雜誌社編纂

參版 市町村制例規

全壹冊

●定價金五拾錢 (郵稅共) ●紙數二百頁
●市町村雜誌購讀者ニ限リ特別割引金四拾錢
●郵券代用一割増 ●參版出來

本書ハ市町村制施行以來ノ行政實例、裁決例及ヒ關係諸法規ヲ各正條ノ下ニ網羅蒐集シタルモノニシテ、初版壹萬部及ヒ再版八千部ハ發行後未ダ半ケ年ヲ經過セサルニ既ニ品切レトナレリ、依テ今回參版ニ付シ、汎ク希望ノ諸君ニ頒タントス、世ノ苟モ市町村制ヲ研究セントスル諸君ハ、市町村雜誌ト共ニ坐右欠クベカラザルノ良書也、希クバ陸續購求ノ榮ヲ賜ハランコトヲ

發行所

東京市京橋區
弓町三番地

市町村雜誌社